道東自動車道

占冠地区下部工工事

占冠ＰＡアクセス路橋
下部工設計図

令和７年３月

東日本高速道路株式会社
北海道支社　帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　図面目録

（下部工設計図）

図面番号	図　　面　　名
１	数量総括表
２～３	全体一般図（その１～２）
４	下部工座標図
５～６	Ａ１橋台構造一般図（その１～２）
７～１５	Ａ１橋台配筋図（その１～９）
１６	Ｐ１橋脚構造一般図
１７～２２	Ｐ１橋脚配筋図（その１～６）
２３～２４	Ａ２橋台構造一般図（その１～２）
２５～３４	Ａ２橋台配筋図（その１～１０）
３５	Ａ２橋台場所打ち杭配筋図
３６	Ａ１橋台裏込め工一般図
３７	Ａ２橋台裏込め工一般図
３８	Ａ１橋台構造物掘削図
３９	Ａ２橋台構造物掘削図
４０	Ｐ１橋脚土留め工構造図

占冠ＰＡアクセス路橋 数量総括表

下部工施工

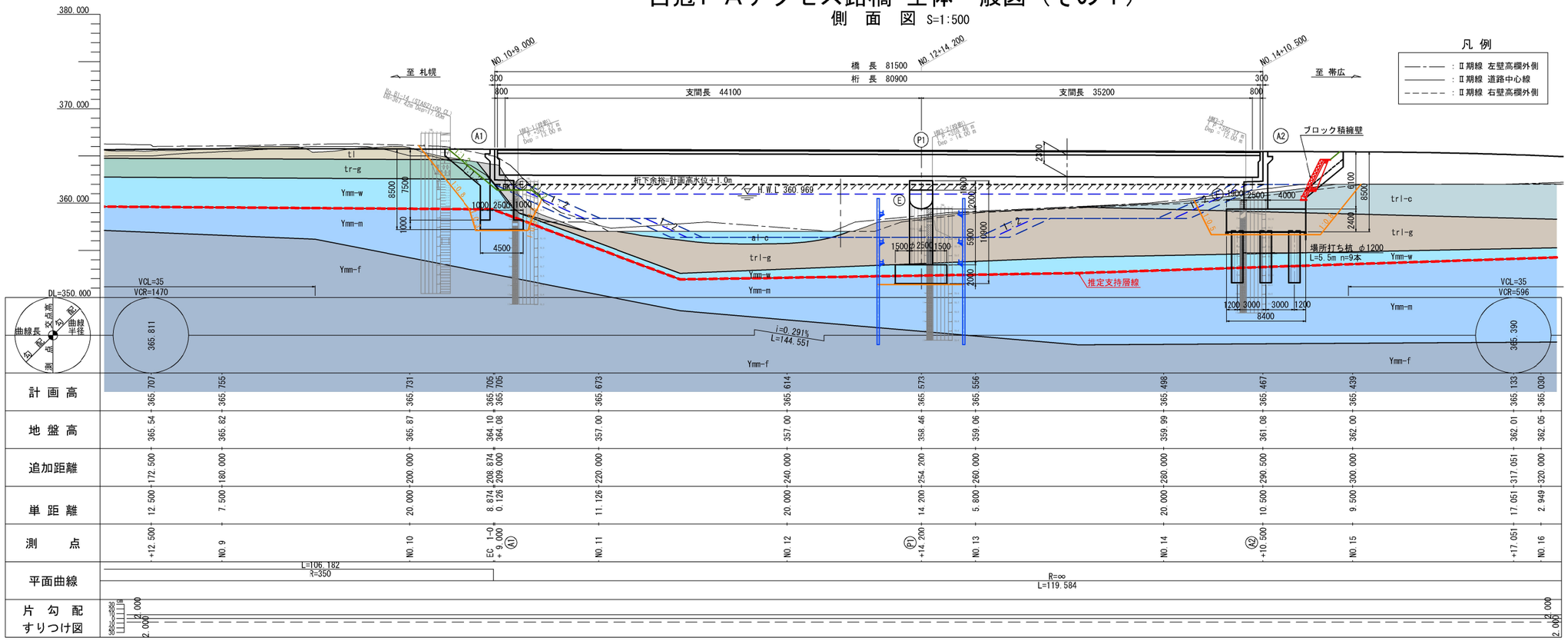
項　目	種　別			単位	占冠PAアクセス路橋				摘　要
					Ａ１橋台	Ｐ１橋脚	Ａ２橋台	合　計	
客土掘削	土砂Ａ１			m3	15.8	525.9	387.7	929.4	
構造物掘削	普通部	土砂		m3	275.5	－	972.9	1,248.4	
		軟岩		m3	392.7	－	－	392.7	
	特殊部	土砂		m3	－	426.4	－	426.4	
		軟岩		m3	－	193.5	－	193.5	
構造物裏込め工	裏込め工Ａ１			m3	7.2	－	－	7.2	
	裏込め工Ｂ１			m3	－	－	166.1	166.1	
地下排水工	Du-Pφ0.15-0.50-0.50			m	6.5	－	6.5	13.0	※率計上
基礎材	Ｂ１			m3	－	－	12.8	12.8	
基礎杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削，φ1200）			m	－	－	49.5	49.5	
コンクリート	Ａ１－３			m3	122.0	70.5	103.2	295.7	σck=30N/mm2
	Ｂ２－１			m3	36.2	66.0	168.3	270.5	σck=24N/mm2
	Ｄ１－１			m3	3.9	3.5	6.4	13.8	σck=18N/mm2
型わく	Ｃ			m2	237.5	138.5	318.7	694.7	
	Ｄ			m2	2.6	2.4	3.4	8.4	
鉄　筋	Ａ		D13	t	0.014	－	0.014	0.028	SD345（重ね継手）
			D16～D25	t	3.229	6.151	8.838	18.218	
			D29～D32	t	－	3.205	－	3.205	
			D38	t	－	1.505	－	1.505	
			D51	t	－	7.744	－	7.744	
			小計	t	3.243	18.605	8.852	30.700	
	Ａ（Ｅ）		D13	t	0.280	－	0.375	0.655	SD345（重ね継手）（エポキシ樹脂塗装鉄筋）
			D16～D25	t	2.472	－	2.462	4.934	
			D29～D32	t	－	－	1.309	1.309	
			小計	t	2.752	－	4.146	6.898	
	Ｃ		D13	t	0.033　(36)	－	0.169　(76)	0.202　(112)	SD345（機械式鉄筋定着工法）
			D16～D25	t	－	0.244　(70)	－	0.244　(70)	
			小計	t	0.033　(36)	0.244　(70)	0.169　(76)	0.446　(182)	
	Ｃ（Ｅ）		D16～D25	t	0.427　(182)	－	0.352　(155)	0.779　(337)	SD345（機械式鉄筋定着工法）（エポキシ樹脂塗装鉄筋）
			小計	t	0.427　(182)	－	0.352　(155)	0.779　(337)	
	場所打ち杭	Ｙ	D13	t	－	－	0.135	0.135	SD345（重ね継手）
			D16～D25	t	－	－	6.309	6.309	
			小計	t	－	－	6.444	6.444	
		Ｙ（Ｈ）	D35	t	－	－	12.078	12.078	SD490（重ね継手）
			小計	t	－	－	12.078	12.078	

注1)( )内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。

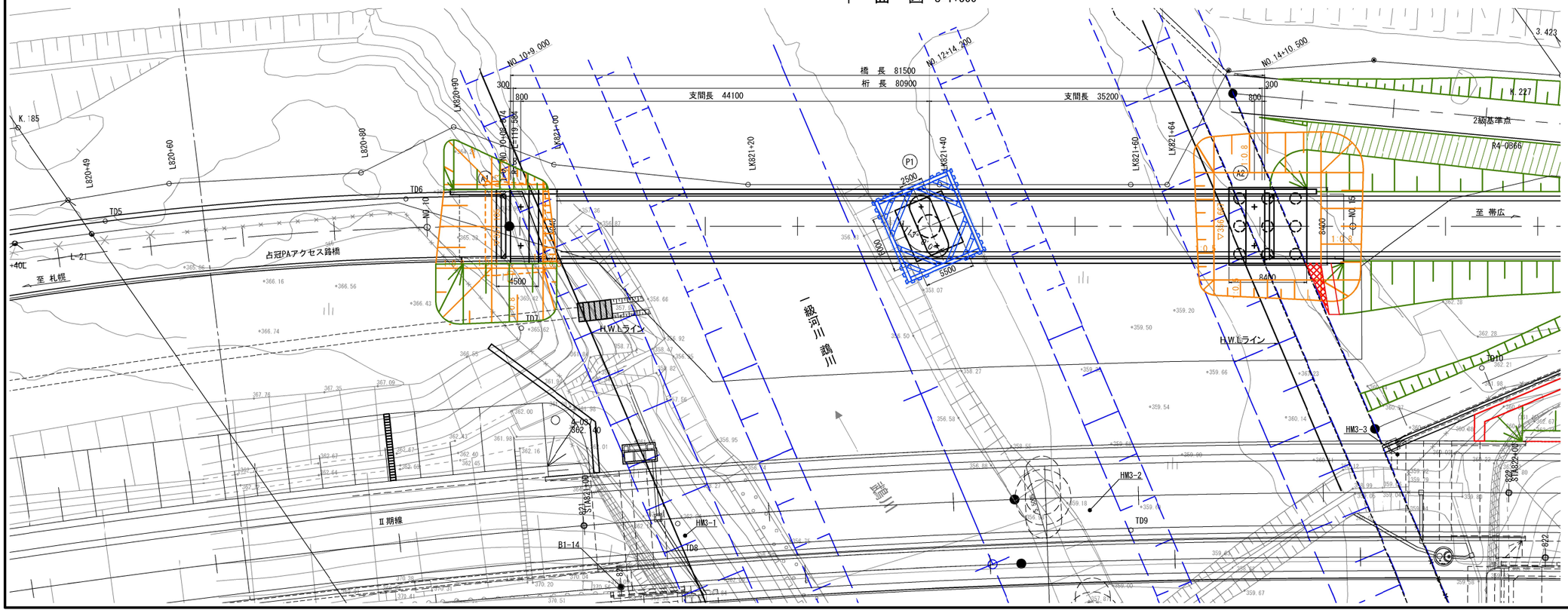
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 数量総括表		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋 全体一般図（その１）

側 面 図 S=1:500



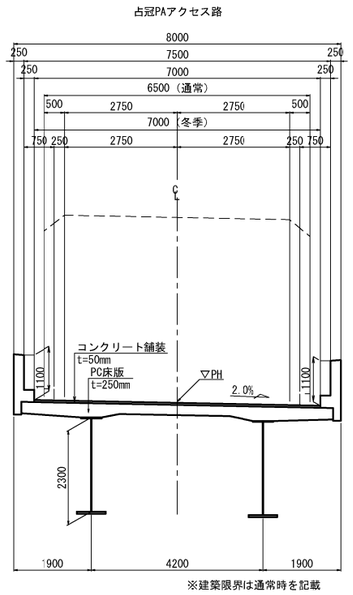
平 面 図 S=1:500



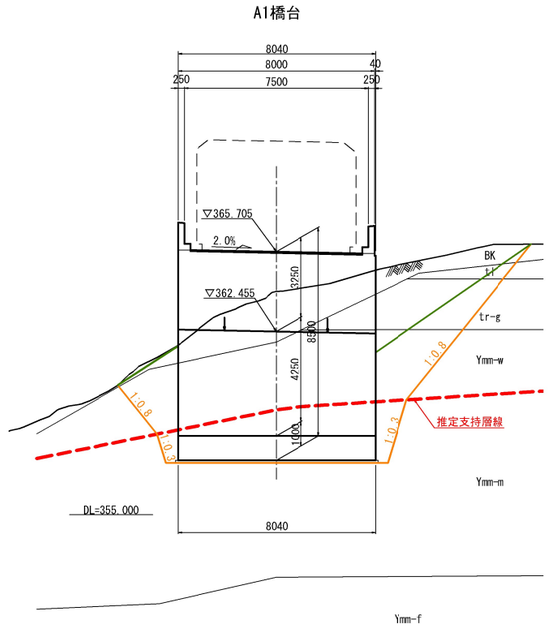
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 全体一般図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	―
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

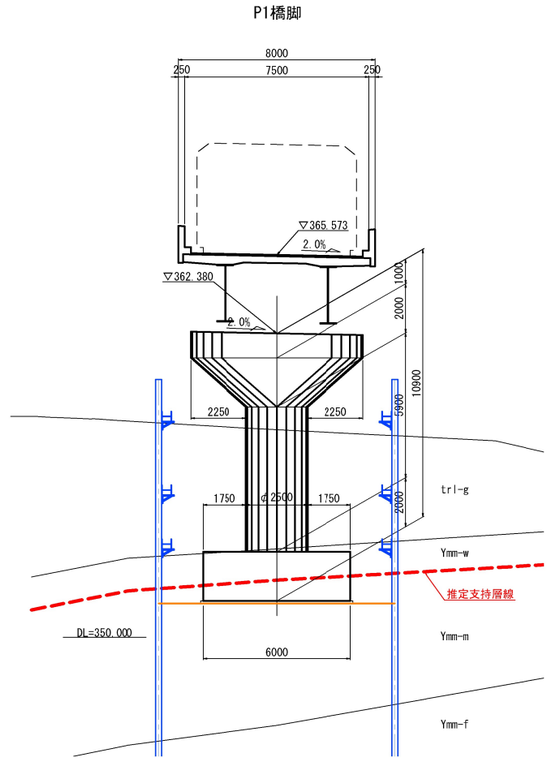
占冠ＰＡアクセス路橋 全体一般図（その２）

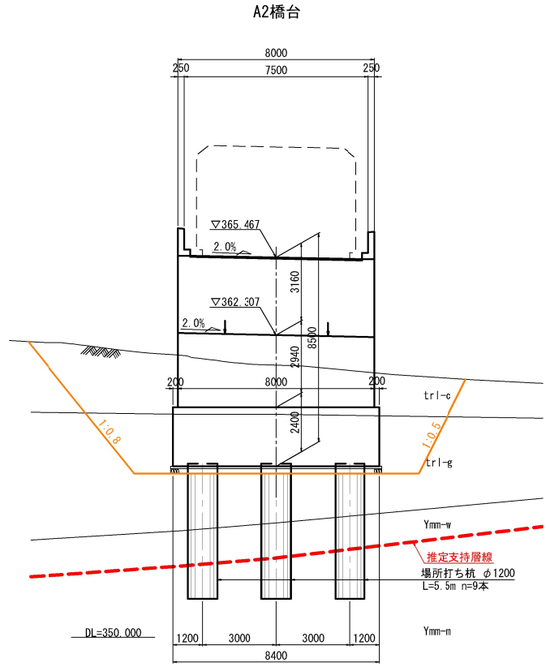
断　面　図 S=1:150



下部工正面図 S=1:250







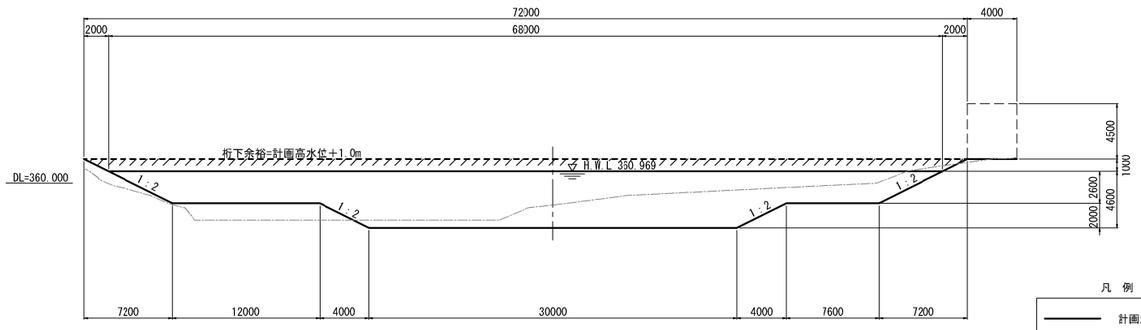
設 計 条 件

橋　長	81.500 m	桁　長	80.900 m
道路規格	第3種 第 4 級　設計速度 V ＝40 km/h		
設計活荷重	A 活 荷 重		
上部工形式	鋼2径間連続鈑桁橋		
支 間 長	44.100 m ＋ 35.200 m		
有 効 幅 員	7.000 m		
斜　角	A1 90° 00′ 00″　A2 90° 00′ 00″		
平面線形	R= ∞ m		
横断勾配	2.000 %		
縦断勾配	0.291%		
設 計 震 度	kh=Cz・kh0=0.85・0.20=0.17		
材　料	上 部 工	コンクリート	σck=40N/mm2（床版） σck=30N/mm2（地覆）
		鋼　材	SS400,SM400,SM490Y,SM570,S10T
		鉄　筋	SD345
		ＰＣ鋼材	SWPR19L　1S28.6
	下 部 工	コンクリート	σck=30N/mm2（躯体） σck=24N/mm2（A1･P1底版） σck=30N/mm2（A2底版）
		鉄　筋	SD345
	基 礎 工	コンクリート	σck=24N/mm2（直接基礎） σck=30N/mm2（場所打ち杭）
		鉄　筋	SD345,SD490
		基礎構造	A1:直接基礎 P1:直接基礎 A2:ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法場所打ち杭 φ1200 9本
適用示方書	道路橋示方書・同解説(平成29年11月) 設計要領第二集(平成28年8月)		

交 差 条 件 S=1:500

一級河川　鵡川

Q=880m3/s(n=1/50)



※　河川断面は河川直交方向

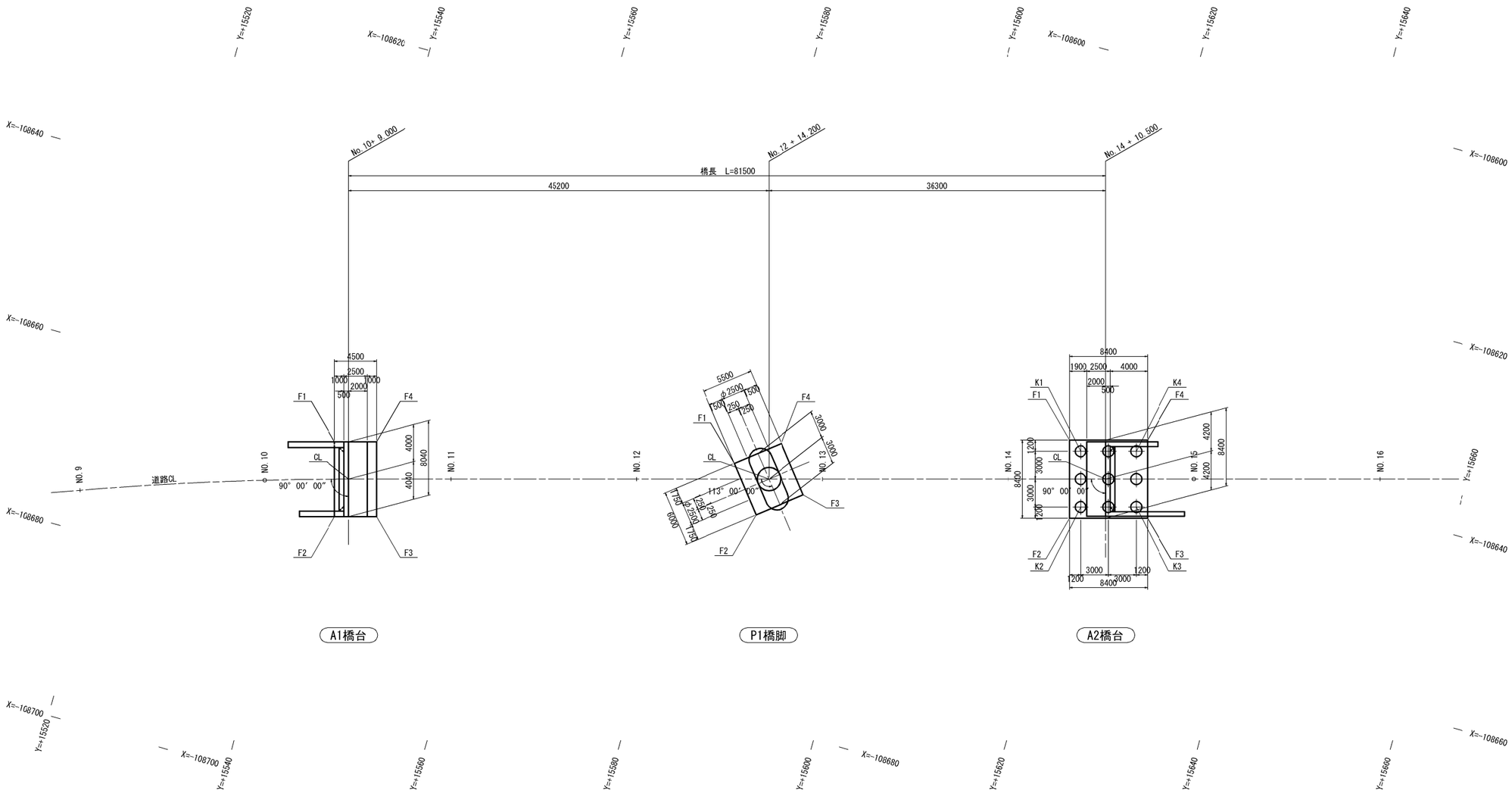
凡　例

計画河川断面

現況河川断面

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 全体一般図（その２）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋 下部工座標図　S= 1:500



下部工座標値

(単位:m)

点名称		A1橋台 X座標	A1橋台 Y座標
道路中心	CL	-108666.7141	15544.1924
フーチング	F1	-108663.2755	15541.6574
	F2	-108671.0101	15543.8523
	F3	-108669.7816	15548.1814
	F4	-108662.0470	15545.9864

(単位:m)

点名称		P1橋脚 X座標	P1橋脚 Y座標
道路中心	CL	-108654.3742	15587.6754
フーチング	F1	-108653.7623	15583.6519
	F2	-108658.4355	15587.4151
	F3	-108654.9860	15591.6988
	F4	-108650.3128	15587.9357

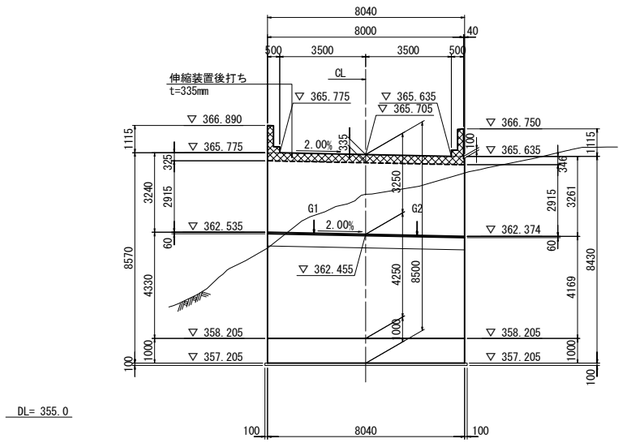
(単位:m)

点名称		A2橋台 X座標	A2橋台 Y座標
道路中心	CL	-108644.4640	15622.5964
フーチング	F1	-108641.4883	15617.6979
	F2	-108649.5692	15619.9912
	F3	-108647.2759	15628.0721
	F4	-108639.1950	15625.7788
杭	K1	-108642.3151	15619.1800
	K2	-108648.0872	15620.8180
	K3	-108646.4491	15626.5901
	K4	-108640.6771	15624.9520

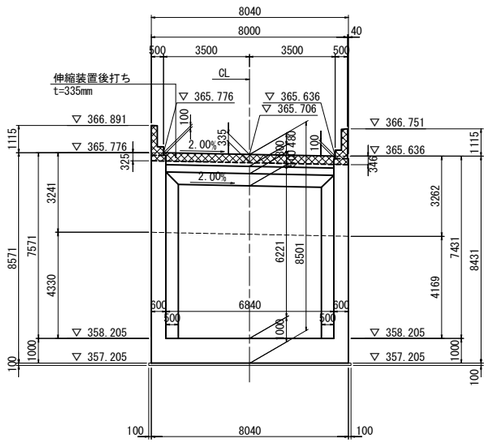
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 下部工座標図		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台構造一般図（その１）　S= 1:250

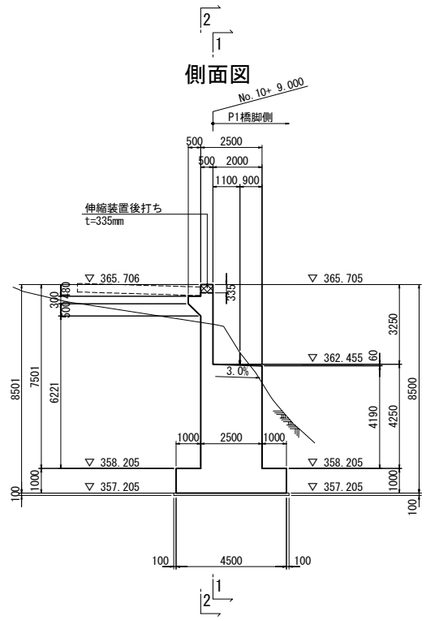
正面図
1-1



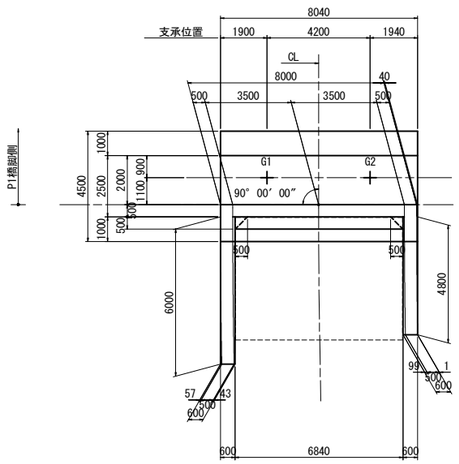
背面図
2-2



側面図

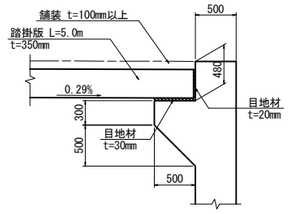


平面図



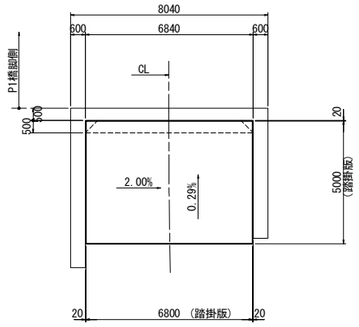
踏掛版詳細図　（別途工事）

側面図　S=1:75

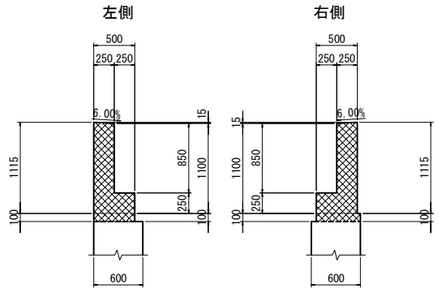


※:縦断勾配は、踏掛版延長方向(L=5.0m)を示す。

平面図　S=1:250



壁高欄詳細図　S=1:75



数 量 表

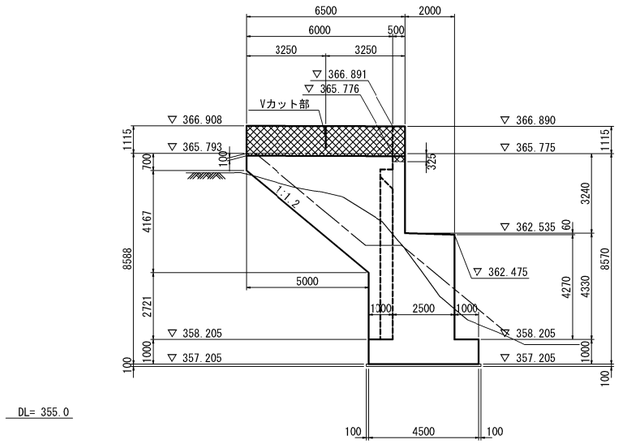
項　目	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
構造物掘削	普通部	m3	275.5	土砂
		m3	392.7	軟岩

注）：▨ 上部工施工範囲を表す。

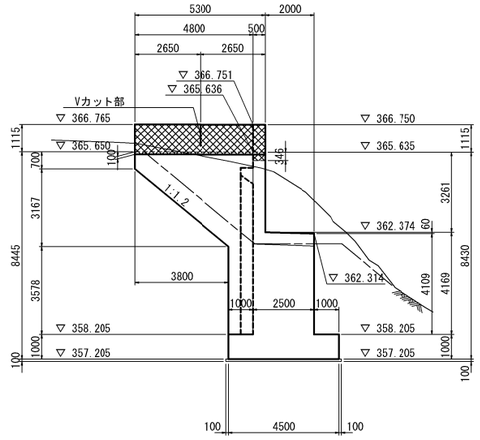
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台構造一般図（その１）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台構造一般図（その２）　S= 1:250

左翼壁

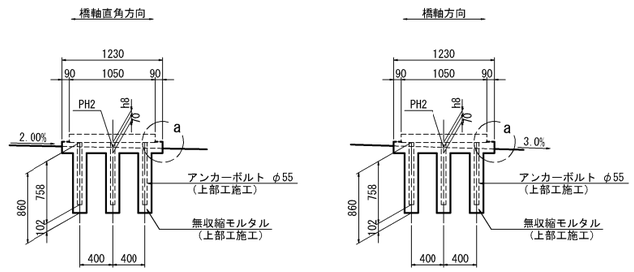


右翼壁

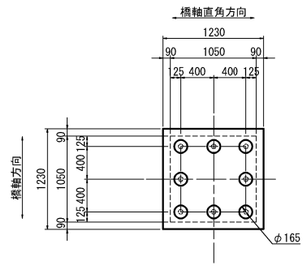


支承部詳細図　S=1:75

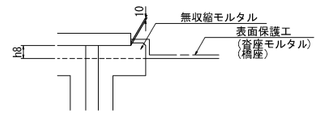
G1, G2



平面図

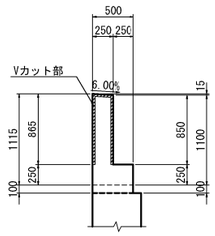


″a″部詳細図　S=1:25

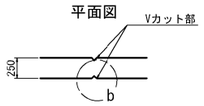


Vカット部詳細図　S=1:75

断面図

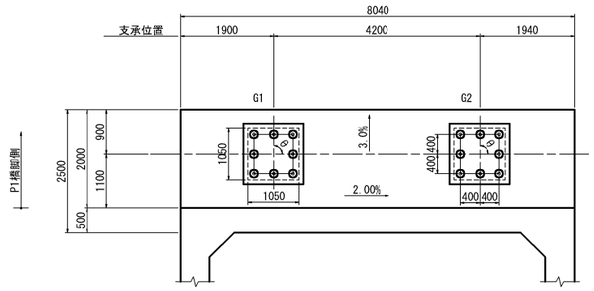


平面図



″ｂ″部詳細図　S=1:25

支承配置図　S=1:125

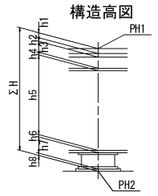


構造高表

（単位：m）

		G1	G2
路面計画高	PH1	365.744	365.660
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.022	0.022
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.458	0.458
調整モルタル厚	h8	0.060	0.060
合計	ΣH	3.280	3.280
下部工天端標高	PH2	362.464	362.380
支承座標	X	-108654.3935	-108668.4340
	Y	15544.6773	15545.8239
支承設置角度	θ	90° 03′ 00″	90° 00′ 00″

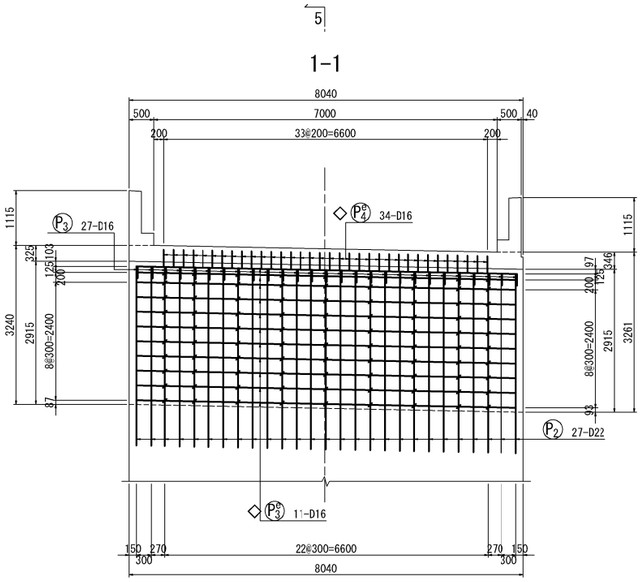
構造高図

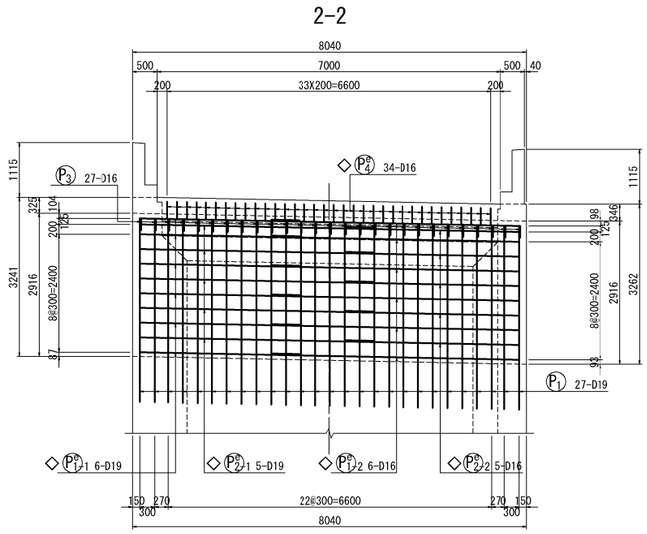


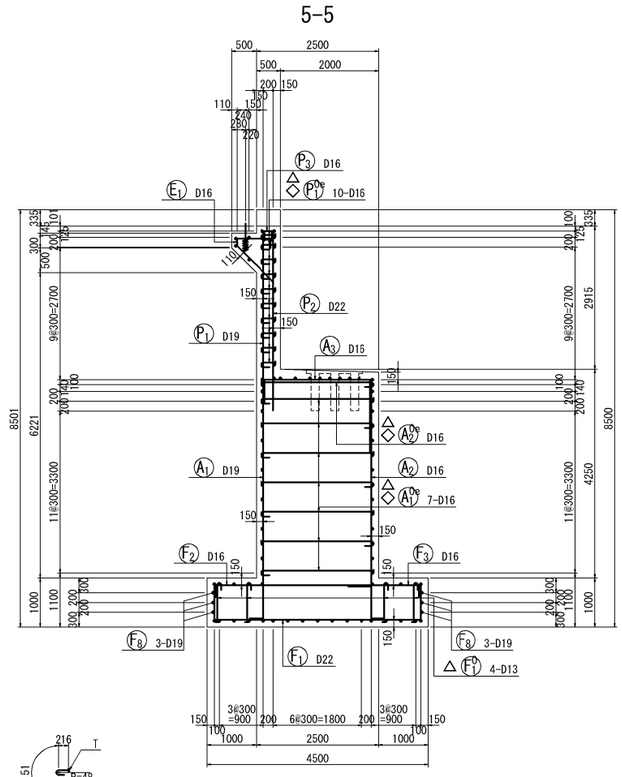
注）：▨ 上部工施工範囲を表す。

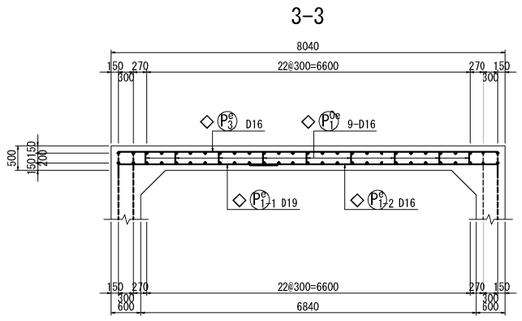
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台構造一般図（その２）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

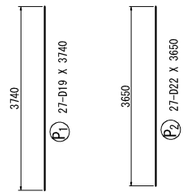
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その１）　S= 1:125

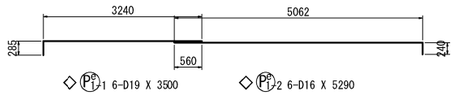


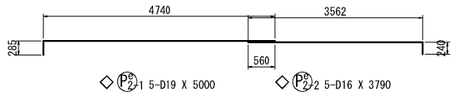


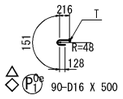


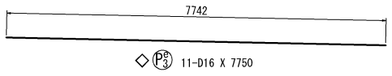


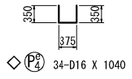




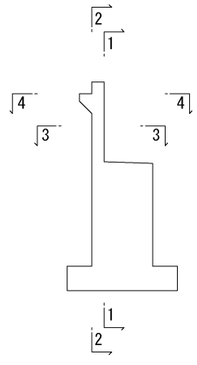




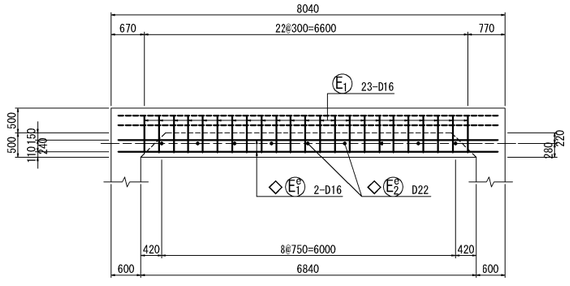


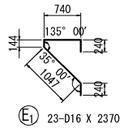


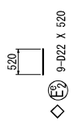
位置図



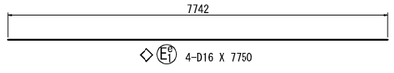
4-4



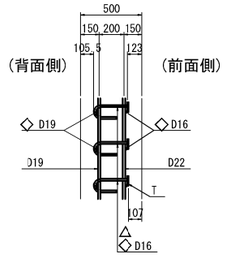




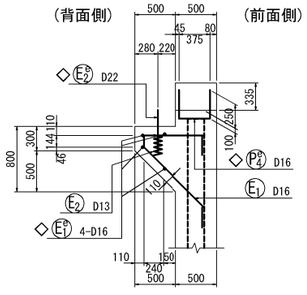
S= 1:75



かぶり詳細図　S= 1:50



パラペット頂部詳細図　S=1:75



注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

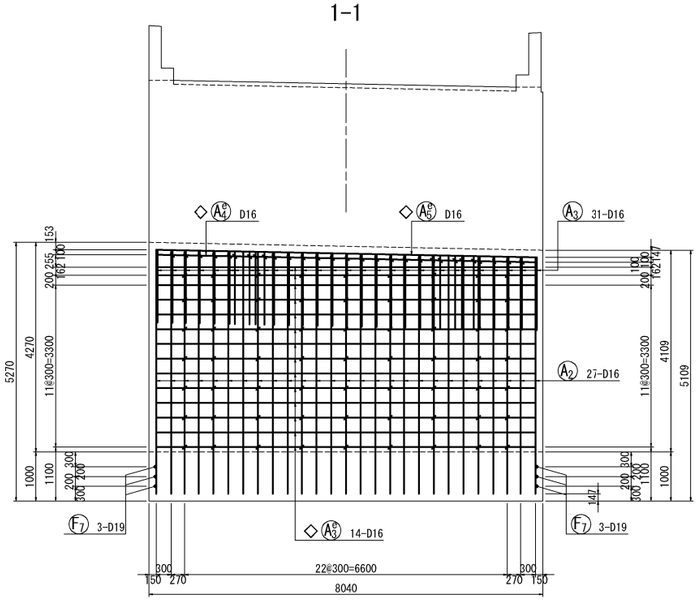
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

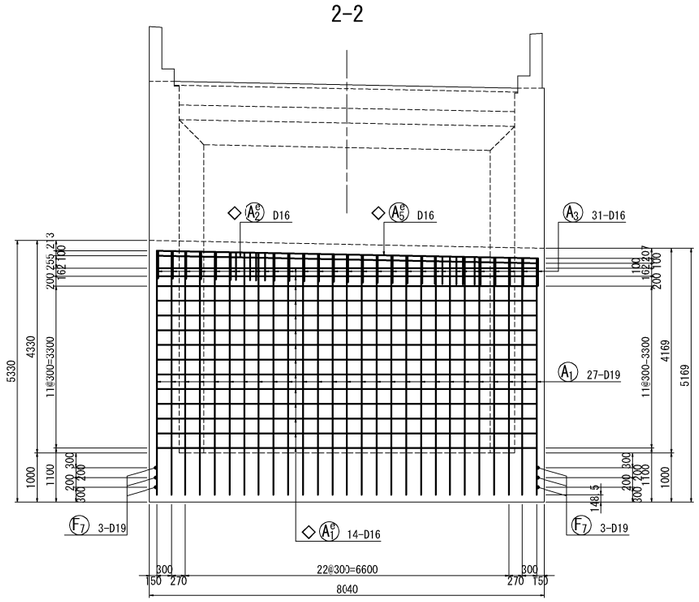
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その１）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その２）　S= 1:125

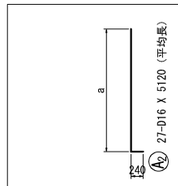
1-1



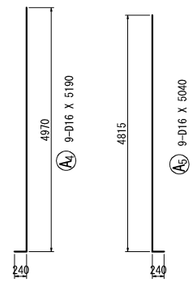
2-2



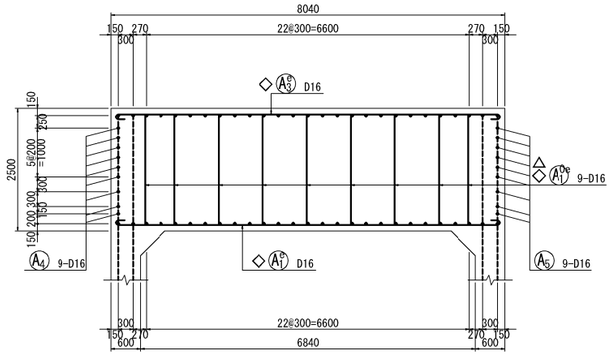
記号	径	本数	a	L
A1- 1	D19	1	4814	5070
- 2	〃	1	4820	5080
- 3	〃	1	4825	5090
- 4	〃	1	4831	5090
- 5	〃	1	4837	5100
- 6	〃	1	4843	5100
- 7	〃	1	4849	5110
- 8	〃	1	4855	5120
- 9	〃	1	4861	5120
-10	〃	1	4867	5130
-11	〃	1	4873	5130
-12	〃	1	4879	5140
-13	〃	1	4885	5150
-14	〃	1	4891	5150
-15	〃	1	4897	5160
-16	〃	1	4903	5160
-17	〃	1	4909	5170
-18	〃	1	4915	5180
-19	〃	1	4921	5180
-20	〃	1	4927	5190
-21	〃	1	4933	5190
-22	〃	1	4939	5200
-23	〃	1	4945	5210
-24	〃	1	4951	5210
-25	〃	1	4957	5220
-26	〃	1	4963	5220
-27	〃	1	4969	5230
平均長		27		5151



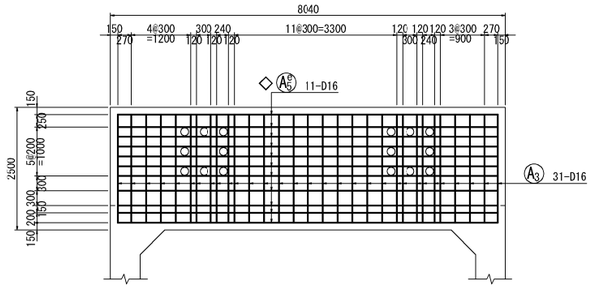
記号	径	本数	a	L
A2- 1	D16	1	4815	5030
- 2	〃	1	4821	5040
- 3	〃	1	4827	5050
- 4	〃	1	4833	5050
- 5	〃	1	4839	5060
- 6	〃	1	4845	5070
- 7	〃	1	4851	5070
- 8	〃	1	4857	5080
- 9	〃	1	4863	5080
-10	〃	1	4869	5090
-11	〃	1	4875	5090
-12	〃	1	4881	5100
-13	〃	1	4887	5110
-14	〃	1	4893	5110
-15	〃	1	4899	5120
-16	〃	1	4905	5120
-17	〃	1	4911	5130
-18	〃	1	4917	5140
-19	〃	1	4923	5140
-20	〃	1	4929	5150
-21	〃	1	4935	5150
-22	〃	1	4941	5160
-23	〃	1	4947	5170
-24	〃	1	4953	5170
-25	〃	1	4959	5180
-26	〃	1	4964	5180
-27	〃	1	4970	5190
平均長		27		5112



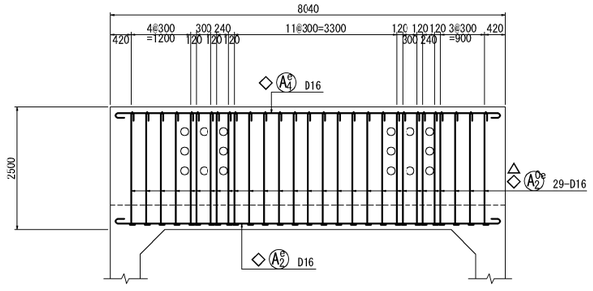
3-3

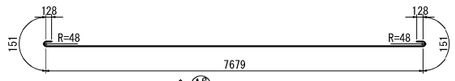


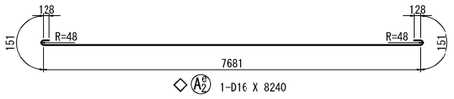
4-4

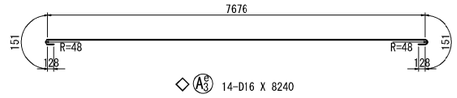


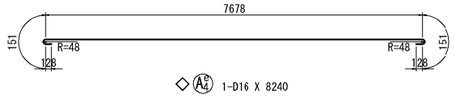
5-5

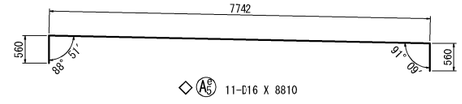


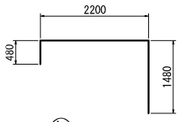




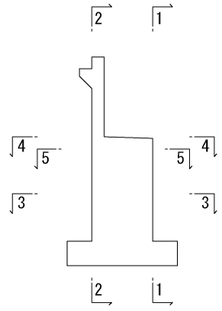




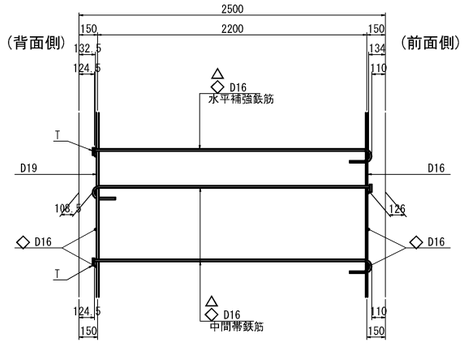


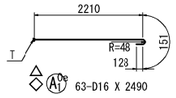


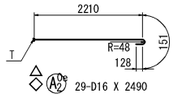
位置図



かぶり詳細図　S=1:50







注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

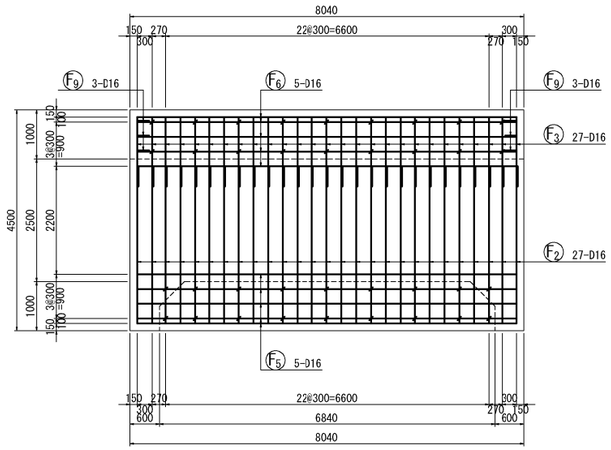
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）　鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

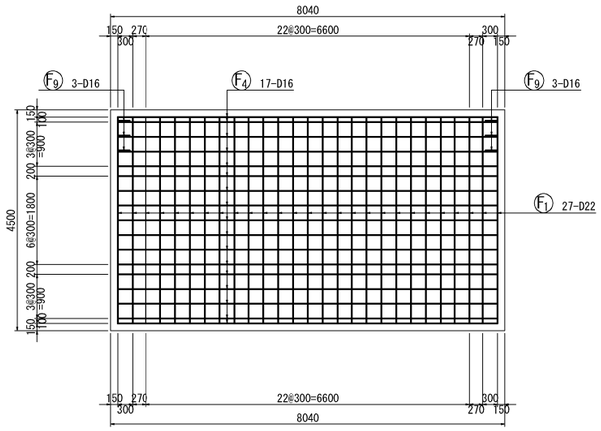
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ：橋台配筋図（その２）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その３）　S= 1:125

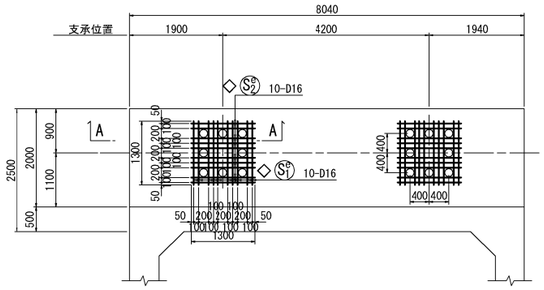
1-1



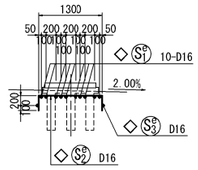
2-2

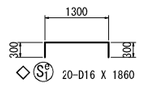


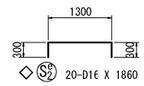
支承補強筋配筋図

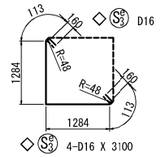


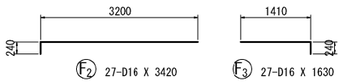
A-A

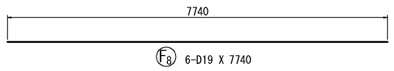


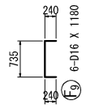


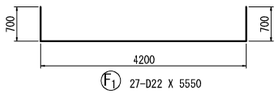


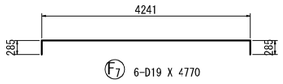


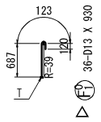


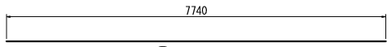


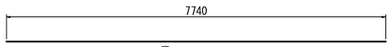


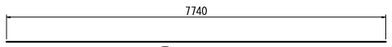




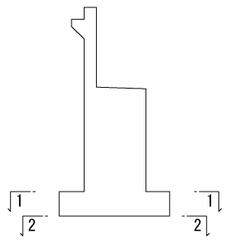




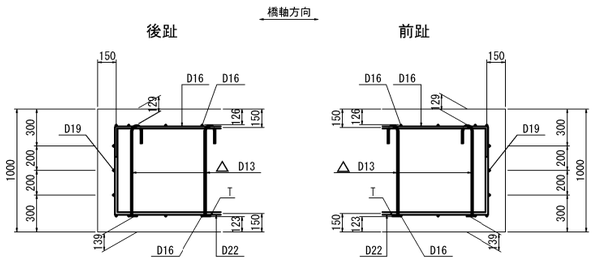




位置図



かぶり詳細図　S=1:50



注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

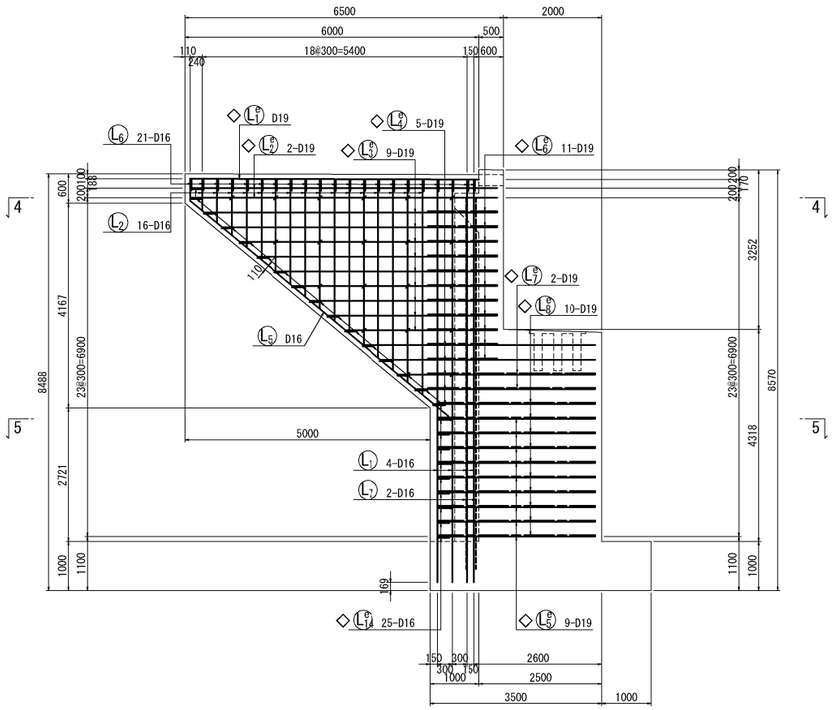
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

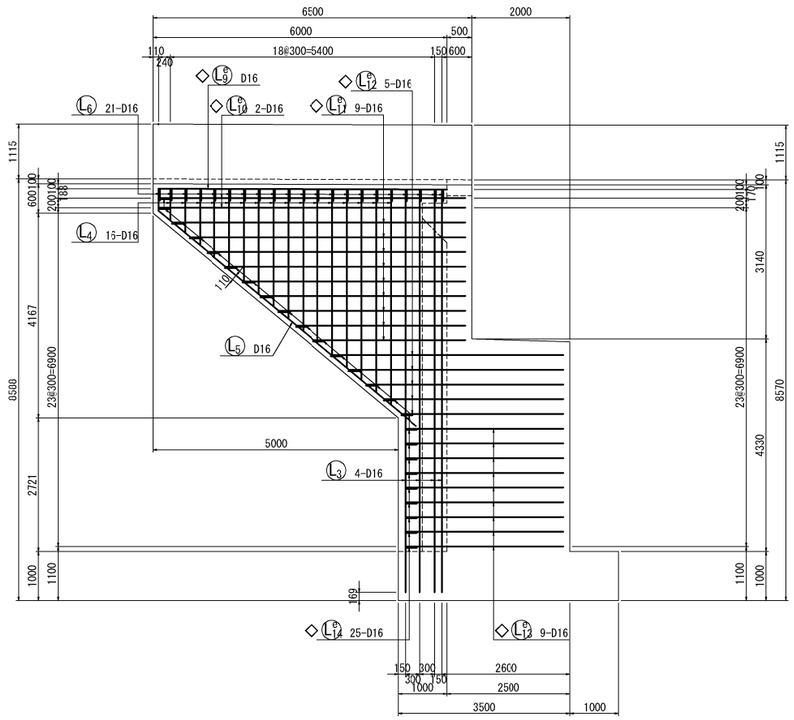
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その３）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その４）　S= 1:125

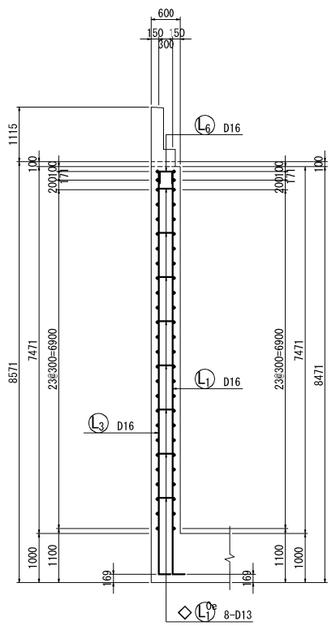
1-1



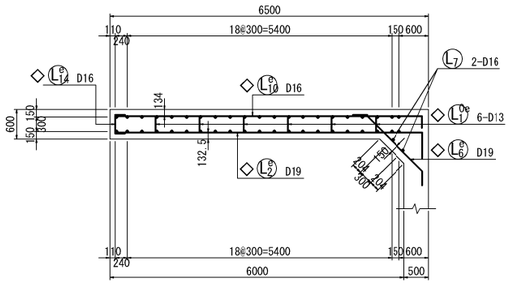
2-2



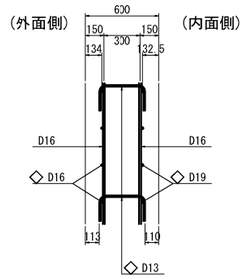
3-3



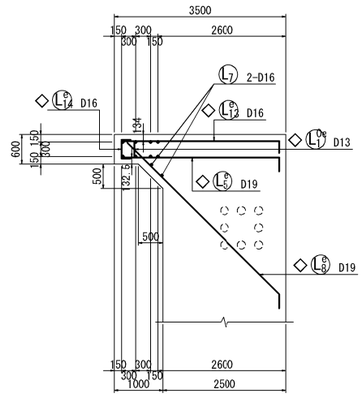
4-4



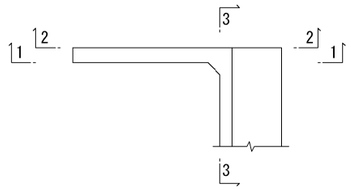
かぶり詳細図　S=1:50



5-5



位置図



注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

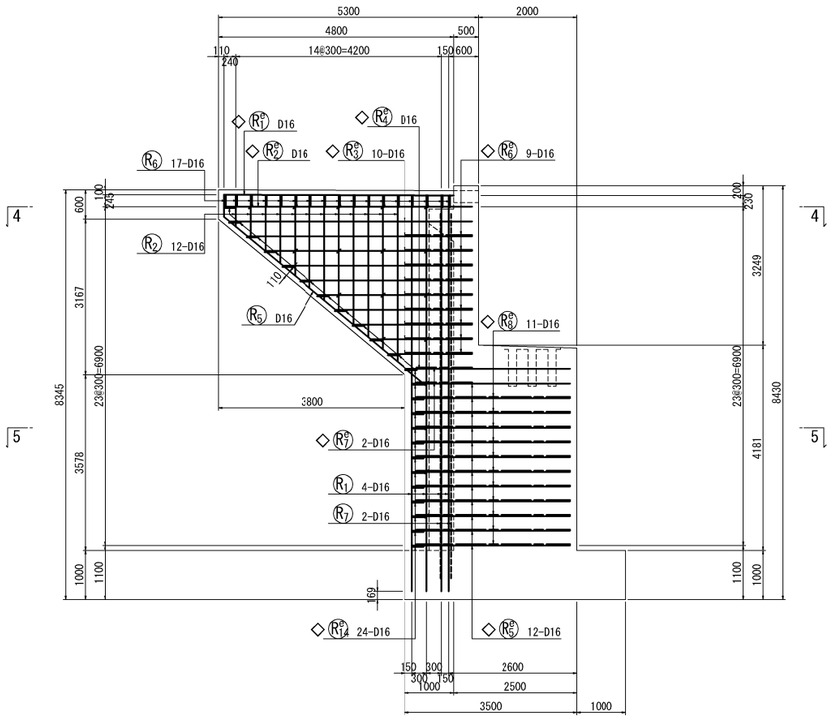
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

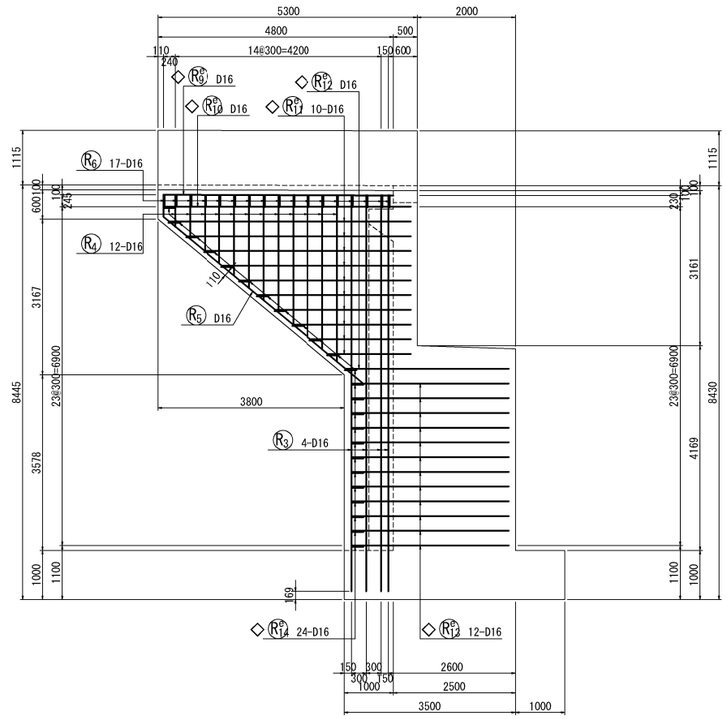
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ：橋台配筋図（その４）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その５）　S= 1:125

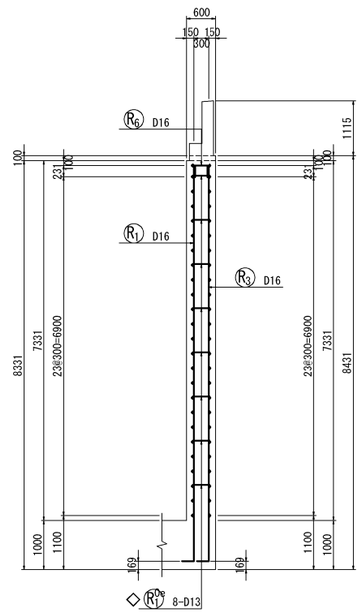
1-1



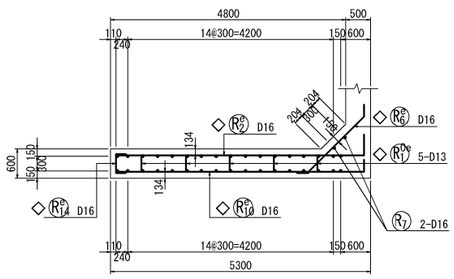
2-2



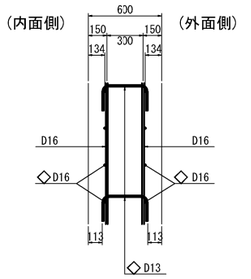
3-3



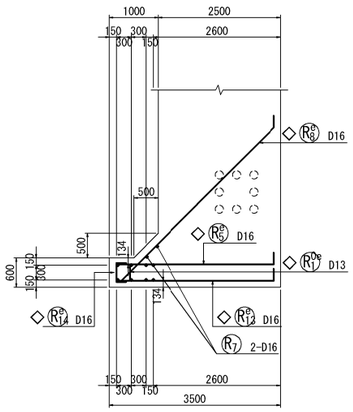
4-4



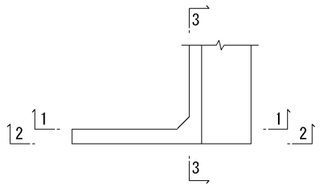
かぶり詳細図　S=1:50



5-5



位置図



注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

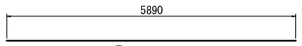
注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

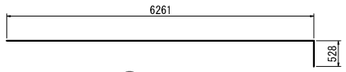
注4）　鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ：橋台配筋図（その５）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

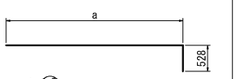
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その６）　S= 1:125



◇ L_1^D 1-D19 X 5890

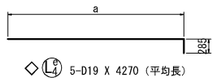


◇ L_2^D 2-D19 X 6770



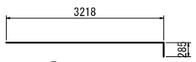
◇ L_3^D 9-D19 X 5040（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L_3^D-1	D19	1	3093	3600
-2	〃	1	3453	3960
-3	〃	1	3813	4320
-4	〃	1	4173	4680
-5	〃	1	4533	5040
-6	〃	1	4893	5400
-7	〃	1	5253	5760
-8	〃	1	5613	6120
-9	〃	1	5973	6480
平均長		9		5040

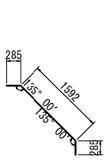


◇ L_4^D 5-D19 X 4270（平均長）

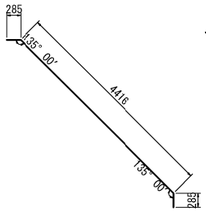
記 号	径	本数	a	L
L_4^D-1	D19	1	3290	3550
-2	〃	1	3650	3910
-3	〃	1	4010	4270
-4	〃	1	4370	4630
-5	〃	1	4730	4990
平均長		5		4270



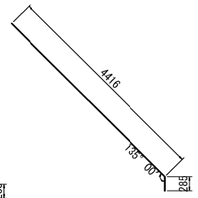
◇ L_5^D 9-D19 X 3480



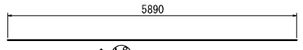
◇ L_6^D 11-D19 X 2160



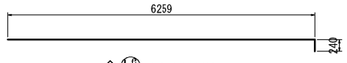
◇ L_7^D 2-D19 X 4980



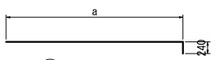
◇ L_8^D 10-D19 X 4700



◇ L_9^D 1-D16 X 5890

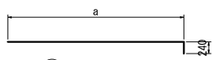


◇ L_{10}^D 2-D16 X 6480



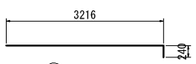
◇ L_{11}^D 9-D16 X 4750（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L_{11}^D-1	D16	1	3091	3310
-2	〃	1	3451	3670
-3	〃	1	3811	4030
-4	〃	1	4171	4390
-5	〃	1	4531	4750
-6	〃	1	4891	5110
-7	〃	1	5251	5470
-8	〃	1	5611	5830
-9	〃	1	5971	6190
平均長		9		4750

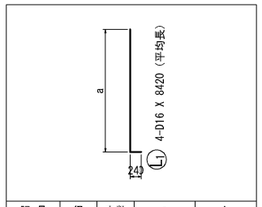


◇ L_{12}^D 5-D16 X 4230（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L_{12}^D-1	D16	1	3288	3510
-2	〃	1	3648	3870
-3	〃	1	4008	4230
-4	〃	1	4368	4590
-5	〃	1	4728	4950
平均長		5		4230

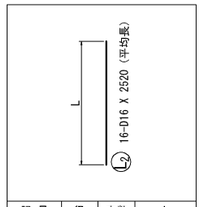


◇ L_{13}^D 9-D16 X 3440



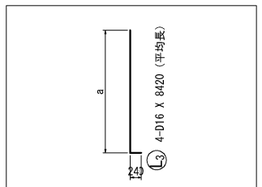
◇ L_1 4-D16 X 8420（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L 1-1	D16	1	8203	8420
-2	〃	1	8204	8420
-3	〃	1	8204	8420
-4	〃	1	8205	8420
平均長		4		8420



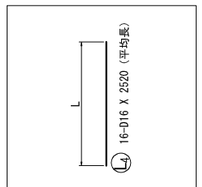
◇ L_2 16-D16 X 2520（平均長）

記 号	径	本数	L
L 2- 1	D16	1	647
- 2	〃	1	897
- 3	〃	1	1146
- 4	〃	1	1395
- 5	〃	1	1644
- 6	〃	1	1893
- 7	〃	1	2142
- 8	〃	1	2392
- 9	〃	1	2641
-10	〃	1	2890
-11	〃	1	3139
-12	〃	1	3388
-13	〃	1	3637
-14	〃	1	3886
-15	〃	1	4136
-16	〃	1	4385
平均長		16	2516



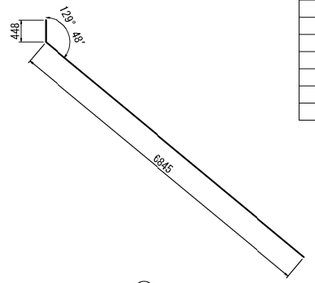
◇ L_3 4-D16 X 8420（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L 3-1	D16	1	8203	8420
-2	〃	1	8204	8420
-3	〃	1	8204	8420
-4	〃	1	8205	8420
平均長		4		8420



◇ L_4 16-D16 X 2520（平均長）

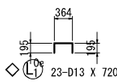
記 号	径	本数	L
L 4- 1	D16	1	647
- 2	〃	1	897
- 3	〃	1	1146
- 4	〃	1	1395
- 5	〃	1	1644
- 6	〃	1	1893
- 7	〃	1	2142
- 8	〃	1	2392
- 9	〃	1	2641
-10	〃	1	2890
-11	〃	1	3139
-12	〃	1	3388
-13	〃	1	3637
-14	〃	1	3886
-15	〃	1	4136
-16	〃	1	4385
平均長		16	2516



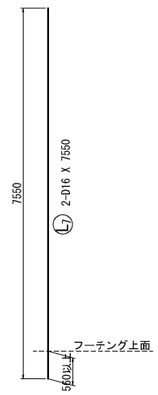
L_5 2-D16 X 7290

◇ L_6 21-D16 X 740

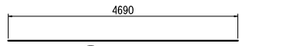
◇ L_{14}^D 25-D16 X 780



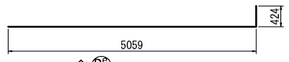
◇ L_{15}^D 23-D13 X 720



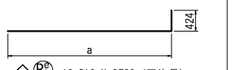
L_7 2-D16 X 7550



◇ R_1^D 1-D16 X 4690



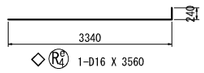
◇ R_2^D 1-D16 X 5470



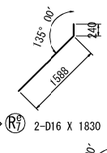
◇ R_3^D 10-D16 X 3730（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R_3^D- 1	D16	1	1703	2110
- 2	〃	1	2063	2470
- 3	〃	1	2423	2830
- 4	〃	1	2783	3190
- 5	〃	1	3143	3550
- 6	〃	1	3503	3910
- 7	〃	1	3863	4270
- 8	〃	1	4223	4630
- 9	〃	1	4583	4990
-10	〃	1	4943	5350
平均長		10		3730

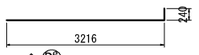
◇ R_4^D 9-D16 X 2060



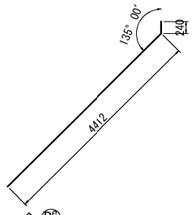
◇ R_5^D 1-D16 X 3560



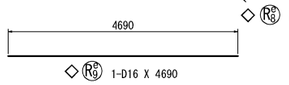
◇ R_7^D 2-D16 X 1830



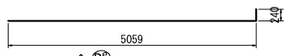
◇ R_6^D 12-D16 X 3440



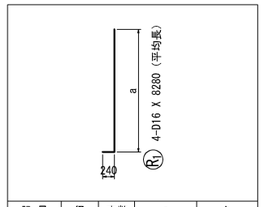
◇ R_8^D 11-D16 X 4650



◇ R_9^D 1-D16 X 4690

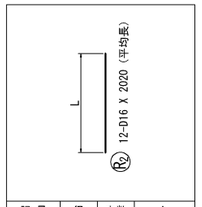


◇ R_{10}^D 1-D16 X 5280



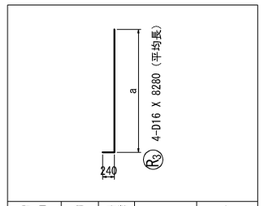
◇ R_1 4-D16 X 8280（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R 1-1	D16	1	8063	8280
-2	〃	1	8064	8280
-3	〃	1	8064	8280
-4	〃	1	8065	8280
平均長		4		8280



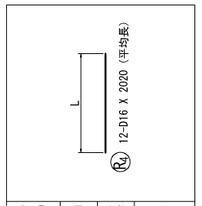
◇ R_2 12-D16 X 2020（平均長）

記 号	径	本数	L
R 2- 1	D16	1	647
- 2	〃	1	897
- 3	〃	1	1146
- 4	〃	1	1395
- 5	〃	1	1644
- 6	〃	1	1893
- 7	〃	1	2142
- 8	〃	1	2392
- 9	〃	1	2641
-10	〃	1	2890
-11	〃	1	3139
-12	〃	1	3388
平均長		12	2018



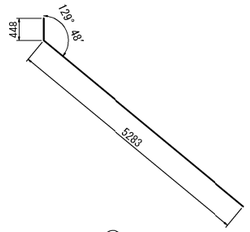
◇ R_3 4-D16 X 8280（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R 3-1	D16	1	8063	8280
-2	〃	1	8064	8280
-3	〃	1	8064	8280
-4	〃	1	8065	8280
平均長		4		8280

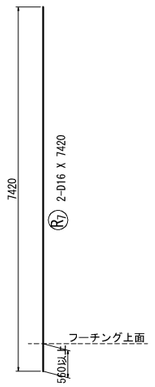


◇ R_4 12-D16 X 2020（平均長）

記 号	径	本数	L
R 4- 1	D16	1	647
- 2	〃	1	897
- 3	〃	1	1146
- 4	〃	1	1395
- 5	〃	1	1644
- 6	〃	1	1893
- 7	〃	1	2142
- 8	〃	1	2392
- 9	〃	1	2641
-10	〃	1	2890
-11	〃	1	3139
-12	〃	1	3388
平均長		12	2018

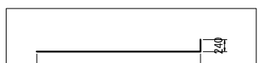


R_5 2-D16 X 5730



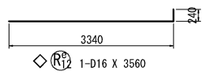
R_7 2-D16 X 7420

R_6 17-D16 X 740

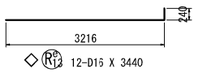


◇ R_{11}^D 10-D16 X 3540（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R_{11}^D- 1	D16	1	1703	1920
- 2	〃	1	2063	2280
- 3	〃	1	2423	2640
- 4	〃	1	2783	3000
- 5	〃	1	3143	3360
- 6	〃	1	3503	3720
- 7	〃	1	3863	4080
- 8	〃	1	4223	4440
- 9	〃	1	4583	4800
-10	〃	1	4943	5160
平均長		10		3540

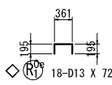


◇ R_{12}^D 1-D16 X 3560



◇ R_{13}^D 12-D16 X 3440

◇ R_{14}^D 24-D16 X 770



◇ M_1^D 18-D13 X 720

注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

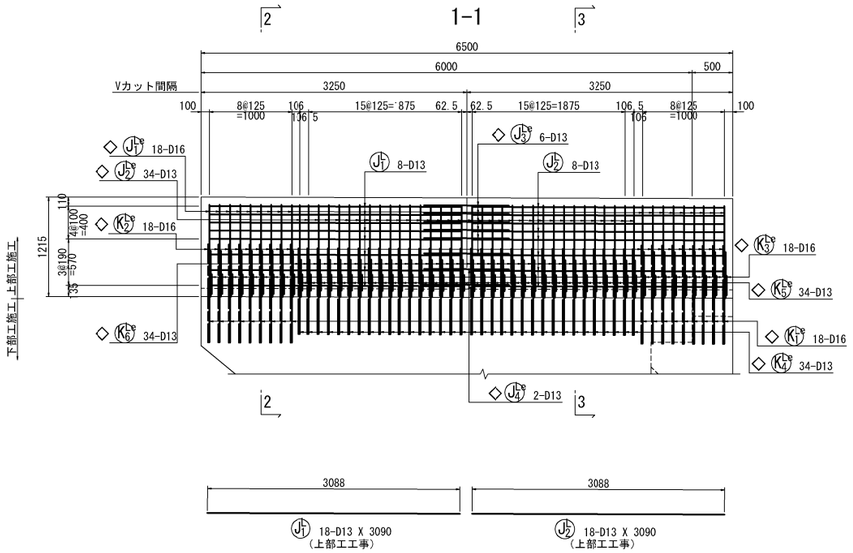
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

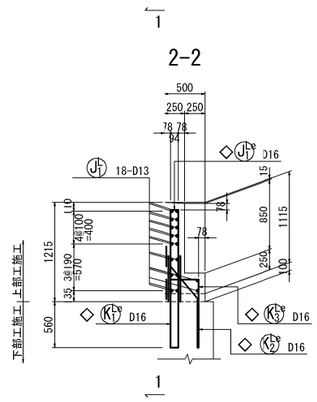
注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

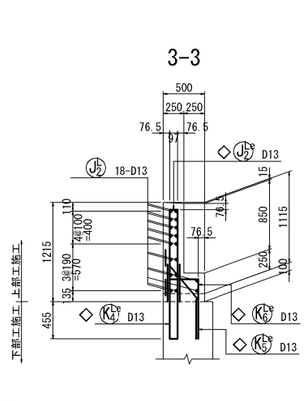
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その６）		
縮　尺	図　示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

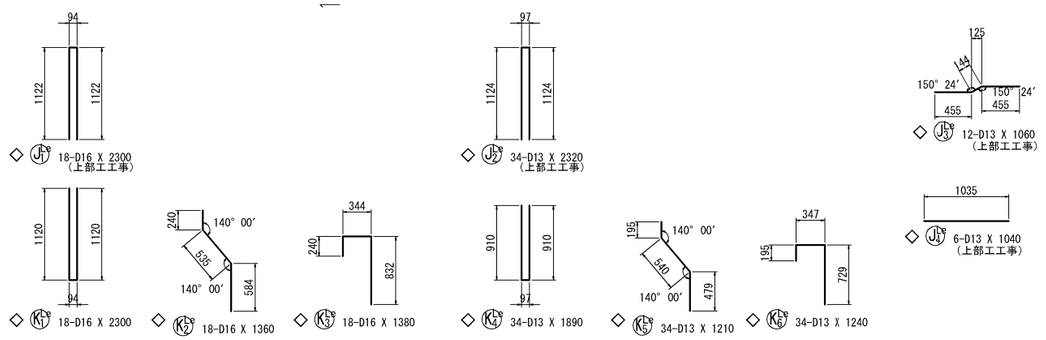
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その７）　S= 1:125

左側壁高欄



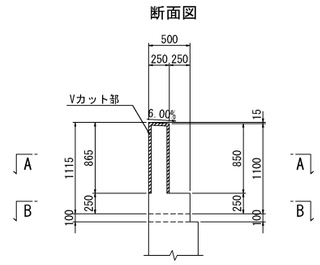




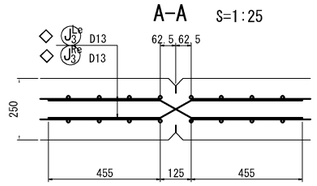


Vカット部詳細図

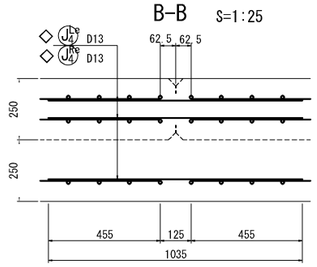
断面図



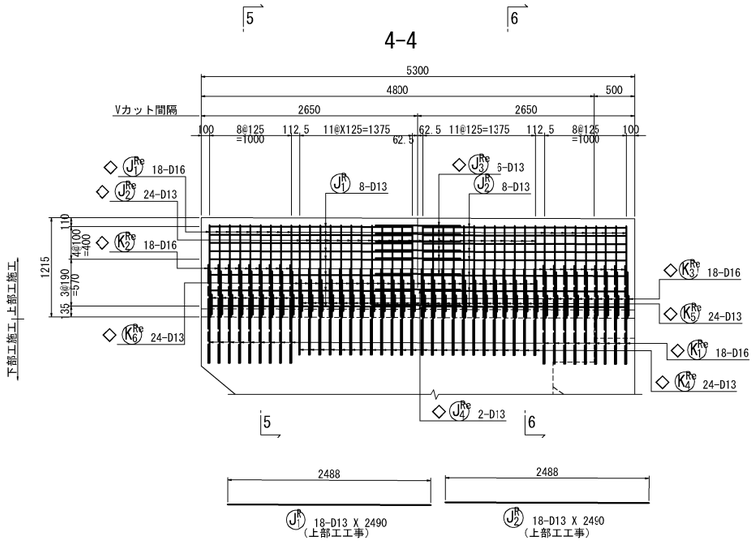
A-A　S=1:25

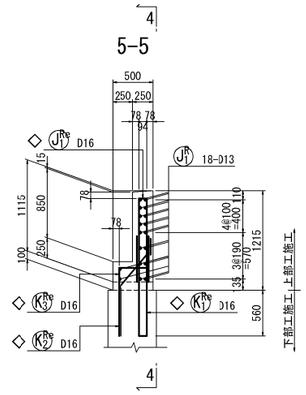


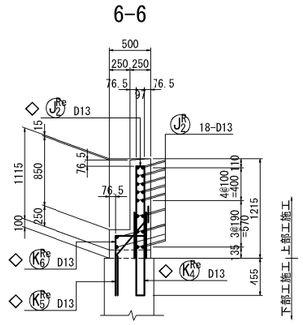
B-B　S=1:25

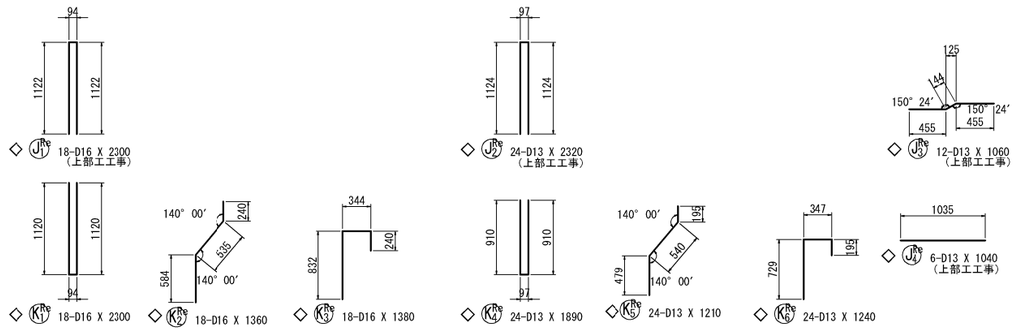


右側壁高欄

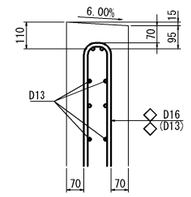








かぶり詳細図　S=1:25



注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その７）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その８）

鉄筋質量表（下部工施工）

普通鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P 1	D19	3740	27	2.25	8.42	227	
P 2	D22	3650	27	3.04	11.1	300	
P 3	D16	640	27	1.56	0.998	27	
						554	
E 1	D16	2370	23	1.56	3.70	85	
E 2	D13	1590	9	0.995	1.58	14	
						99	
A 1	D19	5160	27	2.25	11.6	313	(平均長)
A 2	D16	5120	27	1.56	7.99	216	(平均長)
A 3	〃	4120	31	1.56	6.43	199	
A 4	〃	5190	9	1.56	8.10	73	
A 5	〃	5040	9	1.56	7.86	71	
						872	
F 1	D22	5550	27	3.04	16.9	456	
F 2	D16	3420	27	1.56	5.34	144	
F 3	〃	1630	27	1.56	2.54	69	
F 4	〃	7740	17	1.56	12.1	206	
F 5	〃	7740	5	1.56	12.1	61	
F 6	〃	7740	5	1.56	12.1	61	
F 7	D19	4770	6	2.25	10.7	64	
F 8	〃	7740	6	2.25	17.4	104	
F 9	D16	1180	6	1.56	1.84	11	
						1176	
F^{0}_{1}	D13	930	36	0.995	0.925	33	(30)C
						33	
L 1	D16	8420	4	1.56	13.1	52	(平均長)
L 2	〃	2520	16	1.56	3.93	63	(平均長)
L 3	〃	8420	4	1.56	13.1	52	(平均長)
L 4	〃	2520	16	1.56	3.93	63	(平均長)
L 5	〃	7290	2	1.56	11.4	23	
L 6	〃	740	21	1.56	1.15	24	
L 7	〃	7550	2	1.56	11.8	24	
						301	
R 1	D16	8280	4	1.56	12.9	52	(平均長)
R 2	〃	2020	12	1.56	3.15	38	(平均長)
R 3	〃	8280	4	1.56	12.9	52	(平均長)
R 4	〃	2020	12	1.56	3.15	38	(平均長)
R 5	〃	5730	2	1.56	8.94	18	
R 6	〃	740	17	1.56	1.15	20	
R 7	〃	7420	2	1.56	11.6	23	
						241	

	A	B	C	A+B+C
合　計 D22	756 kg	−	−	756 kg
D19	708 kg	−	−	708 kg
D16	1765 kg	−	−	1765 kg
D13	14 kg	−	33 kg	47 kg
総質量	3243 kg	−	33 kg	3276 kg

注)（ ）B:機械継手とガス圧接継手を示し（ ）内は箇所数を示す。
（ ）C:機械式鉄筋定着箇所を示し（ ）内は箇所数を示す。

鉄筋集計表

普通鉄筋

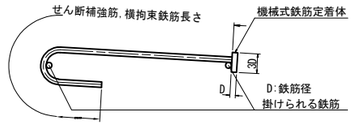
種別	径		下部工施工 躯体	下部工施工 壁高欄	下部工施工 合計
A (SD345)	D13		14	−	14
	D16 ～ D25	D16	1765	−	1765
		D19	708	−	708
		D22	756	−	756
		D25	−	−	−
		計	3229	−	3229
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		3243	−	3243
B (SD345)	D16 ～ D25	D16	−	−	−
		D19	−	−	−
		D22	−	−	−
		D25	−	−	−
		計	−	−	−
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		−	−	−
C (SD345)	D13		33	−	33
	D16 ～ D25	D16	−	−	−
		D19	−	−	−
		D22	−	−	−
		D25	−	−	−
		計	−	−	−
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		33	−	33
総　質　量			3276	−	3276

機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

鉄筋長(L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L≦1m	36	−	−	−	−	−	−
1m<L≦2m	−	−	−	−	−	−	−
2m<L≦3m	−	−	−	−	−	−	−
3m<L≦4m	−	−	−	−	−	−	−
4m<L≦5m	−	−	−	−	−	−	−
5m<L≦6m	−	−	−	−	−	−	−
小　計	36	−	−	−	−	−	−
合　計	36						

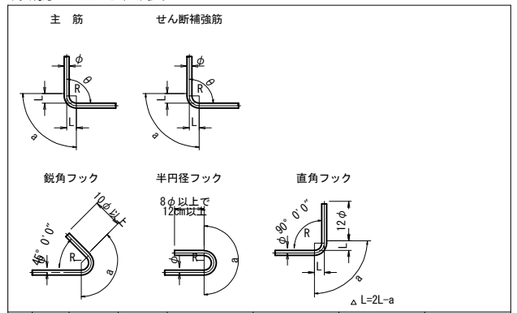
普通鉄筋

機械式鉄筋定着体形状図



鉄筋部分を斜めにして定着体を掛けられる鉄筋に完全に掛けること

鉄筋加工寸法表



	径	θ≦90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	θ=135° a	θ=135° △L
主筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

	径	R=2.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	―――
せん断補強筋及び帯鉄筋	D13	32.5	77	80	68	45	51	14	―――
	D16	40	94	99	84	55	63	17	―――
	D19	47.5	112	117	99	66	75	20	―――
	D22	55	130	136	115	76	86	24	―――
	D25	62.5	147	155	131	86	98	27	―――
	D29	72.5	171	179	152	99	114	31	―――
	D32	80	188	198	168	110	126	34	―――

	径	R=3.0φ	鋭角フック a	半円径フック a	直角フック a	直角フック △L
フック	D13	39	92	123	61	17
	D16	48	113	151	75	21
	D19	57	134	179	89	25
	D22	66	156	207	104	28
	D25	75	177	236	118	32
	D29	87	205	273	137	37
	D32	96	226	302	151	41

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その８）		
縮　尺	図　示	図面番号	−
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その９）

鉄筋質量表（下部工施工）　エポキシ鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P^{e}_{1-1}	D19	3500	6	2.25	7.88	47	
P^{e}_{1-2}	D16	5290	6	1.56	8.25	50	
P^{e}_{2-1}	D19	5000	5	2.25	11.3	57	
P^{e}_{2-2}	D16	3790	5	1.56	5.91	30	
P^{e}_{3}	〃	7750	11	1.56	12.1	133	
P^{e}_{4}	〃	1040	34	1.56	1.62	55	
						372	
P^{Oe}_{1}	D16	500	90	1.56	0.780	70	(90)C
						70	
E^{e}_{1}	D16	7750	4	1.56	12.1	48	
E^{e}_{2}	D22	520	9	3.04	1.58	14	
						62	
A^{e}_{1}	D16	8240	14	1.56	12.9	181	
A^{e}_{2}	〃	8240	1	1.56	12.9	13	
A^{e}_{3}	〃	8240	14	1.56	12.9	181	
A^{e}_{4}	〃	8240	1	1.56	12.9	13	
A^{e}_{5}	〃	8810	11	1.56	13.7	151	
						539	
A^{Oe}_{1}	D16	2490	63	1.56	3.88	244	(63)C
A^{Oe}_{2}	〃	2490	29	1.56	3.88	113	(29)C
						357	
S^{e}_{1}	D16	1860	20	1.56	2.90	58	
S^{e}_{2}	〃	1860	20	1.56	2.90	58	
S^{e}_{3}	〃	3100	4	1.56	4.84	19	
						135	
L^{e}_{1}	D19	5890	1	2.25	13.3	13	
L^{e}_{2}	〃	6770	2	2.25	15.2	30	
L^{e}_{3}	〃	5040	9	2.25	11.3	102	(平均長)
L^{e}_{4}	〃	4270	5	2.25	9.61	48	(平均長)
L^{e}_{5}	〃	3480	9	2.25	7.83	70	
L^{e}_{6}	〃	2160	11	2.25	4.86	53	
L^{e}_{7}	〃	4980	2	2.25	11.2	22	
L^{e}_{8}	〃	4700	10	2.25	10.6	106	
L^{e}_{9}	D16	5890	1	1.56	9.19	9	
L^{e}_{10}	〃	6480	2	1.56	10.1	20	
L^{e}_{11}	〃	4750	9	1.56	7.41	67	(平均長)
L^{e}_{12}	〃	4230	5	1.56	6.60	33	(平均長)
L^{e}_{13}	〃	3440	9	1.56	5.37	48	
L^{e}_{14}	〃	780	25	1.56	1.22	31	
						652	
L^{Oe}_{1}	D13	720	23	0.995	0.716	16	
						16	
R^{e}_{1}	D16	4690	1	1.56	7.32	7	
R^{e}_{2}	〃	5470	1	1.56	8.53	9	
R^{e}_{3}	〃	3730	10	1.56	5.82	58	(平均長)
R^{e}_{4}	〃	3560	1	1.56	5.55	6	
R^{e}_{5}	〃	3440	12	1.56	5.37	64	
R^{e}_{6}	〃	2060	9	1.56	3.21	29	
R^{e}_{7}	〃	1830	2	1.56	2.85	6	
R^{e}_{8}	〃	4650	11	1.56	7.25	80	
R^{e}_{9}	〃	4690	1	1.56	7.32	7	
R^{e}_{10}	〃	5280	1	1.56	8.24	8	
R^{e}_{11}	〃	3540	10	1.56	5.52	55	(平均長)
R^{e}_{12}	〃	3560	1	1.56	5.55	6	
R^{e}_{13}	〃	3440	12	1.56	5.37	64	
R^{e}_{14}	〃	770	24	1.56	1.20	29	
						428	
R^{Oe}_{1}	D13	720	18	0.995	0.716	13	
						13	

鉄筋質量表（下部工施工）　エポキシ鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
K^{Le}_{1}	D16	2300	18	1.56	3.59	65	
K^{Le}_{2}	〃	1360	18	1.56	2.12	38	
K^{Le}_{3}	〃	1380	18	1.56	2.15	39	
K^{Le}_{4}	D13	1890	34	0.995	1.88	64	
K^{Le}_{5}	〃	1210	34	0.995	1.20	41	
K^{Le}_{6}	〃	1240	34	0.995	1.23	42	
						289	
K^{Re}_{1}	D16	2300	18	1.56	3.59	65	
K^{Re}_{2}	〃	1360	18	1.56	2.12	38	
K^{Re}_{3}	〃	1380	18	1.56	2.15	39	
K^{Re}_{4}	D13	1890	24	0.995	1.88	45	
K^{Re}_{5}	〃	1210	24	0.995	1.20	29	
K^{Re}_{6}	〃	1240	24	0.995	1.23	30	
						246	

		A	B	C	A+B+C
合計	D22	14 kg	－	－	14 kg
	D19	548 kg	－	－	548 kg
	D16	1910 kg	－	427 kg	2337 kg
	D13	280 kg	－	－	280 kg
総質量		2752 kg	－	427 kg	3179 kg

注）( )B:機械継手とガス圧接継手を示し( )内は箇所数を示す。
　　( )C:機械式鉄筋定着箇所を示し( )内は箇所数を示す。

鉄筋集計表　エポキシ鉄筋

種別	径		下部工施工 躯体	下部工施工 壁高欄	下部工施工 合計
A (SD345)	D13		29	251	280
	D16～D25	D16	1626	284	1910
		D19	548	－	548
		D22	14	－	14
		D25	－	－	－
		計	2188	284	2472
	D29～D32	D29	－	－	－
		D32	－	－	－
		計	－	－	－
	D35		－	－	－
	D38		－	－	－
	D41		－	－	－
	D51		－	－	－
	合計		2217	535	2752
B (SD345)	D16～D25	D16	－	－	－
		D19	－	－	－
		D22	－	－	－
		D25	－	－	－
		計	－	－	－
	D29～D32	D29	－	－	－
		D32	－	－	－
		計	－	－	－
	D35		－	－	－
	D38		－	－	－
	D41		－	－	－
	D51		－	－	－
	合計		－	－	－
C (SD345)	D13		－	－	－
	D16～D25	D16	427	－	427
		D19	－	－	－
		D22	－	－	－
		D25	－	－	－
		計	427	－	427
	D29～D32	D29	－	－	－
		D32	－	－	－
		計	－	－	－
	D35		－	－	－
	D38		－	－	－
	D41		－	－	－
	D51		－	－	－
	合計		427	－	427
総質量			2644	535	3179

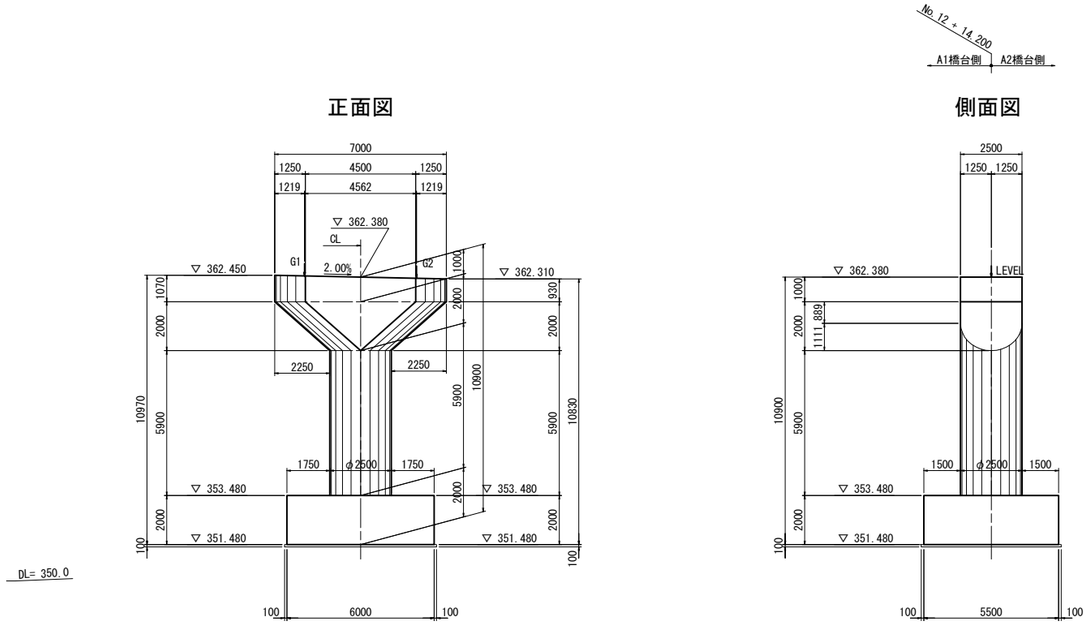
機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

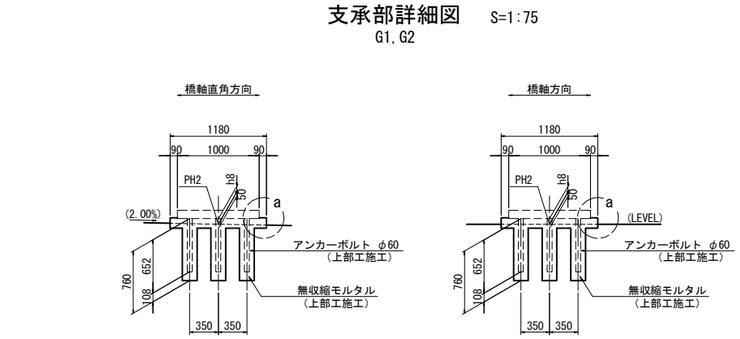
鉄筋長(L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L≦1m	－	90	－	－	－	－	－
1m<L≦2m	－	－	－	－	－	－	－
2m<L≦3m	－	92	－	－	－	－	－
3m<L≦4m	－	－	－	－	－	－	－
4m<L≦5m	－	－	－	－	－	－	－
5m<L≦6m	－	－	－	－	－	－	－
小計	－	182	－	－	－	－	－
合計	182						

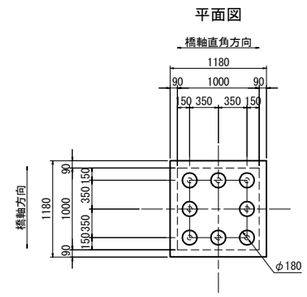
エポキシ鉄筋

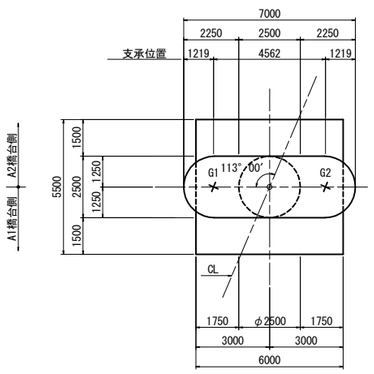
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その９）		
縮尺	図示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

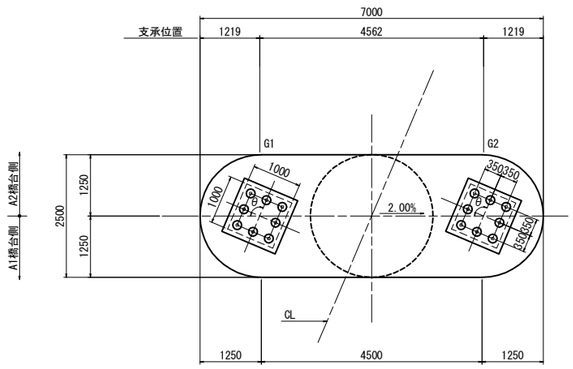
占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚構造一般図　S= 1:250







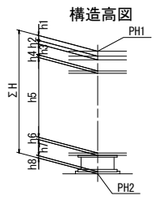




構造高表

(単位:m)

		G1	G2
路面計画高	PH1	365.618	365.529
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.051	0.053
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.333	0.333
調整モルタル厚	h8	0.068	0.069
合計	ΣH	3.192	3.195
下部工天端標高	PH2	362.426	362.334
支承座標	X	-108652.5973	-108656.1510
	Y	15586.2445	15589.1062
支承設置角度	θ	113° 00′ 00″	113° 00′ 00″



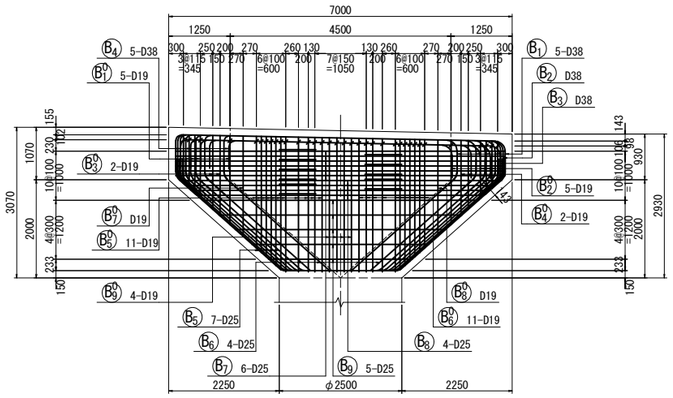
数 量 表

項　目	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
構造物掘削	特殊部　F	m3	426.4	土砂
		m3	193.5	軟岩

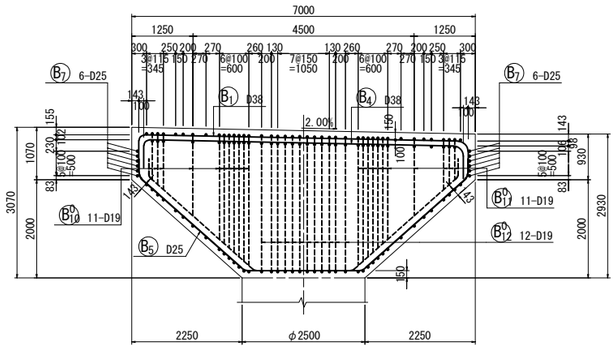
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚構造一般図		
縮　尺	図　示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚配筋図（その１）　S= 1:125

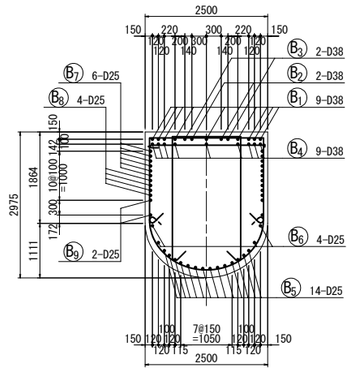
1-1



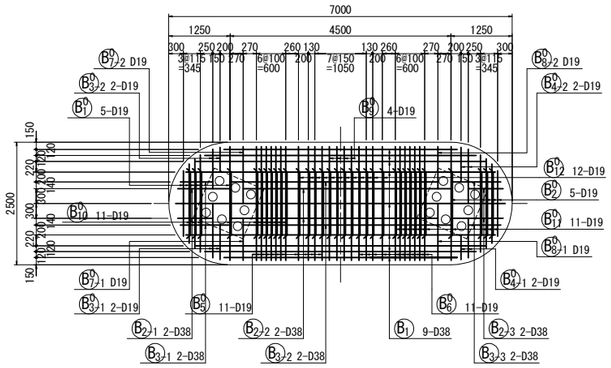
2-2



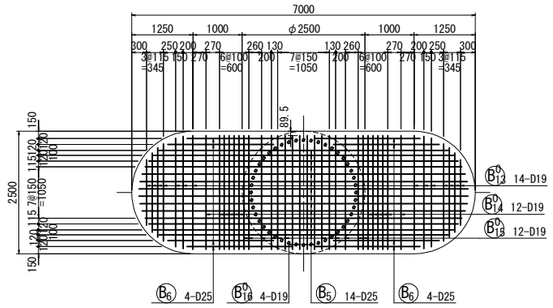
3-3



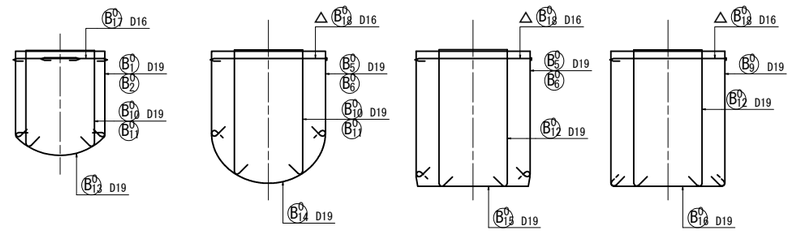
4-4



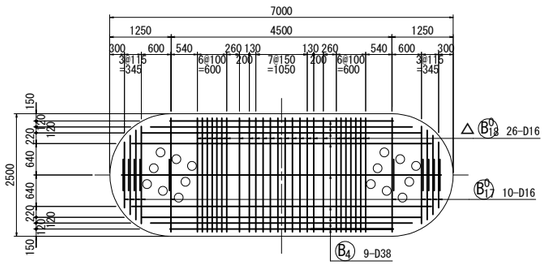
6-6



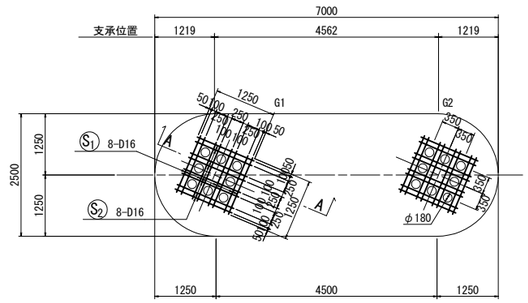
帯鉄筋組立図



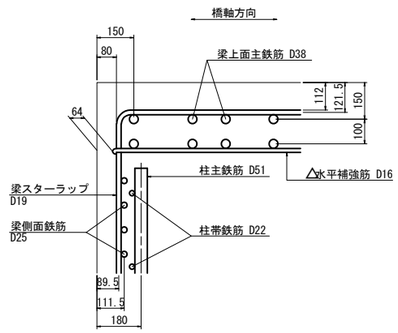
5-5



沓座補強筋配筋図

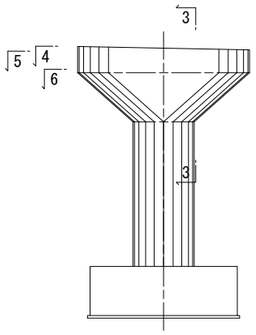


かぶり詳細図　S=1:25

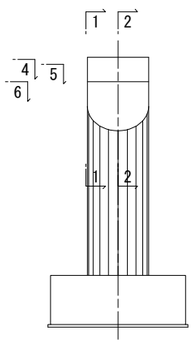


位置図

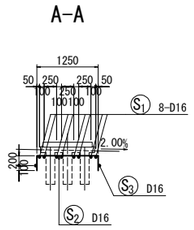
正面図

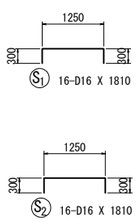


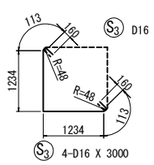
側面図



A-A







注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

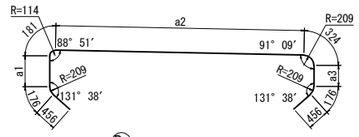
注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）　鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

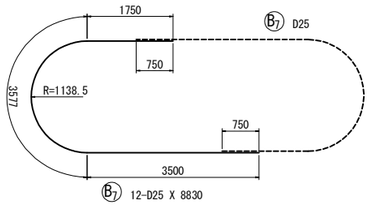
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚配筋図（その１）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚配筋図（その２）　S= 1:125

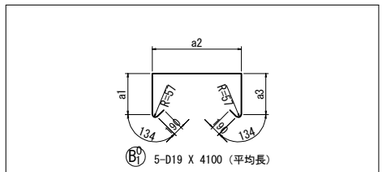


B1 9-D38 X 8260（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	a3	L
B 1-1	D38	2	623	4428	440	7260
-2	〃	2	631	5210	432	8040
-3	〃	2	635	5574	428	8410
-4	〃	2	639	5987	424	8820
-5	〃	1	643	6394	420	9230
平均長		9				8254

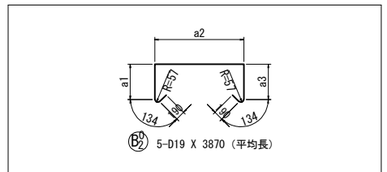


B7 12-D25 X 8830



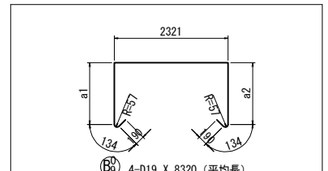
B01 5-D19 X 4100（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	a3	L
B01-1	D19	1	845	1334	845	3630
-2	〃	1	843	1613	843	3910
-3	〃	1	841	1821	841	4110
-4	〃	1	838	1981	838	4270
-5	〃	1	826	2321	826	4580
平均長		5				4100



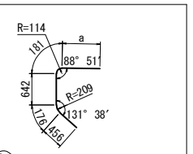
B02 5-D19 X 3870（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	a3	L
B02-1	D19	1	717	1334	717	3380
-2	〃	1	720	1613	720	3660
-3	〃	1	722	1821	722	3870
-4	〃	1	724	1981	724	4040
-5	〃	1	736	2321	736	4400
平均長		5				3870



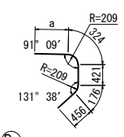
B09 4-D19 X 8320（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B09-1	D19	1	2689	2689	8310
-2	〃	1	2692	2692	8320
-3	〃	1	2695	2695	8320
-4	〃	1	2698	2698	8320
平均長		4			8320



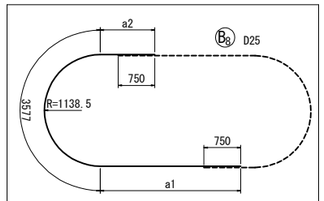
B21 2-D38 X 2230（平均長）

記 号	径	本数	a	L
B 2-1-1	D38	1	595	2050
-2	〃	1	945	2400
平均長		2		2225



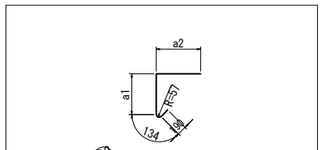
B23 2-D38 X 2060（平均長）

記 号	径	本数	a	L
B 2-3-1	D38	1	506	1880
-2	〃	1	856	2230
平均長		2		2055



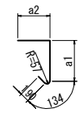
B8 8-D25 X 8340（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B 8-1	D25	2	3087	1337	8000
-2	〃	2	3199	1449	8230
-3	〃	2	3312	1562	8450
-4	〃	2	3424	1674	8680
平均長		8			8340



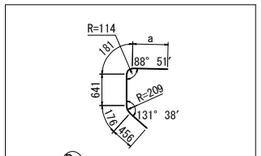
B03 1 2-D19 X 2040（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B03-1-1	D19	1	833	1105	2240
-2	〃	1	830	702	1840
平均長		2			2040



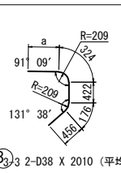
B03 2 2-D19 X 1790（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B03-2-1	D19	1	833	805	1940
-2	〃	1	830	502	1640
平均長		2			1790



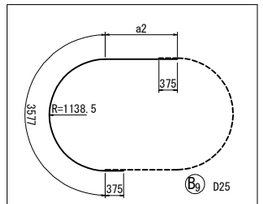
B31 2-D38 X 2180（平均長）

記 号	径	本数	a	L
B 3-1-1	D38	1	545	2000
-2	〃	1	895	2350
平均長		2		2175



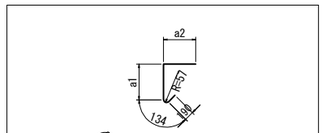
B33 2-D38 X 2010（平均長）

記 号	径	本数	a	L
B 3-3-1	D38	1	807	2190
-2	〃	1	456	1830
平均長		2		2010



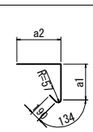
B9 10-D25 X 6060（平均長）

記 号	径	本数	a	L
B 9-1	D25	2	748	4700
-2	〃	2	1423	5380
-3	〃	2	2098	6050
-4	〃	2	2773	6730
-5	〃	2	3448	7400
平均長		10		6052



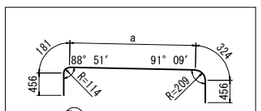
B04 1 2-D19 X 1680（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B04-1-1	D19	1	729	805	1830
-2	〃	1	732	502	1530
平均長		2			1680



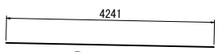
B04 2 2-D19 X 1930（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B04-2-1	D19	1	729	1105	2130
-2	〃	1	732	702	1730
平均長		2			1930

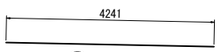


B4 9-D38 X 6640（平均長）

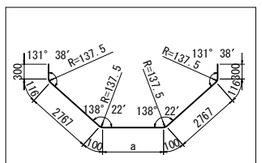
記 号	径	本数	a	L
B 4-1	D38	2	4228	5650
-2	〃	2	5010	6430
-3	〃	2	5374	6790
-4	〃	2	5787	7200
-5	〃	1	6194	7610
平均長		9		6639



B22 2-D38 X 4250

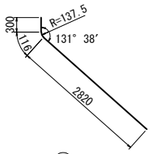


B32 2-D38 X 4250

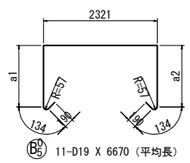


B5 14-D25 X 8550（平均長）

記 号	径	本数	a	L
B 5-1	D25	2	1483	8050
-2	〃	2	1698	8260
-3	〃	2	1895	8460
-4	〃	2	2038	8600
-5	〃	2	2172	8740
-6	〃	2	2256	8820
-7	〃	2	2297	8860
平均長		14		8541

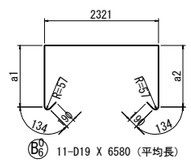


B6 8-D25 X 3240



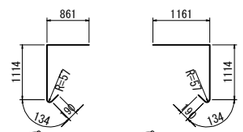
B05 11-D19 X 6670（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B05- 1	D19	1	1349	1349	5630
- 2	〃	1	1435	1435	5800
- 3	〃	1	1522	1522	5970
- 4	〃	1	1609	1609	6150
- 5	〃	1	1696	1696	6320
- 6	〃	1	1783	1783	6500
- 7	〃	1	1870	1870	6670
- 8	〃	1	2095	2095	7120
- 9	〃	1	2269	2269	7470
-10	〃	1	2382	2382	7690
-11	〃	1	2512	2512	7950
平均長		11			6661

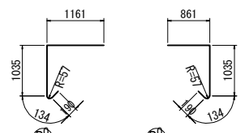


B06 11-D19 X 6580（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B06- 1	D19	1	1280	1280	5490
- 2	〃	1	1371	1371	5670
- 3	〃	1	1462	1462	5850
- 4	〃	1	1553	1553	6040
- 5	〃	1	1643	1643	6220
- 6	〃	1	1734	1734	6400
- 7	〃	1	1825	1825	6580
- 8	〃	1	2061	2061	7050
- 9	〃	1	2243	2243	7420
-10	〃	1	2361	2361	7650
-11	〃	1	2497	2497	7920
平均長		11			6572



B07 1 1-D19 X 2280　B07 2 1-D19 X 2580



B08 1 1-D19 X 2500　B08 2 1-D19 X 2200

注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説（H29.11 日本道路協会）
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

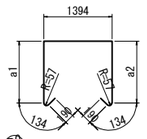
注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

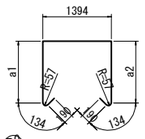
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚配筋図（その２）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚配筋図（その３）　S= 1:125



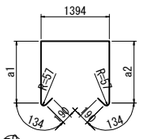
B10 11-D19 X 5860（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B10- 1	D19	1	909	909	3820
－ 2	〃	1	1009	1009	4020
－ 3	〃	1	1109	1109	4220
－ 4	〃	1	1631	1631	5260
－ 5	〃	1	2100	2100	6200
－ 6	〃	1	2187	2187	6380
－ 7	〃	1	2274	2274	6550
－ 8	〃	1	2360	2360	6720
－ 9	〃	1	2447	2447	6900
－10	〃	1	2534	2534	7070
－11	〃	1	2621	2621	7240
平均長		11			5853



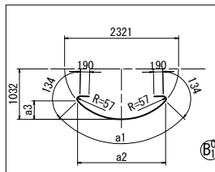
B11 11-D19 X 5700（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B11- 1	D19	1	786	786	3574
－ 2	〃	1	891	891	3780
－ 3	〃	1	995	995	3990
－ 4	〃	1	1540	1540	5080
－ 5	〃	1	2031	2031	6060
－ 6	〃	1	2122	2122	6250
－ 7	〃	1	2213	2213	6430
－ 8	〃	1	2304	2304	6610
－ 9	〃	1	2395	2395	6790
－10	〃	1	2486	2486	6970
－11	〃	1	2577	2577	7160
平均長		11			5699



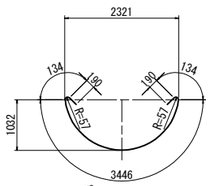
B12 12-D19 X 7390（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	L
B12- 1	D19	1	2676	2676	7350
－ 2	〃	1	2680	2680	7360
－ 3	〃	1	2683	2683	7370
－ 4	〃	1	2686	2686	7370
－ 5	〃	1	2689	2689	7380
－ 6	〃	1	2692	2692	7390
－ 7	〃	1	2695	2695	7390
－ 8	〃	1	2698	2698	7400
－ 9	〃	1	2701	2701	7400
－10	〃	1	2704	2704	7410
－11	〃	1	2707	2707	7420
－12	〃	1	2711	2711	7420
平均長		12			7388

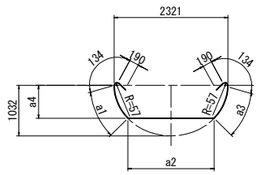


B13 14-D19 X 3010（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	a3	L
B13-1	D19	2	1340	1280	171	1990
-2	〃	2	1698	1573	273	2350
-3	〃	2	1984	1782	371	2630
-4	〃	2	2249	1951	473	2900
-5	〃	2	2783	2203	707	3430
-6	〃	2	3068	2282	844	3720
-7	〃	2	3385	2320	1001	4030
平均長		14				3007

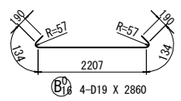


B14 12-D19 X 4100

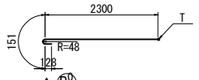


B15 12-D19 X 3800（平均長）

記 号	径	本数	a1	a2	a3	a4	L
B15-1	D19	2	1401	638	1401	992	4090
-2	〃	2	1142	1122	1142	903	4050
-3	〃	2	747	1761	747	672	3900
-4	〃	2	521	2037	521	494	3730
-5	〃	2	390	2159	390	379	3590
-6	〃	2	248	2254	248	246	3400
平均長		12					3793

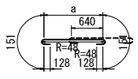


B16 4-D19 X 2860



△ B18 26-D16 X 2580

＊ 半円形フックを千鳥に配置すること。



B17 D16

B17 20-D16 X 1760（平均長）

記 号	径	本数	a	L
B17-1	D16	4	957	1520
-2	〃	4	1096	1650
-3	〃	4	1200	1760
-4	〃	4	1280	1840
-5	〃	4	1450	2010
平均長		20		1756

注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

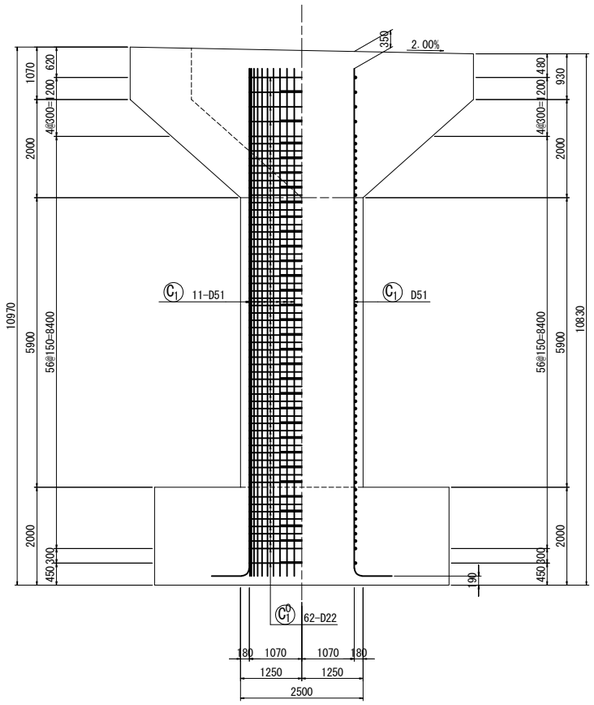
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

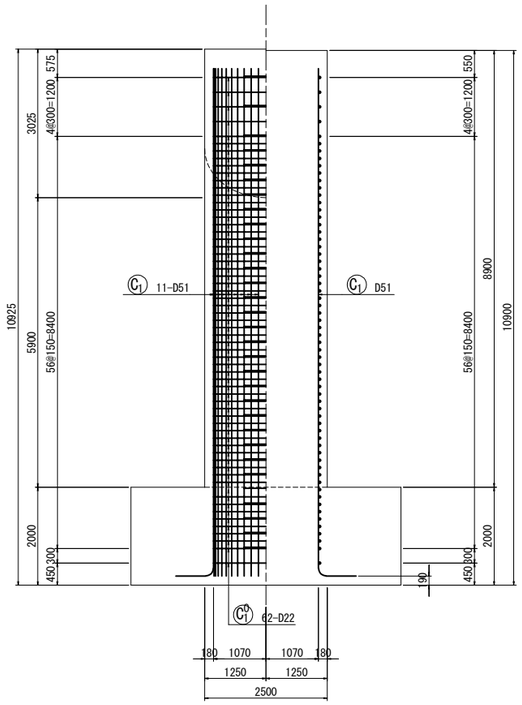
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚配筋図（その３）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

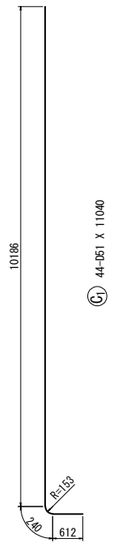
占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚配筋図（その４）　S= 1:125

1-1　2-2

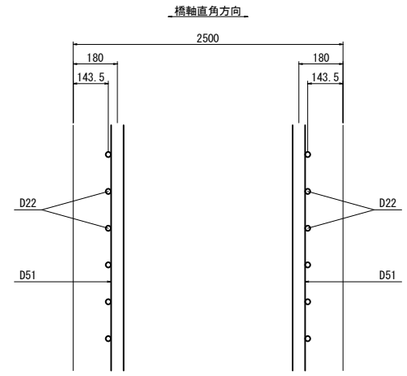


3-3　4-4

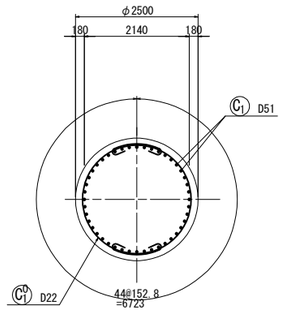


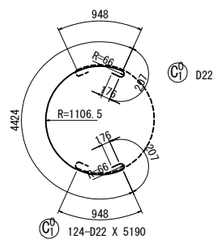


かぶり詳細図　S=1:25

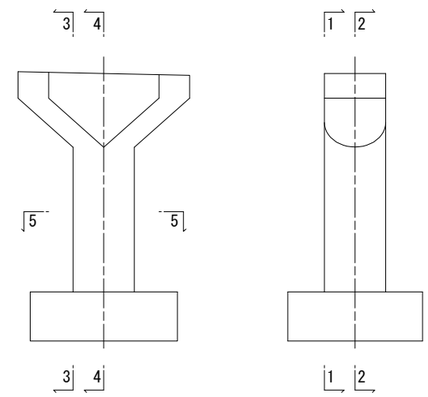


5-5





位置図



注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

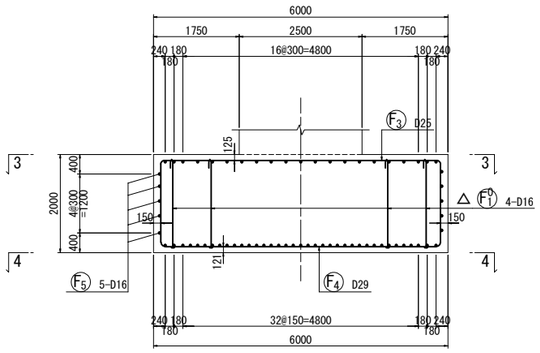
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）　鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

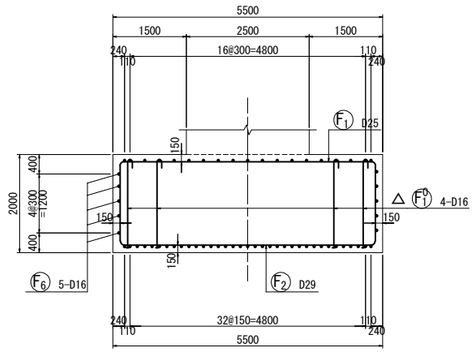
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚配筋図（その４）		
縮　　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚配筋図（その５）　S= 1:125

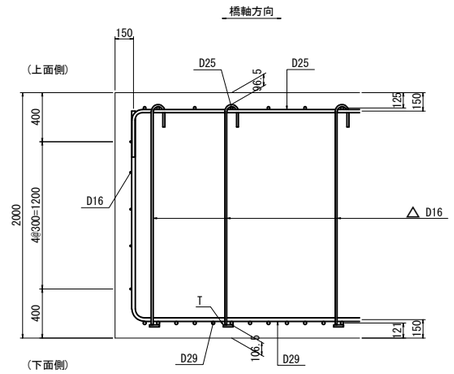
1-1



2-2

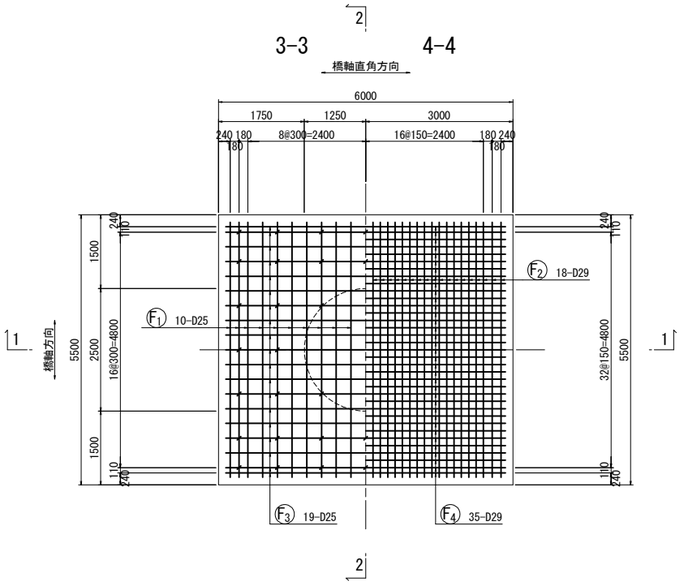


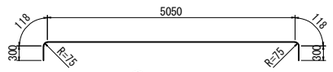
かぶり詳細図　S=1:50



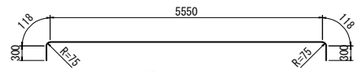
注）せん断補強鉄筋は、半円形フックを上面側に配置して直角方向主鉄筋にかける。

3-3　4-4

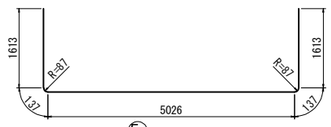




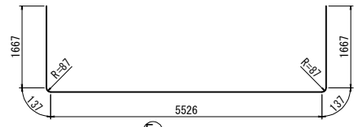
F1 21-D25 X 5890



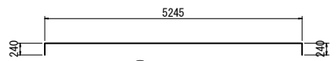
F3 19-D25 X 6390



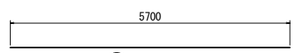
F2 37-D29 X 8530



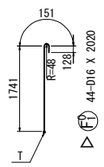
F4 35-D29 X 9140



F5 10-D16 X 5690



F6 10-D16 X 5700



F1 44-D16 X 2020

注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）　鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚配筋図（その５）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚配筋図（その６）

鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
B 1	D38	8260	9	8.95	73.9	665	(平均長)
B 2-1	〃	2230	2	8.95	20.0	40	(平均長)
B 2-2	〃	4250	2	8.95	38.0	76	
B 2-3	〃	2060	2	8.95	18.4	37	(平均長)
B 3-1	〃	2180	2	8.95	19.5	39	(平均長)
B 3-2	〃	4250	2	8.95	38.0	76	
B 3-3	〃	2010	2	8.95	18.0	36	(平均長)
B 4	〃	6640	9	8.95	59.4	535	(平均長)
B 5	D25	8550	14	3.98	34.0	476	(平均長)
B 6	〃	3240	8	3.98	12.9	103	
B 7	〃	8830	12	3.98	35.1	421	
B 8	〃	8340	8	3.98	33.2	266	(平均長)
B 9	〃	6060	10	3.98	24.1	241	(平均長)
						3011	
B 1 0	D19	4100	5	2.25	9.23	46	(平均長)
B 2 0	〃	3870	5	2.25	8.71	44	(平均長)
B 3-1 0	〃	2040	2	2.25	4.59	9	(平均長)
B 3-2 0	〃	1790	2	2.25	4.03	8	(平均長)
B 4-1 0	〃	1680	2	2.25	3.78	8	(平均長)
B 4-2 0	〃	1930	2	2.25	4.34	9	(平均長)
B 5 0	〃	6670	11	2.25	15.0	165	(平均長)
B 6 0	〃	6580	11	2.25	14.8	163	(平均長)
B 7-1 0	〃	2280	1	2.25	5.13	5	
B 7-2 0	〃	2580	1	2.25	5.81	6	
B 8-1 0	〃	2500	1	2.25	5.63	6	
B 8-2 0	〃	2200	1	2.25	4.95	5	
B 9 0	〃	8320	4	2.25	18.7	75	(平均長)
B 10 0	〃	5860	11	2.25	13.2	145	(平均長)
B 11 0	〃	5700	11	2.25	12.8	141	(平均長)
B 12 0	〃	7390	12	2.25	16.6	199	(平均長)
B 13 0	〃	3010	14	2.25	6.77	95	(平均長)
B 14 0	〃	4100	12	2.25	9.23	111	
B 15 0	〃	3800	12	2.25	8.55	103	(平均長)
B 16 0	〃	2860	4	2.25	6.44	26	
B 17 0	D16	1760	20	1.56	2.75	55	(平均長)
B 18 0	〃	2580	26	1.56	4.02	105	(26C)
						1529	
S 1	D16	1810	16	1.56	2.82	45	
S 2	〃	1810	16	1.56	2.82	45	
S 3	〃	3000	4	1.56	4.68	19	
						109	
C 1	D51	11040	44	15.9	176	7744	
						7744	
C 1 0	D22	5190	124	3.04	15.8	1959	
						1959	
F 1	D25	5890	21	3.98	23.4	491	
F 2	D29	8530	37	5.04	43.0	1591	
F 3	D25	6390	19	3.98	25.4	483	
F 4	D29	9140	35	5.04	46.1	1614	
F 5	D16	5690	10	1.56	8.88	89	
F 6	〃	5700	10	1.56	8.89	89	
						4357	
F 1 0	D16	2020	44	1.56	3.15	139	(40C)
						139	

	A	B	C	A+B+C
合　計 D51	7744 kg	−	−	7744 kg
D38	1504 kg	−	−	1504 kg
D29	3205 kg	−	−	3205 kg
D25	2481 kg	−	−	2481 kg
D22	1959 kg	−	−	1959 kg
D19	1369 kg	−	−	1369 kg
D16	342 kg	−	244 kg	586 kg
総質量	18604 kg	−	244 kg	18848 kg

注)（ ）B:機械継手とガス圧接継手を示し（ ）内は箇所数を示す。
（ ）C:機械式鉄筋定着箇所を示し（ ）内は箇所数を示す。

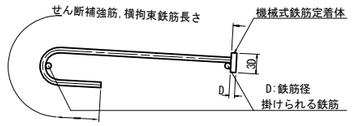
径別集計表

種別	径		下部工施工 H≦25m	下部工施工 H>25m	下部工施工 合計
A (SD345)	D13		−	−	−
	D16 ～ D25	D16	342	−	342
		D19	1369	−	1369
		D22	1959	−	1959
		D25	2481	−	2481
		計	6151	−	6151
	D29 ～ D32	D29	3205	−	3205
		D32	−	−	−
		計	3205	−	3205
	D35		−	−	−
	D38		1504	−	1504
	D41		−	−	−
	D51		7744	−	7744
	合　計		18604	−	18604
B (SD345)	D16 ～ D25	D16	−	−	−
		D19	−	−	−
		D22	−	−	−
		D25	−	−	−
		計	−	−	−
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		−	−	−
C (SD345)	D13		−	−	−
	D16 ～ D25	D16	244	−	244
		D19	−	−	−
		D22	−	−	−
		D25	−	−	−
		計	244	−	244
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		244	−	244
総　質　量			18848	−	18848

機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

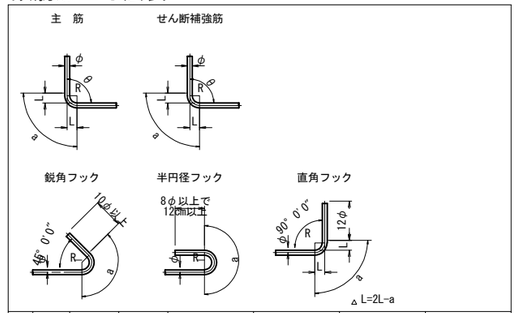
鉄筋長(L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L≦1m	−	−	−	−	−	−	−
1m<L≦2m	−	−	−	−	−	−	−
2m<L≦3m	−	70	−	−	−	−	−
3m<L≦4m	−	−	−	−	−	−	−
4m<L≦5m	−	−	−	−	−	−	−
5m<L≦6m	−	−	−	−	−	−	−
小　計	−	70	−	−	−	−	−
合　計							70

機械式鉄筋定着体形状図



鉄筋部分を斜めにして定着体を掛けられる鉄筋に完全に掛けること

鉄筋加工寸法表



	径	θ≦90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	θ=135° a	θ=135° △L
主筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

	径	R=2.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	――
せん断補強筋及び帯鉄筋	D13	32.5	77	80	68	45	51	14	――
	D16	40	94	99	84	55	63	17	――
	D19	47.5	112	117	99	66	75	20	――
	D22	55	130	136	115	76	86	24	――
	D25	62.5	147	155	131	86	98	27	――
	D29	72.5	171	179	152	99	114	31	――
	D32	80	188	198	168	110	126	34	――

	径	R=3.0φ	鋭角フック a	半円径フック a	直角フック a	直角フック △L
フック	D13	39	92	123	61	17
	D16	48	113	151	75	21
	D19	57	134	179	89	25
	D22	66	156	207	104	28
	D25	75	177	236	118	32
	D29	87	205	273	137	37
	D32	96	226	302	151	41

注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

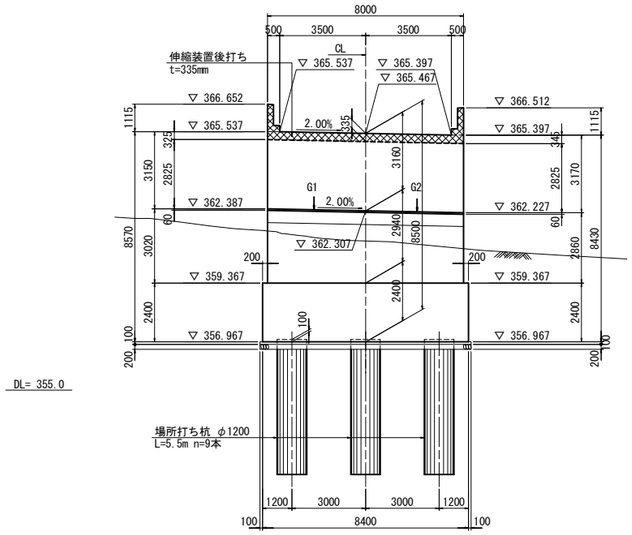
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

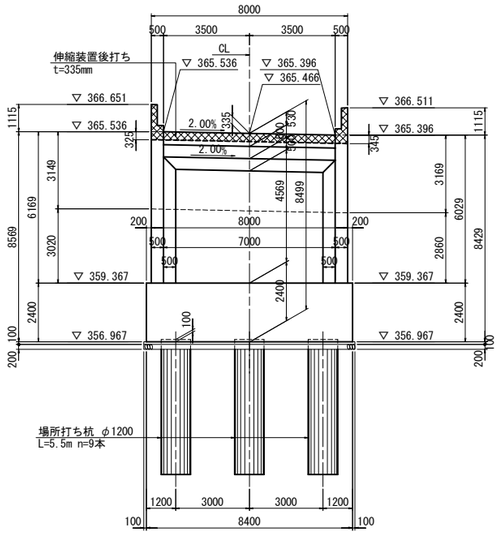
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚配筋図（その６）		
縮　尺	図　示	図面番号	−
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台構造一般図（その１）　S= 1:250

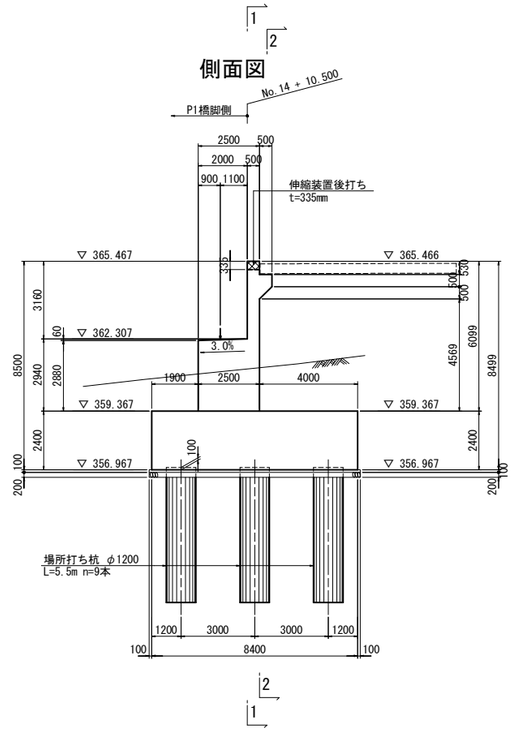
正面図
1-1



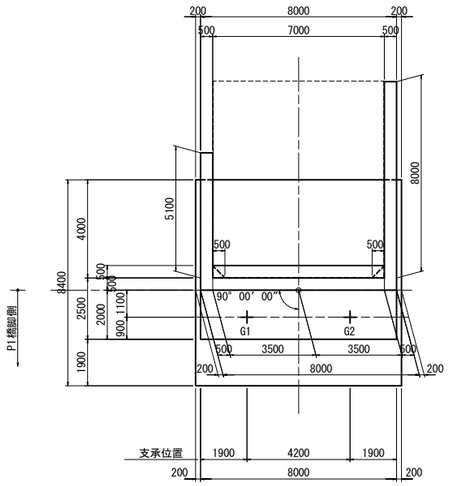
背面図
2-2



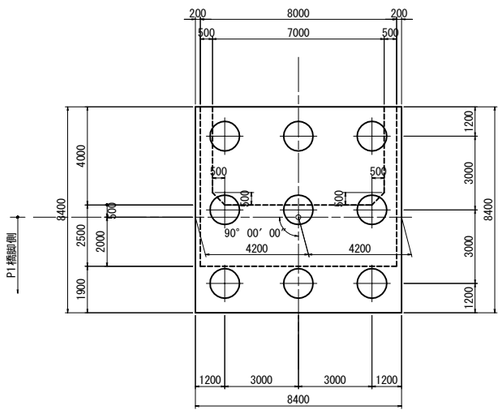
側面図



平面図

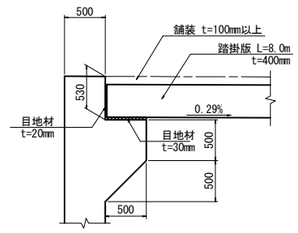


基礎平面図



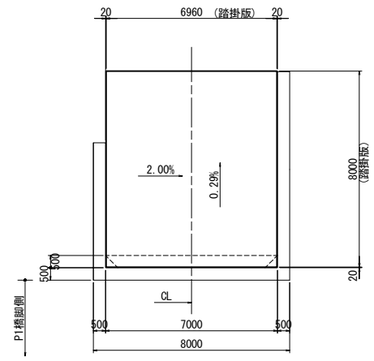
踏掛版詳細図 （別途工事）

側面図 S=1:75



※：縦断勾配は、踏掛版延長方向(L=8.0m)を示す。

平面図 S=1:250



注）：▨ 上部工施工範囲を表す。

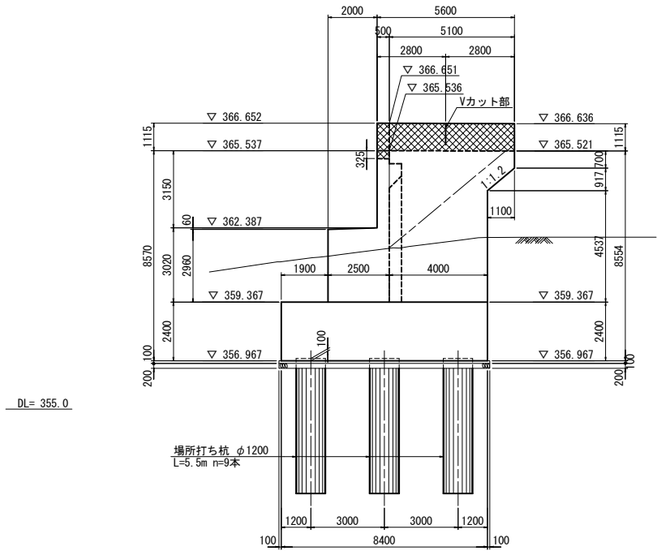
数 量 表

項　目	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
構造物掘削	普通部	m3	972.9	土砂

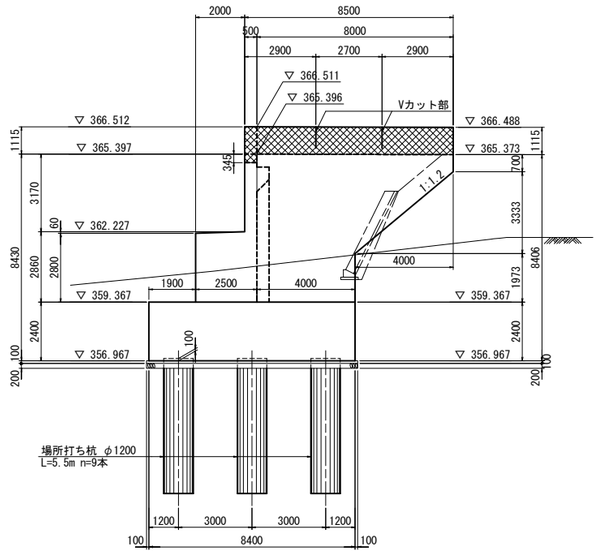
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台構造一般図（その１）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台構造一般図（その２）　S= 1:250

左翼壁

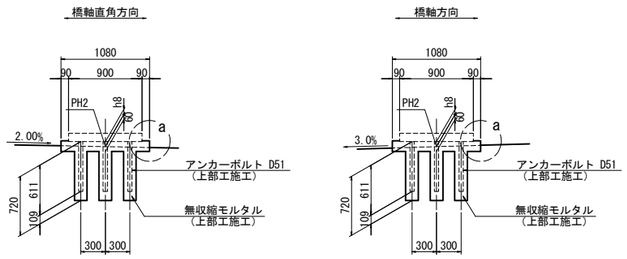


右翼壁

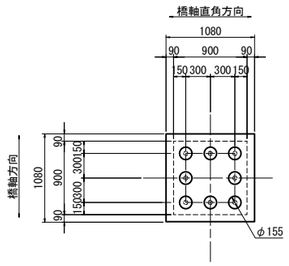


支承部詳細図　S=1:75

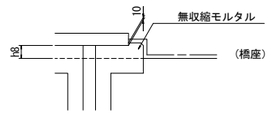
G1, G2



平面図

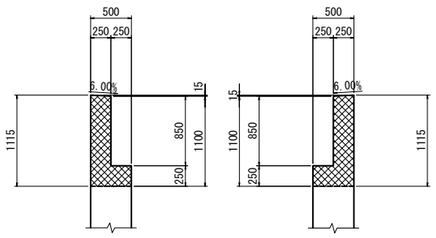


"a"部詳細図　S=1:25



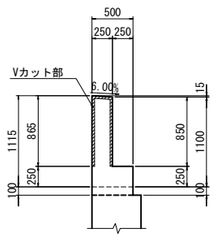
壁高欄詳細　S=1:75

左側　　右側

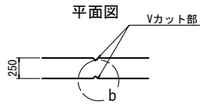


Vカット部詳細図　S=1:75

断面図

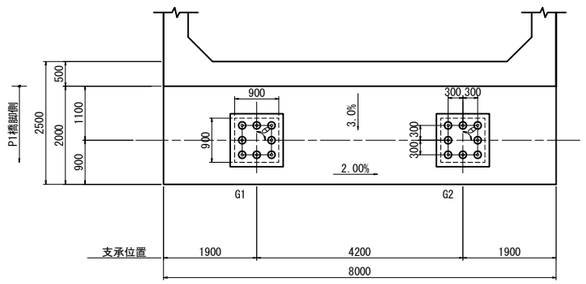


平面図



"b"部詳細図　S=1:25

支承配置図　S=1:125

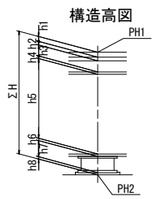


構造高表

（単位:m）

		G1	G2
路面計画高	PH1	365.513	365.429
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.022	0.022
ソールプレート厚	h6	0.039	0.039
支承高	h7	0.374	0.374
調整モルタル厚	h8	0.062	0.062
合計	ΣH	3.197	3.197
下部工天端標高	PH2	362.316	362.232
支承座標	X	-108642.7441	-108646.7846
	Y	15620.9649	15622.1115
支承設置角度	θ	90° 00′ 00″	90° 00′ 00″

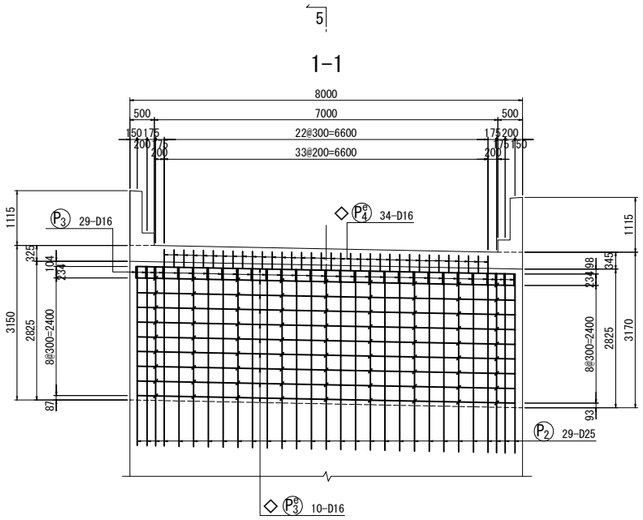
構造高図

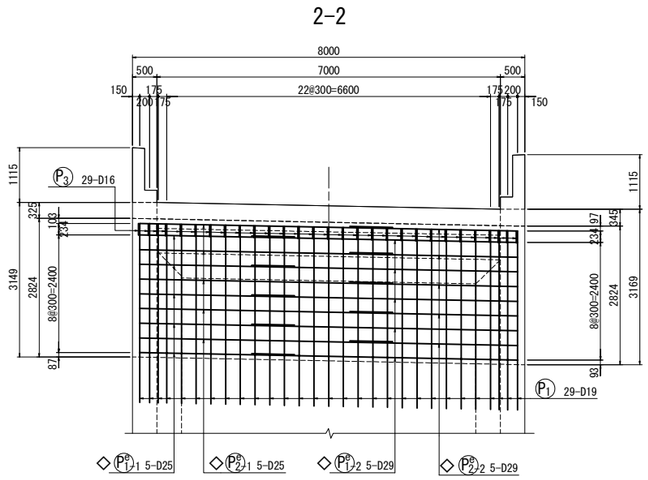


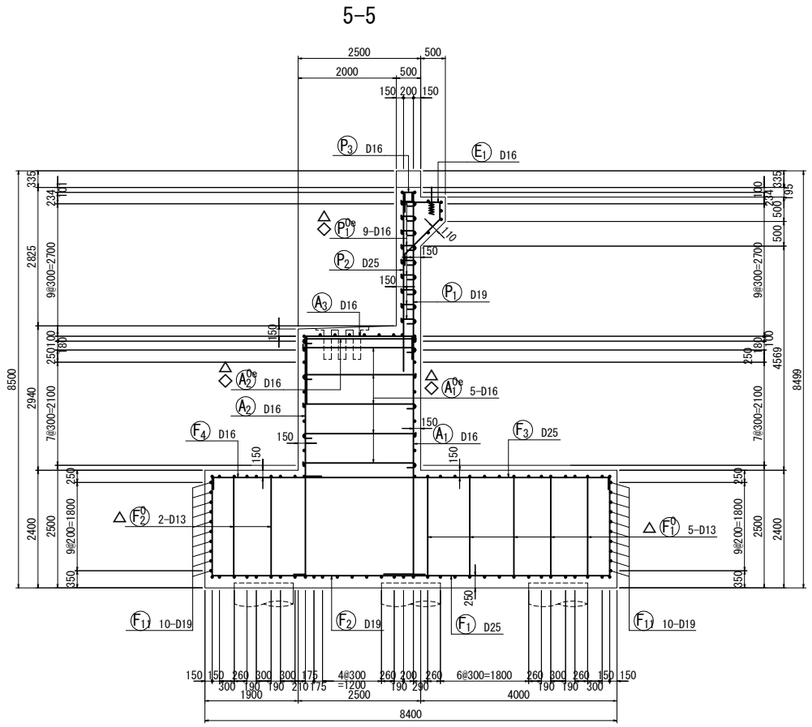
注）：▨ 上部工施工範囲を表す。

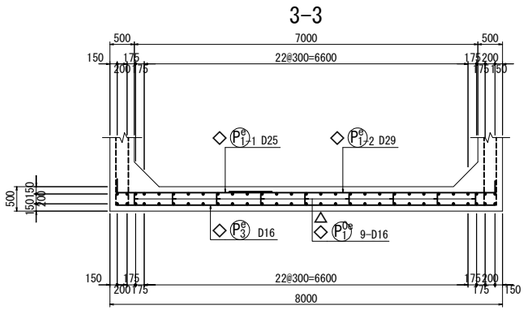
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台構造一般図（その２）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

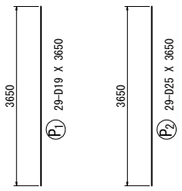
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その１）　S= 1:125

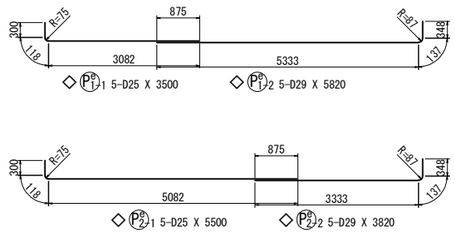


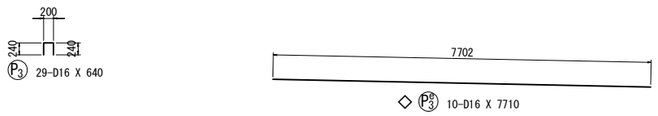


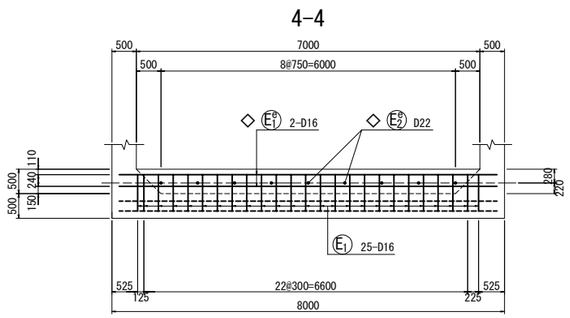


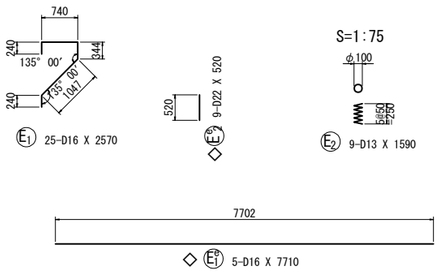




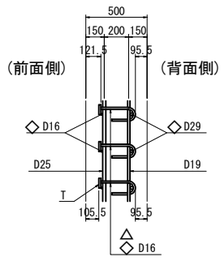




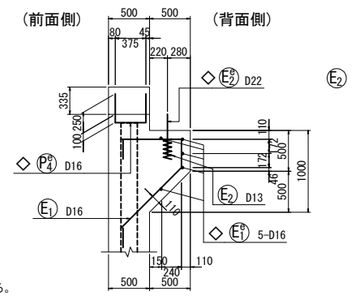




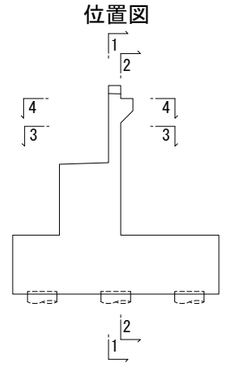
かぶり詳細図　S=1:50　パラペット頂部詳細図　S=1:75



注）せん断補強鉄筋は、半円形フックを背面側に配置して、配力鉄筋に掛ける。



位置図



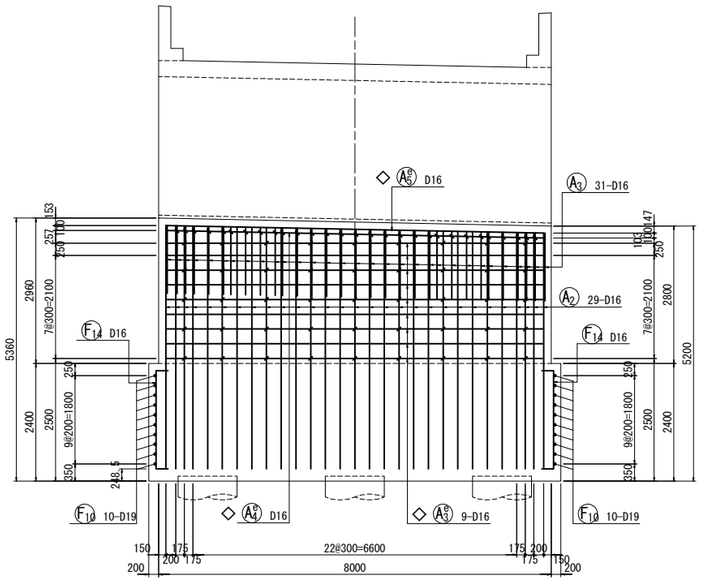
注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29.11 日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

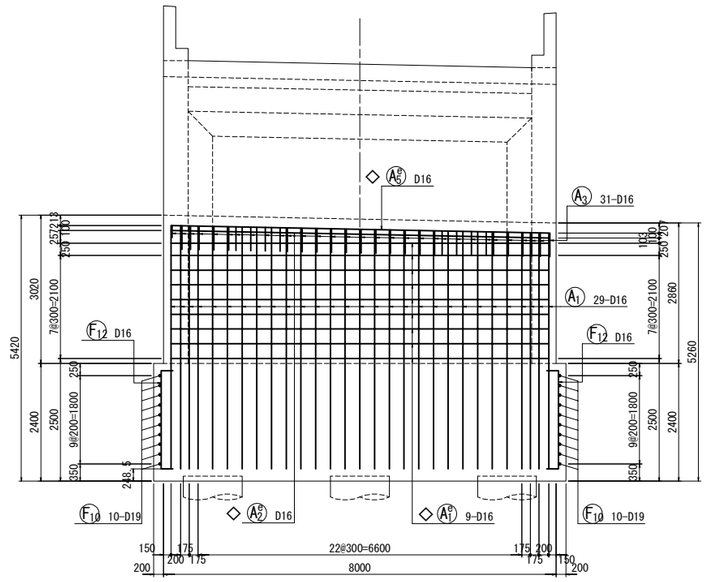
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その１）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

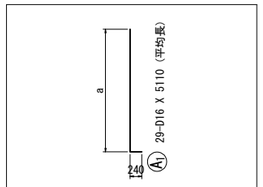
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その２）　S= 1:125

1-1

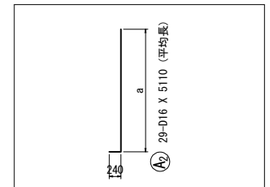


2-2

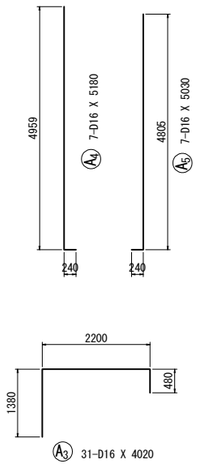




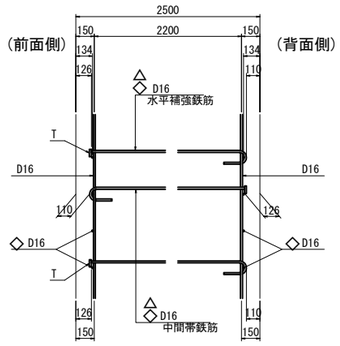
記 号	径	本数	a	L
A1- 1	D16	1	4805	5020
- 2	〃	1	4809	5030
- 3	〃	1	4812	5030
- 4	〃	1	4816	5040
- 5	〃	1	4822	5040
- 6	〃	1	4828	5050
- 7	〃	1	4834	5050
- 8	〃	1	4840	5060
- 9	〃	1	4846	5070
-10	〃	1	4852	5070
-11	〃	1	4858	5080
-12	〃	1	4864	5080
-13	〃	1	4870	5090
-14	〃	1	4876	5100
-15	〃	1	4882	5100
-16	〃	1	4888	5110
-17	〃	1	4894	5110
-18	〃	1	4900	5120
-19	〃	1	4906	5130
-20	〃	1	4912	5130
-21	〃	1	4918	5140
-22	〃	1	4924	5140
-23	〃	1	4930	5150
-24	〃	1	4936	5160
-25	〃	1	4942	5160
-26	〃	1	4948	5170
-27	〃	1	4951	5170
-28	〃	1	4955	5170
-29	〃	1	4959	5180
平均長		29		5102



記 号	径	本数	a	L
A2- 1	D16	1	4805	5020
- 2	〃	1	4809	5030
- 3	〃	1	4812	5030
- 4	〃	1	4816	5040
- 5	〃	1	4822	5040
- 6	〃	1	4828	5050
- 7	〃	1	4834	5050
- 8	〃	1	4840	5060
- 9	〃	1	4846	5070
-10	〃	1	4852	5070
-11	〃	1	4858	5080
-12	〃	1	4864	5080
-13	〃	1	4870	5090
-14	〃	1	4876	5100
-15	〃	1	4882	5100
-16	〃	1	4888	5110
-17	〃	1	4894	5110
-18	〃	1	4900	5120
-19	〃	1	4906	5130
-20	〃	1	4912	5130
-21	〃	1	4918	5140
-22	〃	1	4924	5140
-23	〃	1	4930	5150
-24	〃	1	4936	5160
-25	〃	1	4942	5160
-26	〃	1	4948	5170
-27	〃	1	4951	5170
-28	〃	1	4955	5170
-29	〃	1	4959	5180
平均長		29		5102

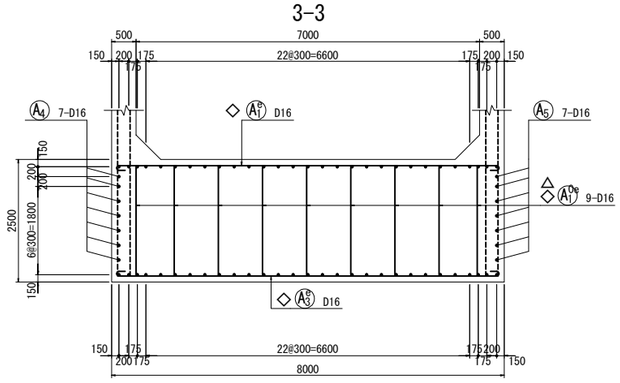


かぶり詳細図　S=1:50

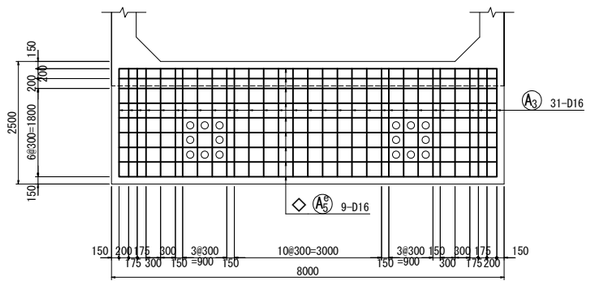


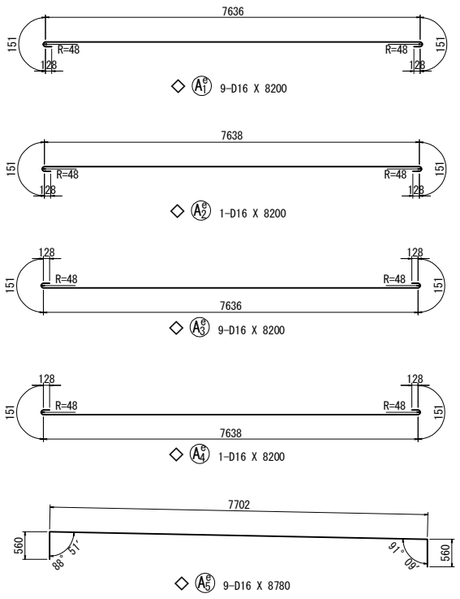
注）水平補強鉄筋は、半円形フックを前面側に配置して配力筋に掛ける。
中間帯鉄筋は、半円形フックを千鳥配置にして配力筋に掛ける。

3-3

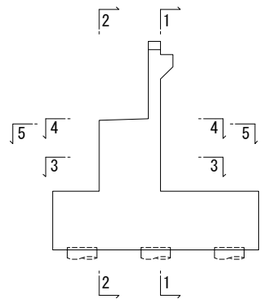


4-4

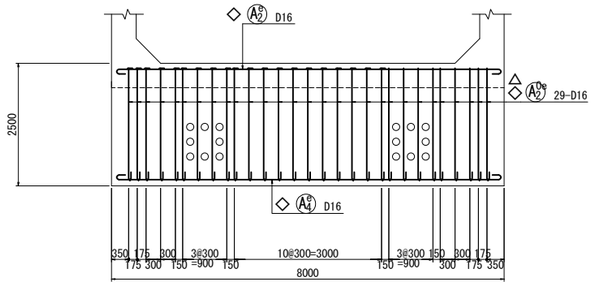




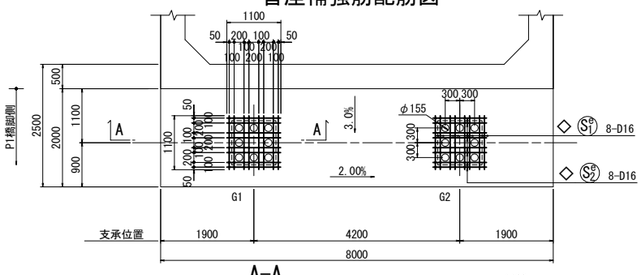
位置図



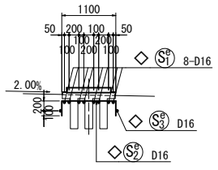
5-5

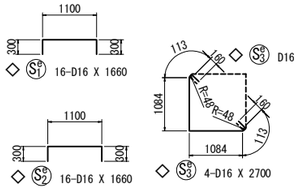


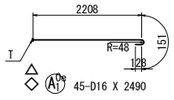
沓座補強筋配筋図

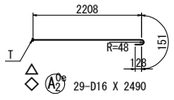


A-A









注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説（H29. 11 日本道路協会）
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

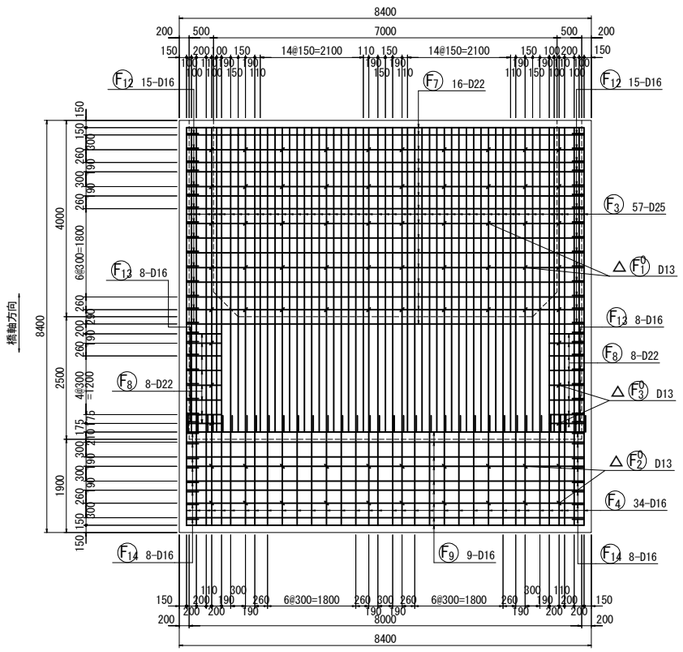
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

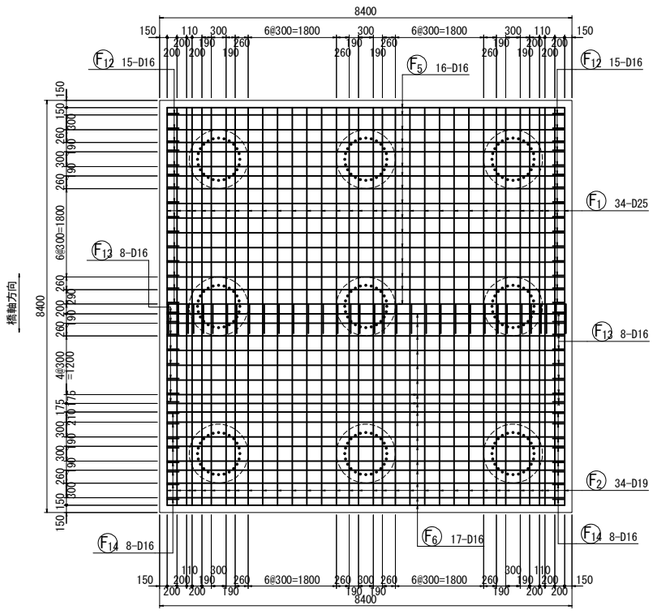
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その２）		
縮　尺	図　示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その３）　S= 1:125

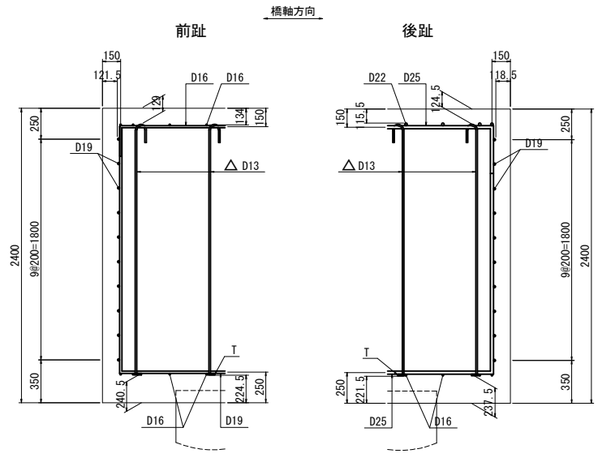
1-1



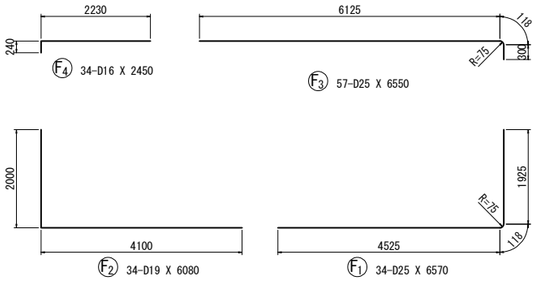
2-2

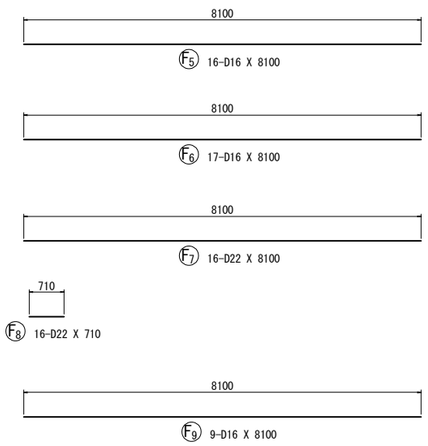


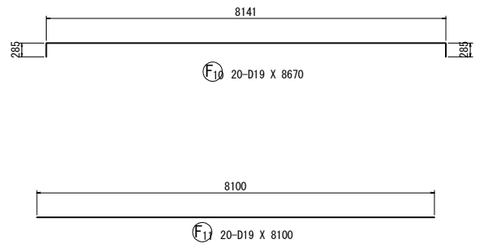
かぶり詳細図　S=1:50



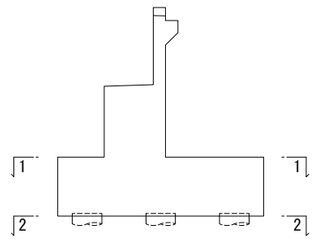
注）せん断補強鉄筋は、半円形フックを上面側に配置して橋軸主鉄筋に掛ける。

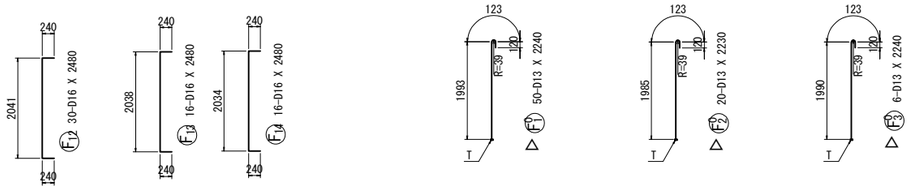






位置図





注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

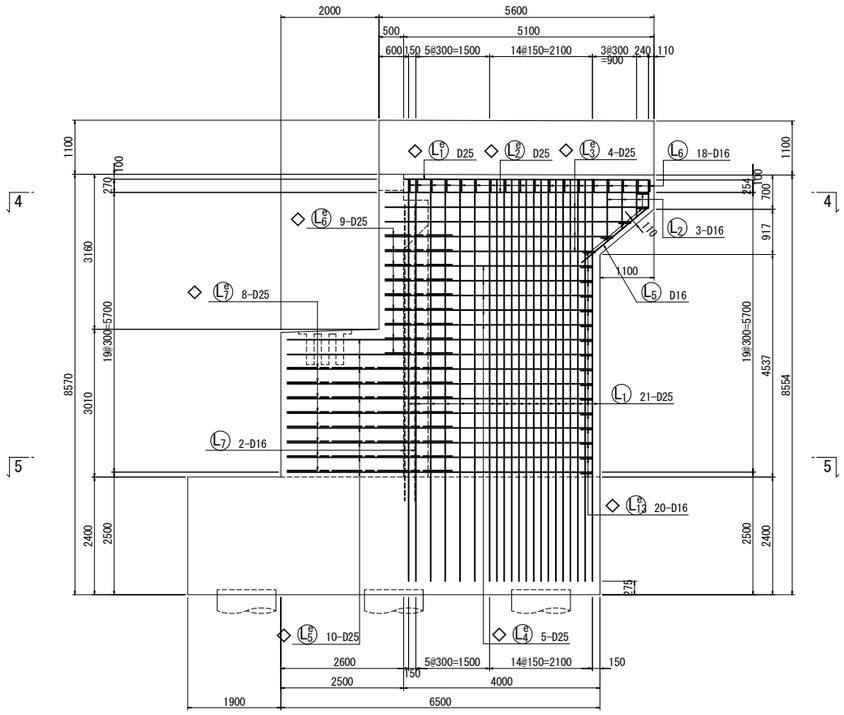
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

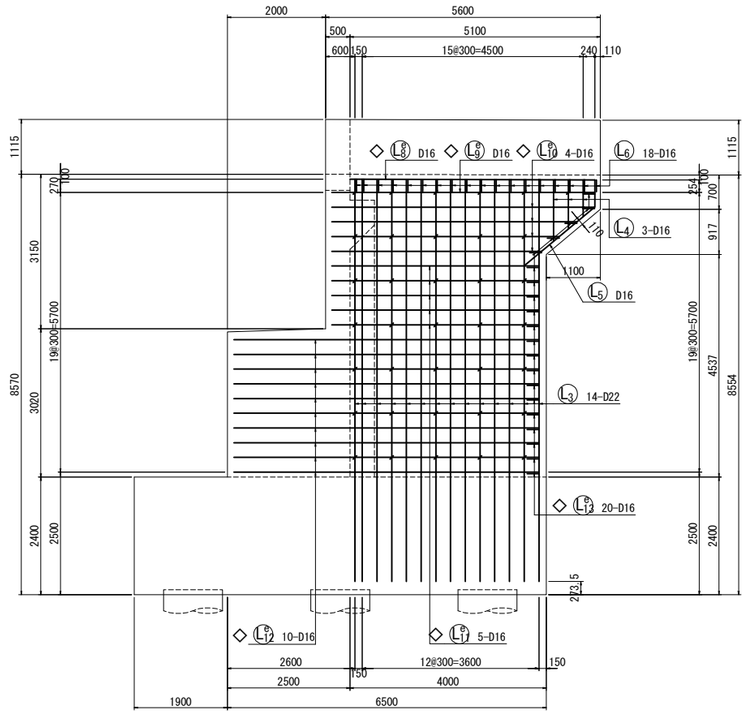
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その３）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その４）　S= 1:125

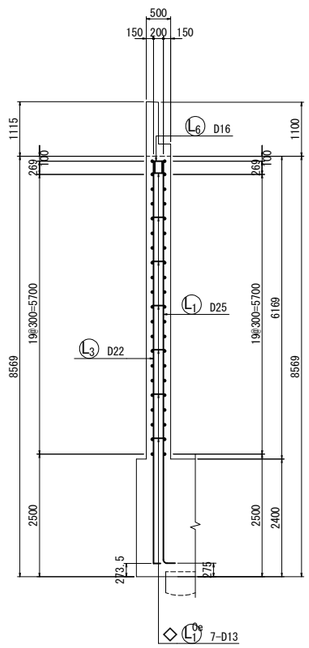
1-1



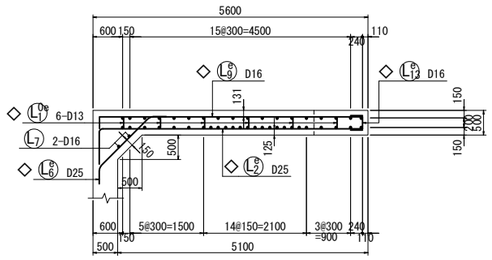
2-2



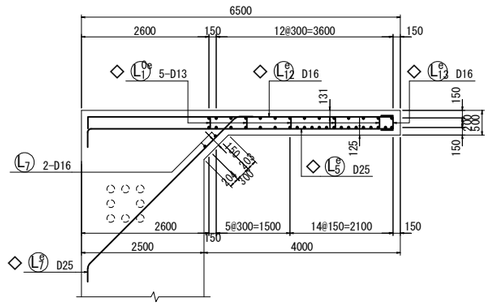
3-3



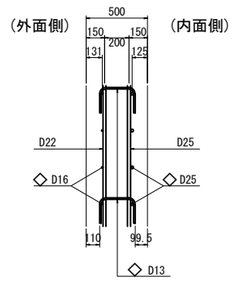
4-4



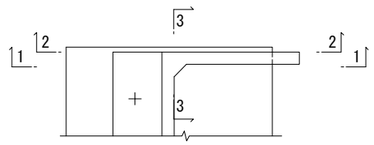
5-5



かぶり詳細図　S=1:50



位置図



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

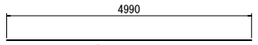
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

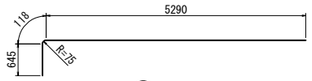
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その４）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

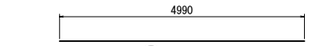
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その５）　S= 1:125



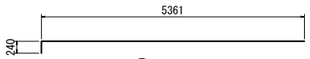
◇ $L_1^{\triangle}$ 1-D25 X 4990



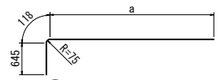
◇ $L_2^{\triangle}$ 1-D25 X 6060



◇ $L_8^{\triangle}$ 1-D16 X 4990

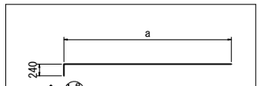


◇ $L_9^{\triangle}$ 1-D16 X 5580



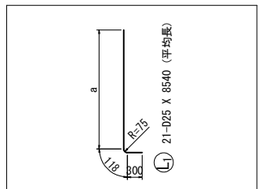
◇ $L_3^{\triangle}$ 4-D25 X 5510（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L $^{\triangle}_{3}$-1	D25	1	4203	4970
-2	〃	1	4563	5330
-3	〃	1	4923	5690
-4	〃	1	5283	6050
平均長		4		5510



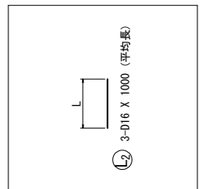
◇ $L_{10}^{\triangle}$ 4-D16 X 5030（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L $^{\triangle}_{10}$-1	D16	1	4274	4490
-2	〃	1	4634	4850
-3	〃	1	4994	5210
-4	〃	1	5354	5570
平均長		4		5030



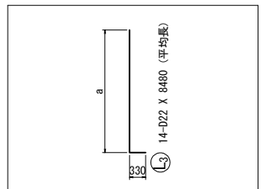
L_1 21-D25 X 8540（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L 1- 1	D25	1	8108	8530
- 2	〃	1	8108	8530
- 3	〃	1	8108	8530
- 4	〃	1	8109	8530
- 5	〃	1	8109	8530
- 6	〃	1	8110	8530
- 7	〃	1	8110	8530
- 8	〃	1	8111	8530
- 9	〃	1	8111	8530
-10	〃	1	8111	8530
-11	〃	1	8112	8530
-12	〃	1	8112	8530
-13	〃	1	8113	8530
-14	〃	1	8113	8530
-15	〃	1	8114	8530
-16	〃	1	8114	8530
-17	〃	1	8115	8530
-18	〃	1	8116	8530
-19	〃	1	8117	8540
-20	〃	1	8118	8540
-21	〃	1	8118	8540
平均長		21		8531



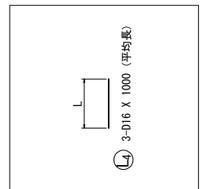
L_2 3-D16 X 1000（平均長）

記 号	径	本数	L
L 2-1	D16	1	749
-2	〃	1	1000
-3	〃	1	1251
平均長		3	1000



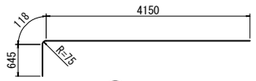
L_3 14-D22 X 8480（平均長）

記 号	径	本数	a	L
L 3- 1	D22	1	8184	8490
- 2	〃	1	8185	8490
- 3	〃	1	8186	8490
- 4	〃	1	8187	8490
- 5	〃	1	8187	8490
- 6	〃	1	8188	8490
- 7	〃	1	8189	8490
- 8	〃	1	8190	8490
- 9	〃	1	8191	8490
-10	〃	1	8192	8190
-11	〃	1	8193	8500
-12	〃	1	8193	8500
-13	〃	1	8194	8500
-14	〃	1	8195	8500
平均長		14		8471

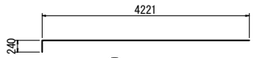


L_4 3-D16 X 1000（平均長）

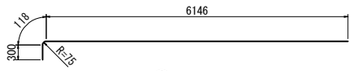
記 号	径	本数	L
L 4-1	D16	1	749
-2	〃	1	1000
-3	〃	1	1251
平均長		3	1000



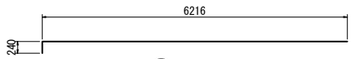
◇ $L_4^{\triangle}$ 5-D25 X 4920



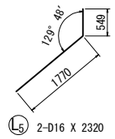
◇ $L_{11}^{\triangle}$ 5-D16 X 4440



◇ $L_5^{\triangle}$ 10-D25 X 6570

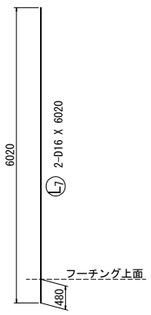


◇ $L_{12}^{\triangle}$ 10-D16 X 6440

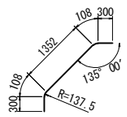


L_5 2-D16 X 2320

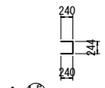
L_6 18-D16 X 640



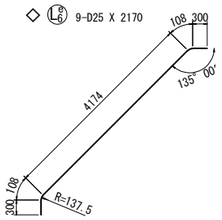
L_7



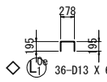
◇ $L_6^{\triangle}$ 9-D25 X 2170



◇ $L_{13}^{\triangle}$ 20-D16 X 690



◇ $L_7^{\triangle}$ 8-D25 X 4990



◇ $L_{14}^{\triangle}$ 36-D13 X 640

注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

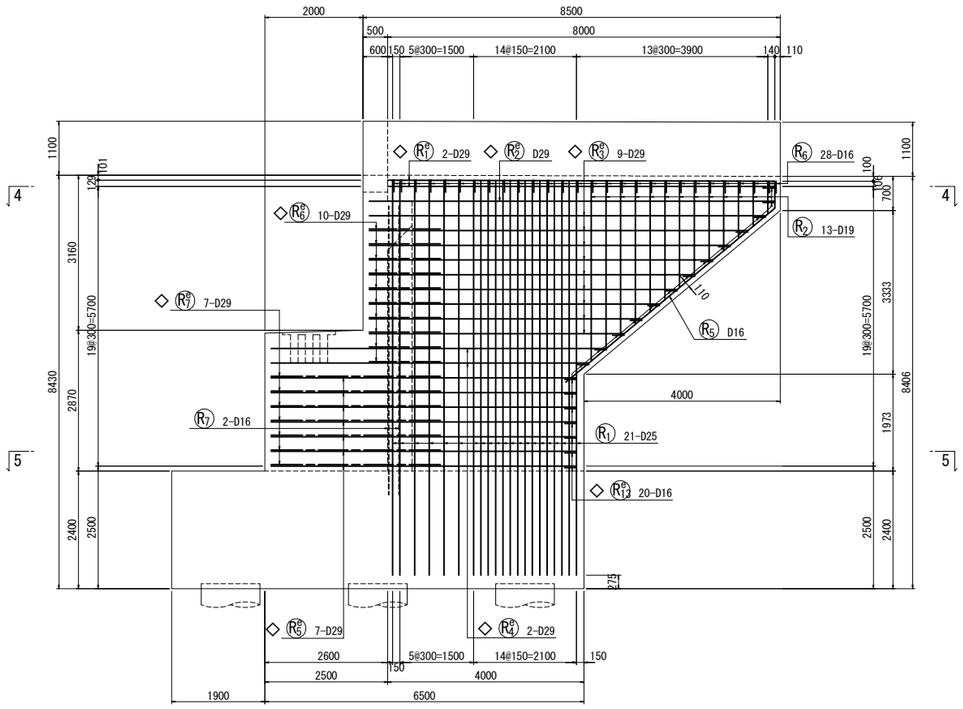
注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

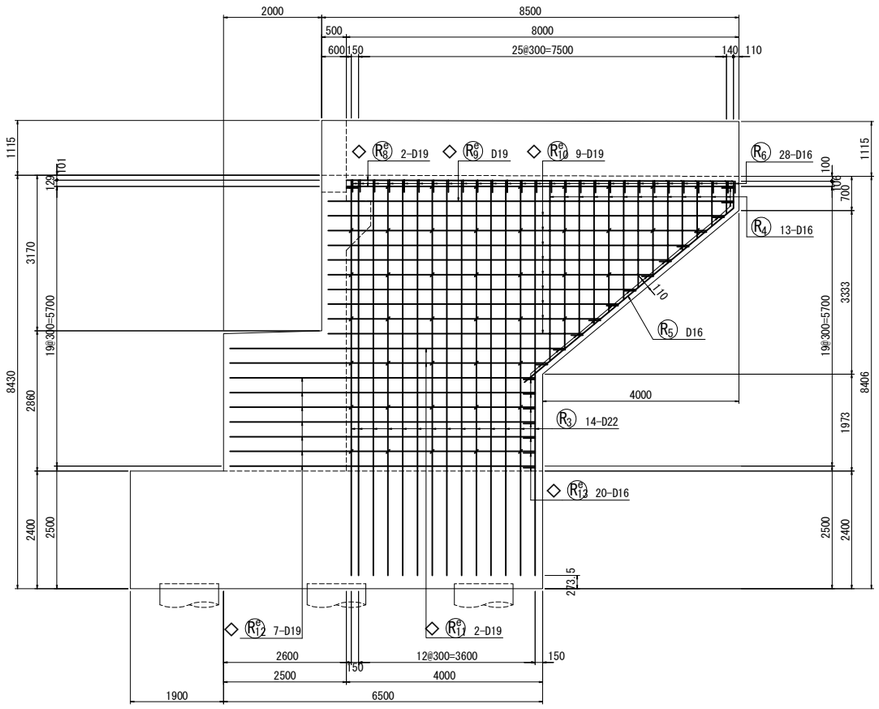
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その５）		
縮　尺	図　示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その６）　S= 1:125

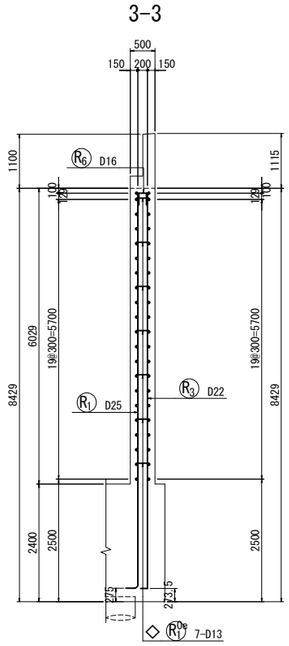
1-1



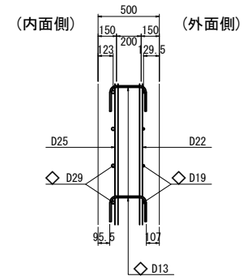
2-2



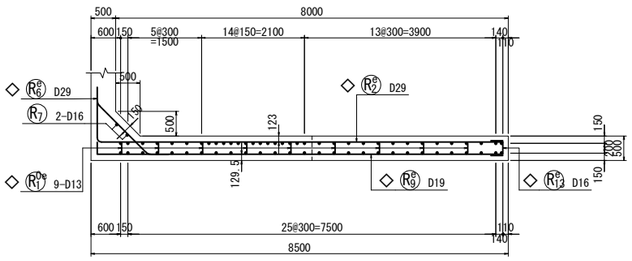
3-3



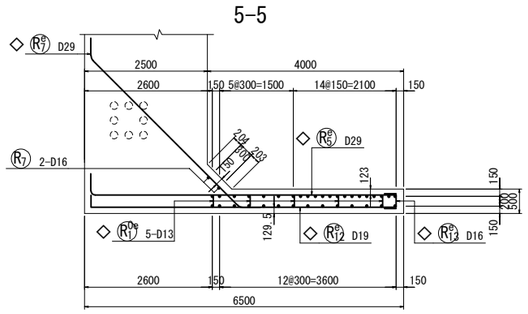
かぶり詳細図　S=1:50



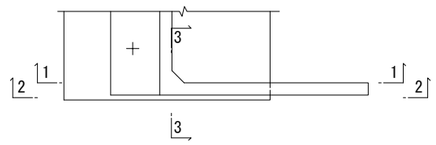
4-4



5-5



位置図



注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

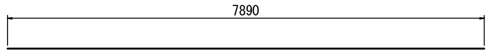
注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

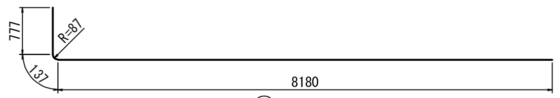
注4）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その６）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

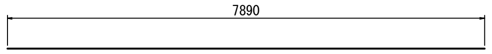
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その７）　S= 1:125



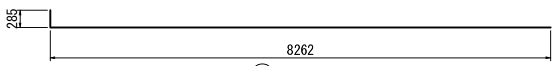
◇ R_1^e 2-D29 X 7890



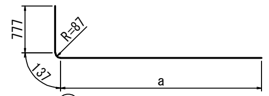
◇ R_2^e 1-D29 X 9100



◇ R_8^e 2-D19 X 7890

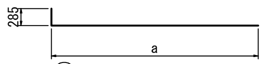


◇ R_9^e 1-D19 X 8530



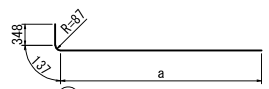
◇ R_3^e 9-D29 X 7470（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R_3^e-1	D29	1	5111	6030
-2	〃	1	5471	6390
-3	〃	1	5831	6750
-4	〃	1	6191	7110
-5	〃	1	6551	7470
-6	〃	1	6911	7830
-7	〃	1	7271	8190
-8	〃	1	7631	8550
-9	〃	1	7991	8910
平均長		9		7470



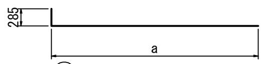
◇ R_{10}^e 9-D19 X 6900（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R_{10}^e-1	D19	1	5193	5460
-2	〃	1	5553	5820
-3	〃	1	5913	6180
-4	〃	1	6273	6540
-5	〃	1	6633	6900
-6	〃	1	6993	7260
-7	〃	1	7353	7620
-8	〃	1	7713	7980
-9	〃	1	8073	8340
平均長		9		6900



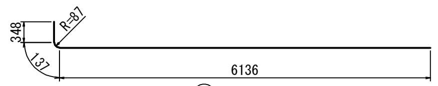
◇ R_4^e 2-D29 X 7050（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R_4^e-1	D29	1	6387	6870
-2	〃	1	6747	7230
平均長		2		7050

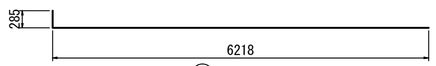


◇ R_{11}^e 2-D19 X 6910（平均長）

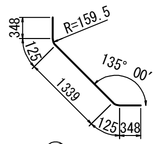
記 号	径	本数	a	L
R_{11}^e-1	D19	1	6469	6730
-2	〃	1	6829	7090
平均長		2		6910



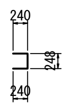
◇ R_5^e 7-D29 X 6630



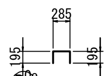
◇ R_{12}^e 7-D19 X 6480



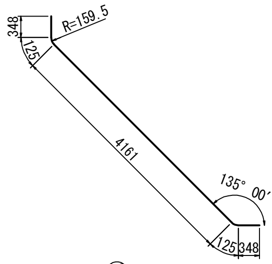
◇ R_6^e 10-D29 X 2290



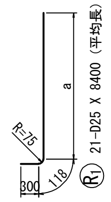
◇ R_{13}^e 20-D16 X 690



◇ R_{10}^{e} 46-D13 X 650

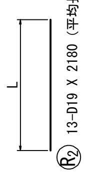


◇ R_7^e 7-D29 X 5110



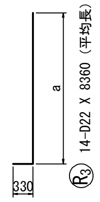
R_1 21-D25 X 8400（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R 1- 1	D25	1	7968	8390
- 2	〃	1	7968	8390
- 3	〃	1	7968	8390
- 4	〃	1	7969	8390
- 5	〃	1	7969	8390
- 6	〃	1	7970	8390
- 7	〃	1	7970	8390
- 8	〃	1	7971	8390
- 9	〃	1	7971	8390
-10	〃	1	7971	8390
-11	〃	1	7972	8390
-12	〃	1	7972	8390
-13	〃	1	7973	8390
-14	〃	1	7973	8390
-15	〃	1	7974	8390
-16	〃	1	7974	8390
-17	〃	1	7975	8390
-18	〃	1	7976	8390
-19	〃	1	7977	8400
-20	〃	1	7978	8400
-21	〃	1	7978	8400
平均長		21		8391



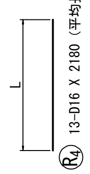
R_2 13-D19 X 2180（平均長）

記 号	径	本数	L
R 2- 1	D19	1	666
- 2	〃	1	917
- 3	〃	1	1168
- 4	〃	1	1418
- 5	〃	1	1669
- 6	〃	1	1920
- 7	〃	1	2171
- 8	〃	1	2422
- 9	〃	1	2673
-10	〃	1	2924
-11	〃	1	3174
-12	〃	1	3425
-13	〃	1	3676
平均長		13	2172



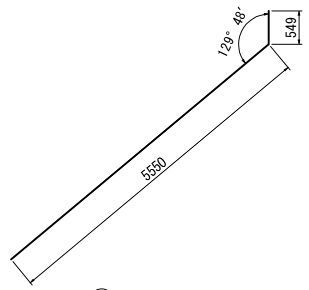
R_3 14-D22 X 8360（平均長）

記 号	径	本数	a	L
R 3- 1	D22	1	8044	8350
- 2	〃	1	8045	8350
- 3	〃	1	8046	8350
- 4	〃	1	8047	8350
- 5	〃	1	8047	8350
- 6	〃	1	8048	8350
- 7	〃	1	8049	8350
- 8	〃	1	8050	8350
- 9	〃	1	8051	8350
-10	〃	1	8052	8350
-11	〃	1	8053	8360
-12	〃	1	8053	8360
-13	〃	1	8054	8360
-14	〃	1	8055	8360
平均長		14		8353

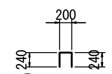


R_4 13-D16 X 2180（平均長）

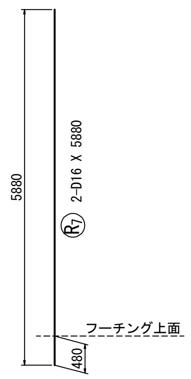
記 号	径	本数	L
R 4- 1	D16	1	666
- 2	〃	1	917
- 3	〃	1	1168
- 4	〃	1	1418
- 5	〃	1	1669
- 6	〃	1	1920
- 7	〃	1	2171
- 8	〃	1	2422
- 9	〃	1	2673
-10	〃	1	2924
-11	〃	1	3174
-12	〃	1	3425
-13	〃	1	3676
平均長		13	2171



R_5 2-D16 X 6100



R_6 28-D16 X 640



R_7 2-D16 X 5880

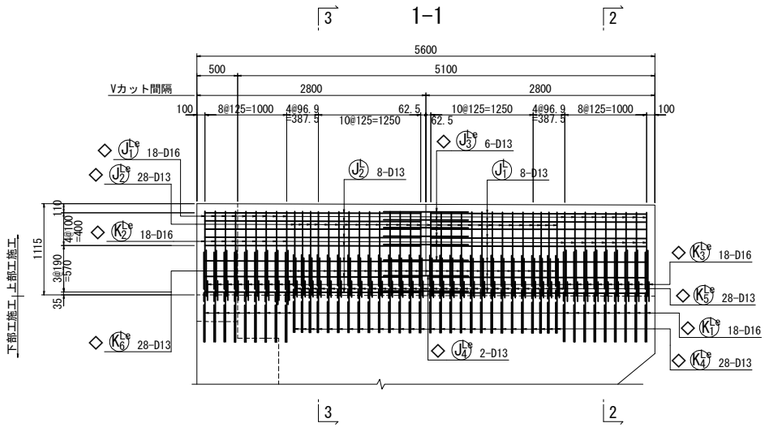
注1)　△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
　　　下記の基準等を満足すること。
　　　1,道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
　　　2,機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
　　　　(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
　　　なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
　　　半円形フックの設置方向を変更してもよい。

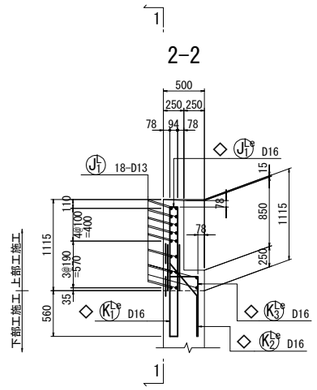
注2)　T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3)　◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4)　鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

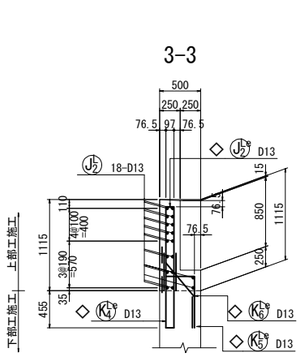
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その７）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

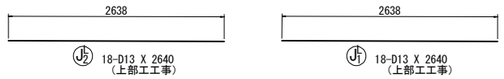
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その８）　S= 1:75

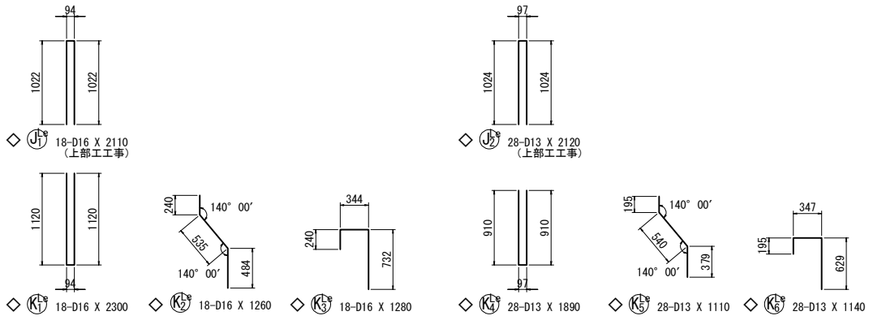
左側壁高欄

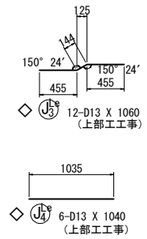






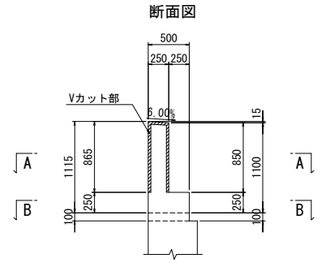




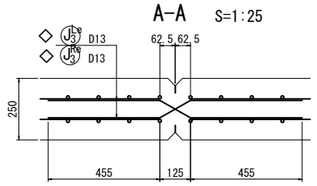


Vカット部詳細図　S=1:75

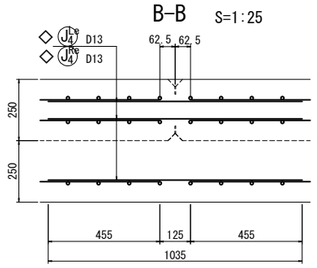
断面図



A-A　S=1:25

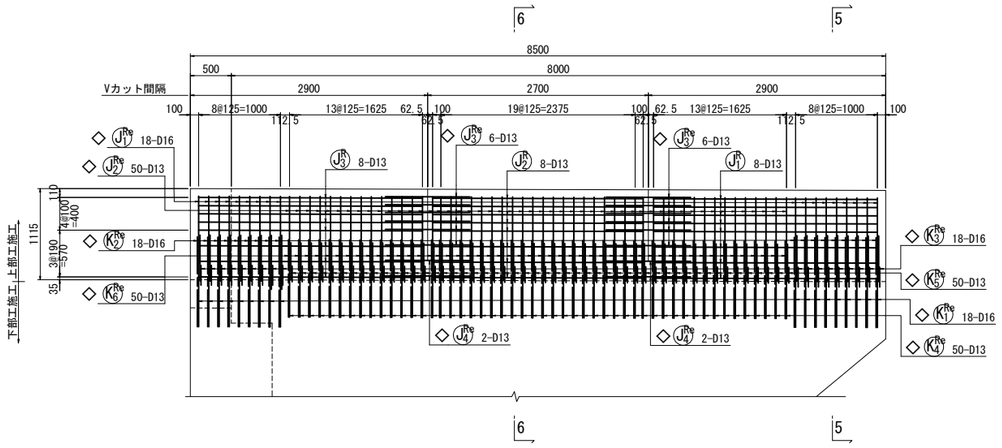


B-B　S=1:25

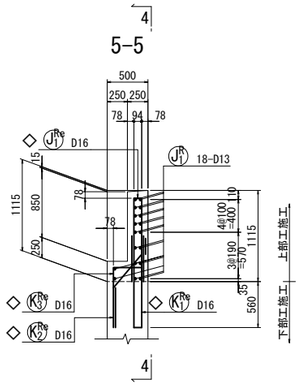


右側壁高欄

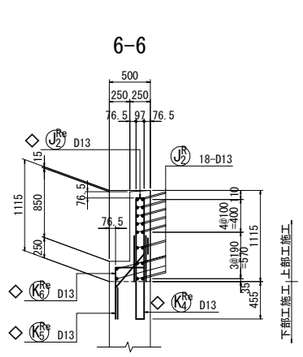
4-4



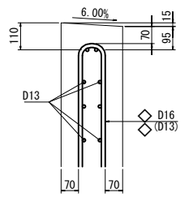
5-5

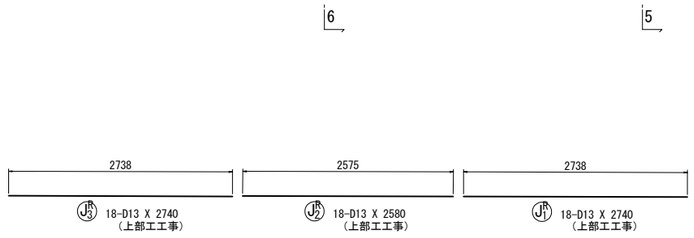


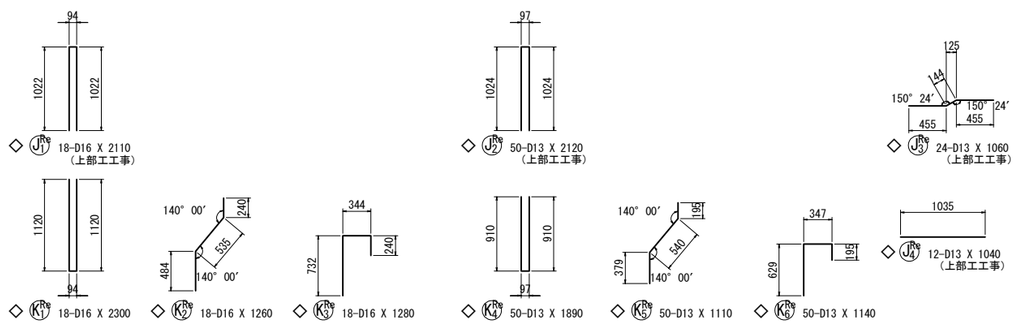
6-6



かぶり詳細図　S=1:25







注1）△印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1.道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2.機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3）◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4）　鉄筋長は切上げげの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その８）		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その９）

鉄筋質量表（下部工施工）

普通鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P 1	D19	3650	29	2.25	8.21	238	
P 2	D25	3650	29	3.98	14.5	421	
P 3	D16	640	29	1.56	0.998	29	
						688	
E 1	D16	2570	25	1.56	4.01	100	
E 2	D13	1590	9	0.995	1.58	14	
						114	
A 1	D16	5110	29	1.56	7.97	231	(平均長)
A 2	〃	5110	29	1.56	7.97	231	(平均長)
A 3	〃	4020	31	1.56	6.27	194	
A 4	〃	5180	7	1.56	8.08	57	
A 5	〃	5030	7	1.56	7.85	55	
						768	
F 1	D25	6570	34	3.98	26.1	887	
F 2	D19	6080	34	2.25	13.7	466	
F 3	D25	6550	57	3.98	26.1	1488	
F 4	D16	2450	34	1.56	3.82	130	
F 5	〃	8100	16	1.56	12.6	202	
F 6	〃	8100	17	1.56	12.6	214	
F 7	D22	8100	16	3.04	24.6	394	
F 8	〃	710	16	3.04	2.16	35	
F 9	D16	8100	9	1.56	12.6	113	
F 10	D19	8670	20	2.25	19.5	390	
F 11	〃	8100	20	2.25	18.2	364	
F 12	D16	2480	30	1.56	3.87	116	
F 13	〃	2480	16	1.56	3.87	62	
F 14	〃	2480	16	1.56	3.87	62	
						4923	
F 0 1	D13	2240	50	0.995	2.23	112	(50)C
F 0 2	〃	2230	20	0.995	2.22	44	(20)C
F 0 3	〃	2240	6	0.995	2.23	13	(6)C
						169	
L 1	D25	8540	21	3.98	34.0	714	(平均長)
L 2	D16	1000	3	1.56	1.56	5	(平均長)
L 3	D22	8480	14	3.04	25.8	361	(平均長)
L 4	D16	1000	3	1.56	1.56	5	(平均長)
L 5	〃	2320	2	1.56	3.62	7	
L 6	〃	640	18	1.56	0.998	18	
L 7	〃	6020	2	1.56	9.39	19	
						1129	
R 1	D25	8400	21	3.98	33.4	701	(平均長)
R 2	D19	2180	13	2.25	4.91	64	(平均長)
R 3	D22	8360	14	3.04	25.4	356	(平均長)
R 4	D16	2180	13	1.56	3.40	44	(平均長)
R 5	〃	6100	2	1.56	9.52	19	
R 6	〃	640	28	1.56	0.998	28	
R 7	〃	5880	2	1.56	9.17	18	
						1230	

	A	B	C	A+B+C
合　計 D25	4211 kg	−	−	4211 kg
D22	1146 kg	−	−	1146 kg
D19	1522 kg	−	−	1522 kg
D16	1959 kg	−	−	1959 kg
D13	14 kg	−	169 kg	183 kg
総質量	8852 kg	−	169 kg	9021 kg

注)（ ）B:機械継手とガス圧接継手を示し（ ）内は箇所数を示す。
（ ）C:機械式鉄筋定着箇所を示し（ ）内は箇所数を示す。

鉄筋集計表

普通鉄筋

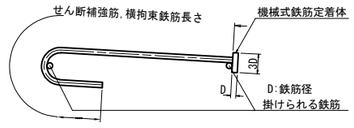
種別	径		下部工施工 躯体	下部工施工 壁高欄	下部工施工 合計
A (SD345)	D13		14	−	14
	D16 ～ D25	D16	1959	−	1959
		D19	1522	−	1522
		D22	1146	−	1146
		D25	4211	−	4211
		計	8838	−	8838
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		8852	−	8852
B (SD345)	D16 ～ D25	D16	−	−	−
		D19	−	−	−
		D22	−	−	−
		D25	−	−	−
		計	−	−	−
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		−	−	−
C (SD345)	D13		169	−	169
	D16 ～ D25	D16	−	−	−
		D19	−	−	−
		D22	−	−	−
		D25	−	−	−
		計	−	−	−
	D29 ～ D32	D29	−	−	−
		D32	−	−	−
		計	−	−	−
	D35		−	−	−
	D38		−	−	−
	D41		−	−	−
	D51		−	−	−
	合　計		169	−	169
総　質　量			9021	−	9021

機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

鉄筋長(L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L≦1m	−	−	−	−	−	−	−
1m<L≦2m	−	−	−	−	−	−	−
2m<L≦3m	76	−	−	−	−	−	−
3m<L≦4m	−	−	−	−	−	−	−
4m<L≦5m	−	−	−	−	−	−	−
5m<L≦6m	−	−	−	−	−	−	−
小　計	76	−	−	−	−	−	−
合　計	76						

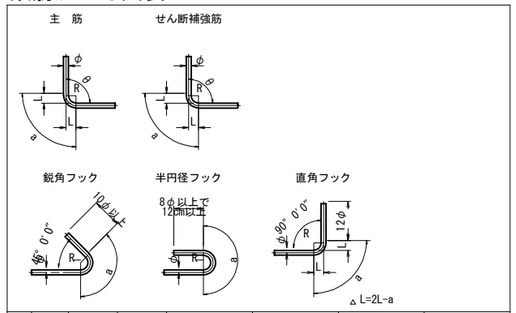
普通鉄筋

機械式鉄筋定着体形状図



鉄筋部分を斜めにして定着体を掛けられる鉄筋に完全に掛けること

鉄筋加工寸法表



	径	θ≦90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	θ=135° a	θ=135° △L
主筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

	径	R=2.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	――
せん断補強筋及び帯鉄筋	D13	32.5	77	80	68	45	51	14	――
	D16	40	94	99	84	55	63	17	――
	D19	47.5	112	117	99	66	75	20	――
	D22	55	130	136	115	76	86	24	――
	D25	62.5	147	155	131	86	98	27	――
	D29	72.5	171	179	152	99	114	31	――
	D32	80	188	198	168	110	126	34	――

	径	R=3.0φ	鋭角フック a	半円径フック a	直角フック a	直角フック △L
フック	D13	39	92	123	61	17
	D16	48	113	151	75	21
	D19	57	134	179	89	25
	D22	66	156	207	104	28
	D25	75	177	236	118	32
	D29	87	205	273	137	37
	D32	96	226	302	151	41

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その９）		
縮　尺	図　示	図面番号	−
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その１０）

鉄筋質量表（下部工施工）

エポキシ鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P^{e}_{1-1}	D25	3500	5	3.98	13.9	70	
P^{e}_{1-2}	D29	5820	5	5.04	29.3	147	
P^{e}_{2-1}	D25	5500	5	3.98	21.9	110	
P^{e}_{2-2}	D29	3820	5	5.04	19.3	97	
P^{e}_{3}	D16	7710	10	1.56	12.0	120	
P^{e}_{4}	〃	1040	34	1.56	1.62	55	
						599	
P^{De}_{1}	D16	510	81	1.56	0.796	64	(81)C
						64	
E^{e}_{1}	D16	7710	5	1.56	12.0	60	
E^{e}_{2}	D22	520	9	3.04	1.58	14	
						74	
A^{e}_{1}	D16	8200	9	1.56	12.8	115	
A^{e}_{2}	〃	8200	1	1.56	12.8	13	
A^{e}_{3}	〃	8200	9	1.56	12.8	115	
A^{e}_{4}	〃	8200	1	1.56	12.8	13	
A^{e}_{5}	〃	8780	9	1.56	13.7	123	
						379	
A^{De}_{1}	D16	2490	45	1.56	3.88	175	(45)C
A^{De}_{2}	〃	2490	29	1.56	3.88	113	(29)C
						288	
S^{e}_{1}	D16	1660	16	1.56	2.59	41	
S^{e}_{2}	〃	1660	16	1.56	2.59	41	
S^{e}_{3}	〃	2700	4	1.56	4.21	17	
						99	
L^{e}_{1}	D25	4990	1	3.98	19.9	20	
L^{e}_{2}	〃	6060	1	3.98	24.1	24	
L^{e}_{3}	〃	5510	4	3.98	21.9	88	(平均長)
L^{e}_{4}	〃	4920	5	3.98	19.6	98	
L^{e}_{5}	〃	6570	10	3.98	26.1	261	
L^{e}_{6}	〃	2170	9	3.98	8.64	78	
L^{e}_{7}	〃	4990	8	3.98	19.9	159	
L^{e}_{8}	D16	4990	1	1.56	7.78	8	
L^{e}_{9}	〃	5580	1	1.56	8.70	9	
L^{e}_{10}	〃	5030	4	1.56	7.85	31	(平均長)
L^{e}_{11}	〃	4440	5	1.56	6.93	35	
L^{e}_{12}	〃	6440	10	1.56	10.0	100	
L^{e}_{13}	〃	690	20	1.56	1.08	22	
						933	
L^{De}_{1}	D13	640	36	0.995	0.637	23	
						23	
R^{e}_{1}	D29	7890	2	5.04	39.8	80	
R^{e}_{2}	〃	9100	1	5.04	45.9	46	
R^{e}_{3}	〃	7470	9	5.04	37.6	338	(平均長)
R^{e}_{4}	〃	7050	2	5.04	35.5	71	(平均長)
R^{e}_{5}	〃	6630	7	5.04	33.4	234	
R^{e}_{6}	〃	2290	10	5.04	11.5	115	
R^{e}_{7}	〃	5110	7	5.04	25.8	181	
R^{e}_{8}	D19	7890	2	2.25	17.8	36	
R^{e}_{9}	〃	8530	1	2.25	19.2	19	
R^{e}_{10}	〃	6900	9	2.25	15.5	140	(平均長)
R^{e}_{11}	〃	6910	2	2.25	15.5	31	(平均長)
R^{e}_{12}	〃	6480	7	2.25	14.6	102	
R^{e}_{13}	D16	690	20	1.56	1.08	22	
						1415	
R^{De}_{1}	D13	650	46	0.995	0.647	30	
						30	

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
K^{Le}_{1}	D16	2300	18	1.56	3.59	65	
K^{Le}_{2}	〃	1260	18	1.56	1.97	35	
K^{Le}_{3}	〃	1280	18	1.56	2.00	36	
K^{Le}_{4}	D13	1890	28	0.995	1.88	53	
K^{Le}_{5}	〃	1110	28	0.995	1.10	31	
K^{Le}_{6}	〃	1140	28	0.995	1.13	32	
						252	
K^{Re}_{1}	D16	2300	18	1.56	3.59	65	
K^{Re}_{2}	〃	1260	18	1.56	1.97	35	
K^{Re}_{3}	〃	1280	18	1.56	2.00	36	
K^{Re}_{4}	D13	1890	50	0.995	1.88	94	
K^{Re}_{5}	〃	1110	50	0.995	1.10	55	
K^{Re}_{6}	〃	1140	50	0.995	1.13	57	
						342	

		A	B	C	A+B+C
合計	D29	1309 kg	－	－	1309 kg
	D25	908 kg	－	－	908 kg
	D22	14 kg	－	－	14 kg
	D19	328 kg	－	－	328 kg
	D16	1212 kg	－	352 kg	1564 kg
	D13	375 kg	－	－	375 kg
総質量		4146 kg	－	352 kg	4498 kg

注)（ ）B:機械継手とガス圧接継手を示し（ ）内は箇所数を示す。
（ ）C:機械式鉄筋定着箇所を示し（ ）内は箇所数を示す。

鉄筋集計表

エポキシ鉄筋

種別	径		下部工施工 躯体	下部工施工 壁高欄	下部工施工 合計
A (SD345)	D13		53	322	375
	D16～D25	D16	940	272	1212
		D19	328	－	328
		D22	14	－	14
		D25	908	－	908
		計	2190	272	2462
	D29～D32	D29	1309	－	1309
		D32	－	－	－
		計	1309	－	1309
	D35		－	－	－
	D38		－	－	－
	D41		－	－	－
	D51		－	－	－
	合計		3552	594	4146
B (SD345)	D16～D25	D16	－	－	－
		D19	－	－	－
		D22	－	－	－
		D25	－	－	－
		計	－	－	－
	D29～D32	D29	－	－	－
		D32	－	－	－
		計	－	－	－
	D35		－	－	－
	D38		－	－	－
	D41		－	－	－
	D51		－	－	－
	合計		－	－	－
C (SD345)	D13		－	－	－
	D16～D25	D16	352	－	352
		D19	－	－	－
		D22	－	－	－
		D25	－	－	－
		計	352	－	352
	D29～D32	D29	－	－	－
		D32	－	－	－
		計	－	－	－
	D35		－	－	－
	D38		－	－	－
	D41		－	－	－
	D51		－	－	－
	合計		352	－	352
総質量			3904	594	4498

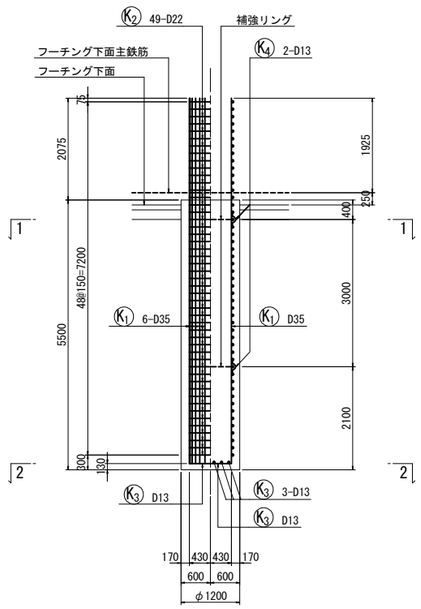
機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

鉄筋長(L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L≦1m	－	81	－	－	－	－	－
1m＜L≦2m	－	－	－	－	－	－	－
2m＜L≦3m	－	74	－	－	－	－	－
3m＜L≦4m	－	－	－	－	－	－	－
4m＜L≦5m	－	－	－	－	－	－	－
5m＜L≦6m	－	－	－	－	－	－	－
小計	－	155	－	－	－	－	－
合計	155						

エポキシ鉄筋

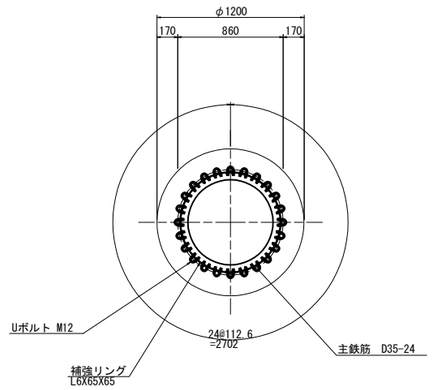
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その１０）		
縮尺	図示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台場所打ち杭配筋図　S= 1:125



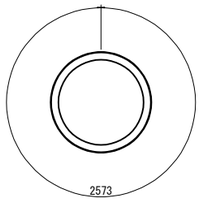
補強リング・主鉄筋固定金具詳細図

S=1:50



注）主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定。

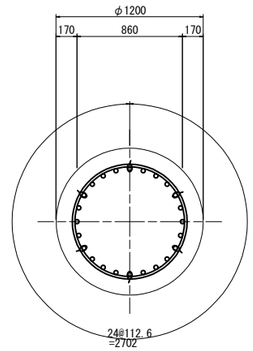
補強リング(D35用)



2-L6X65X65X2573

主鉄筋・帯鉄筋結束詳細図

S=1:50



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
(SD490)							
K1	D35	7450	24	7.51	55.9	1342	
						1342	
			Y		杭本数		
合計 D35			1342 kg		X 9 =		12078 kg
総質量			1342 kg		X 9 =		12078 kg
(SD345)							
K2	D22	4720	49	3.04	14.3	701	
K3	D13	1060	12	0.995	1.05	13	(呼称長)
K4	D13	300	8	0.995	0.298	2	く
						716	
			Y		杭本数		
合計 D22			701 kg		X 9 =		6309 kg
D13			15 kg		X 9 =		135 kg
総質量			716 kg		X 9 =		6444 kg

補強リング・固定金具

(杭1本当り)

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L6X65X65(D35用)	2573	2	5.91	15.2	31	補強リング
Uボルト(D35用)	−	48	−	−	−	主鉄筋と補強リングの固定

※Uボルト規格
D35、SS400、変形時荷重30kN以上

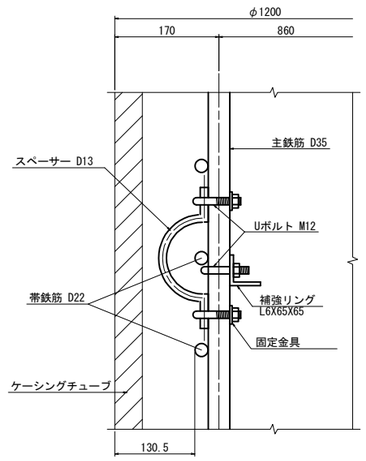
スペーサー固定金具

(杭1本当り)

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Uボルト(D35用)	−	16	−	−	−	スペーサーと主鉄筋の固定

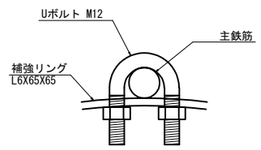
スペーサー参考図

S=1:10



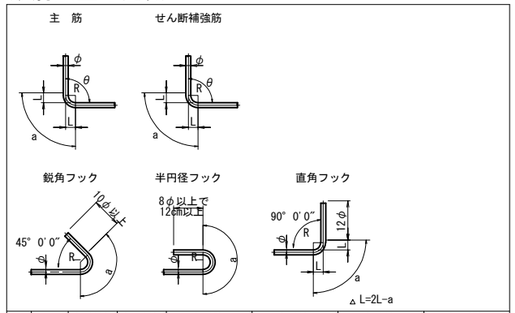
注）スペーサーは、1段に4箇所とし
1交差箇所につき、上下1箇所ずつ金具で固定。
スペーサーの位置は断面毎にずらすこと。

Uボルト取付図



注)Uボルト又は同等品

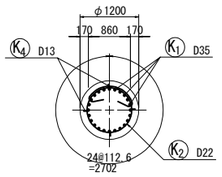
鉄筋加工寸法表

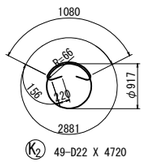


	径	θ≦90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	θ=135° a	θ=135° △L
主筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

	径	R=3.0φ	鋭角フック a	半円径フック a	直角フック a	直角フック △L
フック	D13	39	92	123	61	17
	D16	48	113	151	75	21
	D19	57	134	179	89	25
	D22	66	156	207	104	28
	D25	75	177	236	118	32
	D29	87	205	273	137	37
	D32	96	226	302	151	41

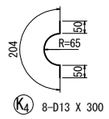
1−1





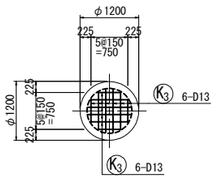
スペーサー鉄筋

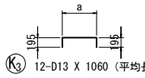
S=1:25



＊ スペーサーは1断面4ヶ所配置とする。

2−2

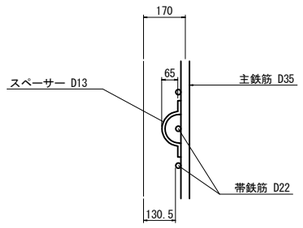




記号	径	本数	a	L
K3-1	D13	4	464	820
−2	〃	4	759	1120
−3	〃	4	869	1230
平均長		12		1060

かぶり詳細図

S=1:25



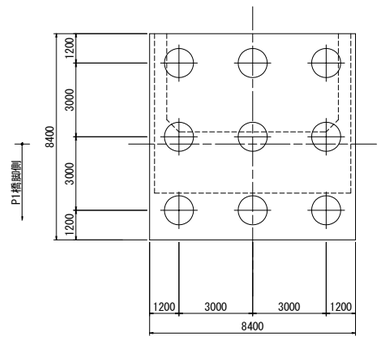
＊ 外周及び杭先端のコンリート表面までの鉄筋かぶりは、130mm以上とする。

＊ スペーサー及び組立筋は、特殊金物等による無溶接工法やなまし鉄線を用いて結束するものとし、組立て上の形状保持などのための溶接は行わないこと。

＊ 帯鉄筋の継ぎ手位置は各々90°ずらして配置する。

杭配置図

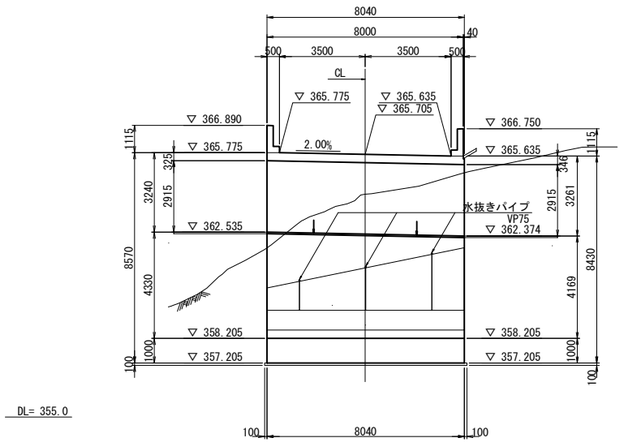
S=1:250



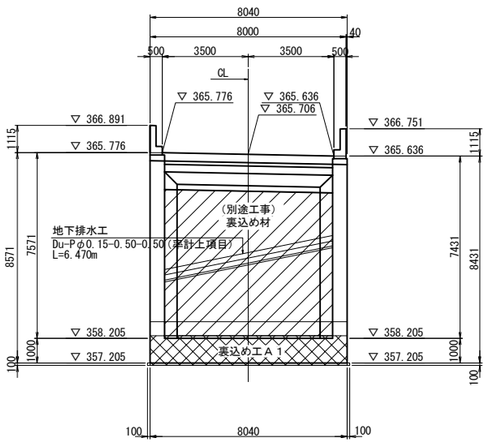
道東自動車道 占冠地区下部工工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台場所打ち杭配筋図
縮尺	図示　　図面番号　−
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台裏込め工図　S= 1:250

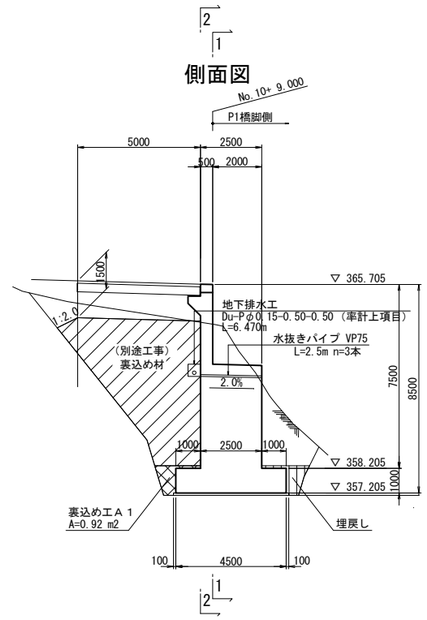
正面図
1-1



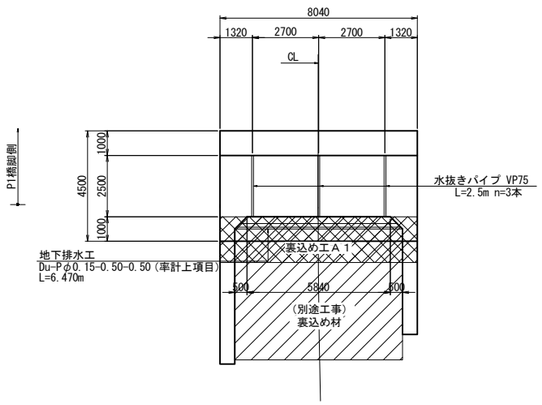
背面図
2-2



側面図

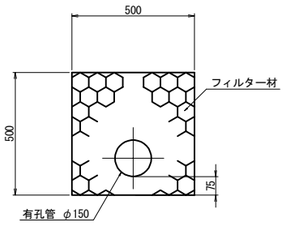


平面図



地下排水工詳細図　S=1:25

Du-Pφ0.15-0.50-0.50



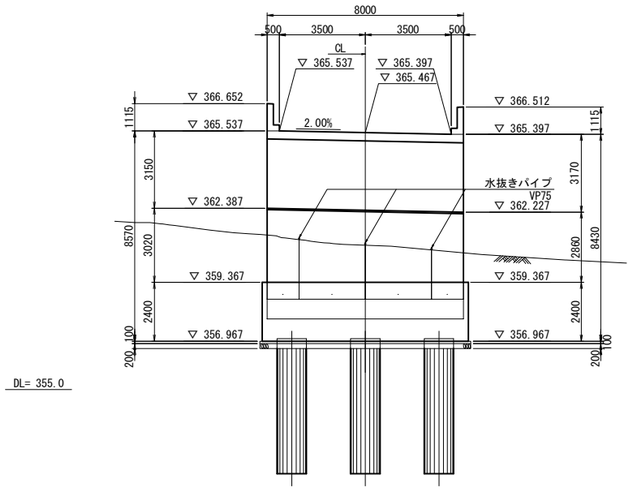
裏込め工及び地下排水工

項　目	規　格	単 位	数 量	備　考
構造物裏込め工	裏込めＩＡ１	m3	7.2	数量計算書より
地下排水工	Du-Pφ0.15-0.50-0.50	m	6.5	率計上項目
水抜きパイプ	VPφ75	m	7.5	

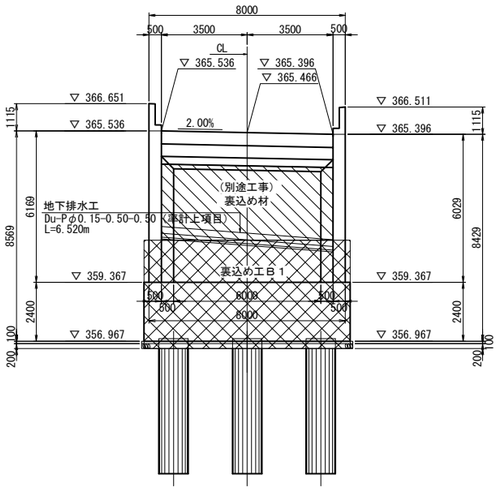
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台裏込め工図		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台裏込め工図　S= 1:250

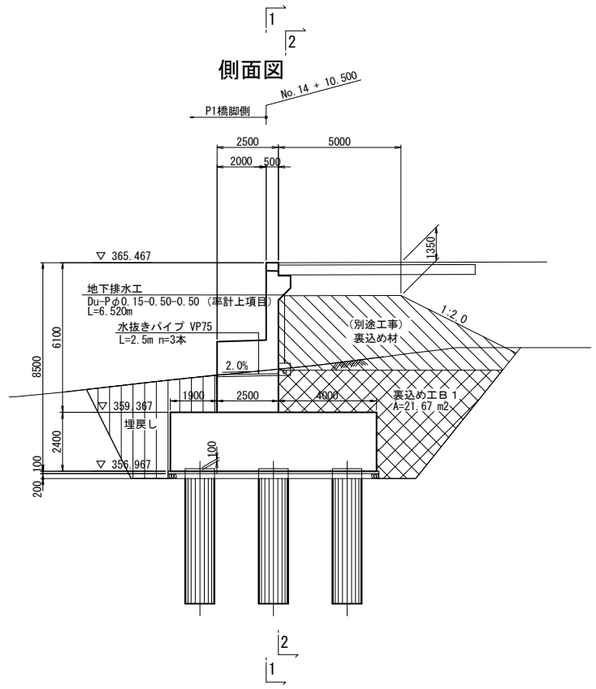
正面図
1-1



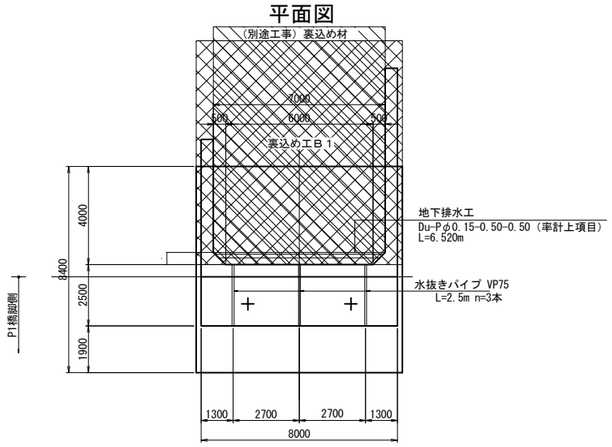
背面図
2-2



側面図

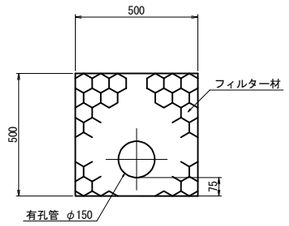


平面図



地下排水工詳細図　S=1:25

Du-P(Dp)　φ0.15-0.50-0.50



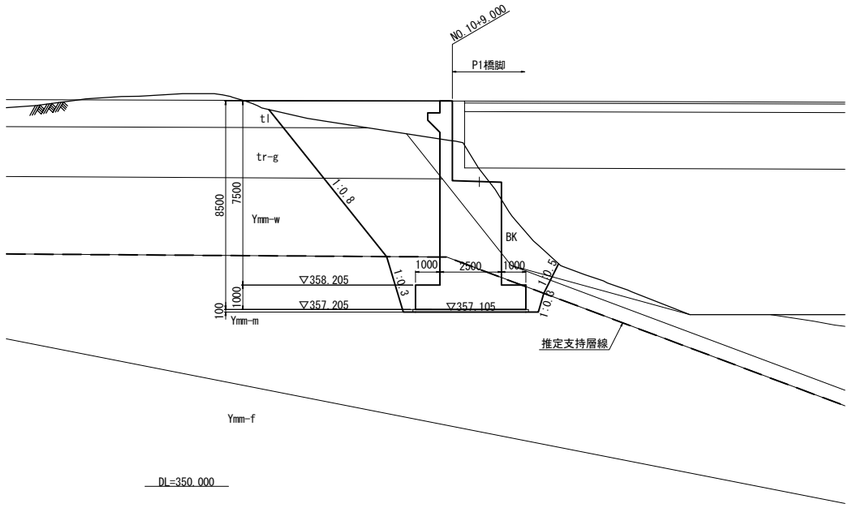
裏込め工及び地下排水工

項　目	規　格	単 位	数 量	備　考
構造物裏込め工	裏込め工Ｂ１	m3	166.1	数量計算書より
地下排水工	Du-Pφ0.15-0.50-0.50	m	6.5	率計上項目
水抜きパイプ	VPφ75	m	7.5	

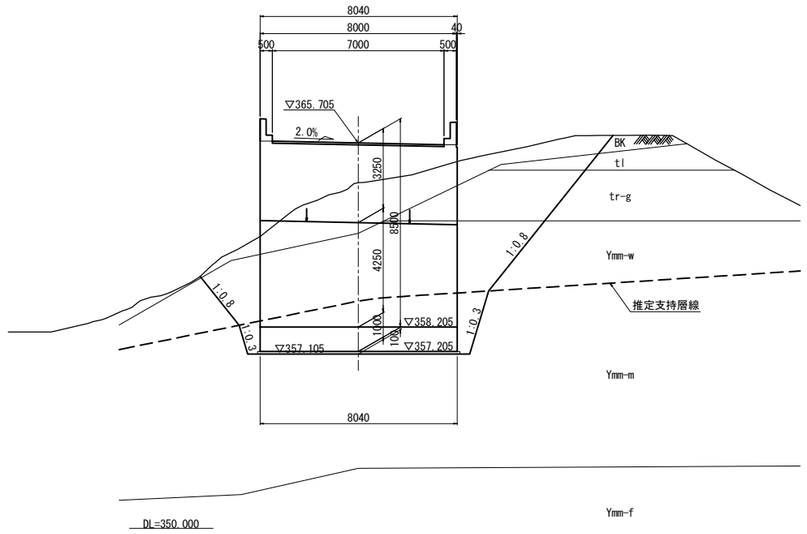
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台裏込め工図		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台構造物掘削図　S= 1:250

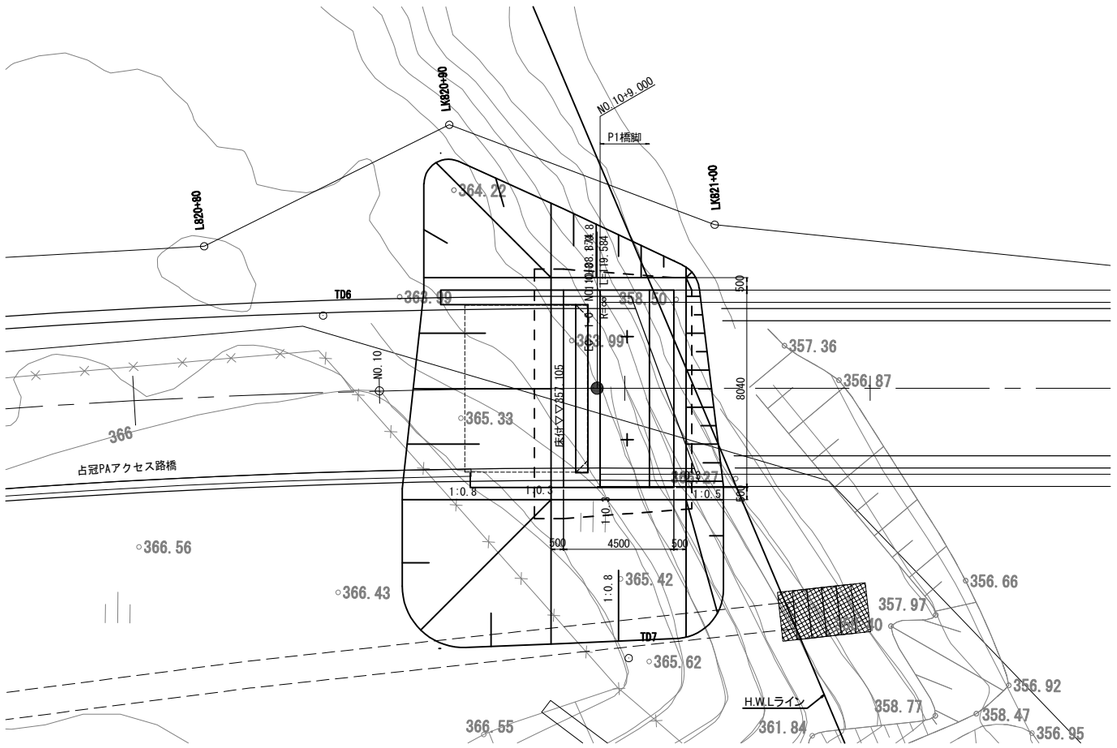
側　面　図



正　面　図



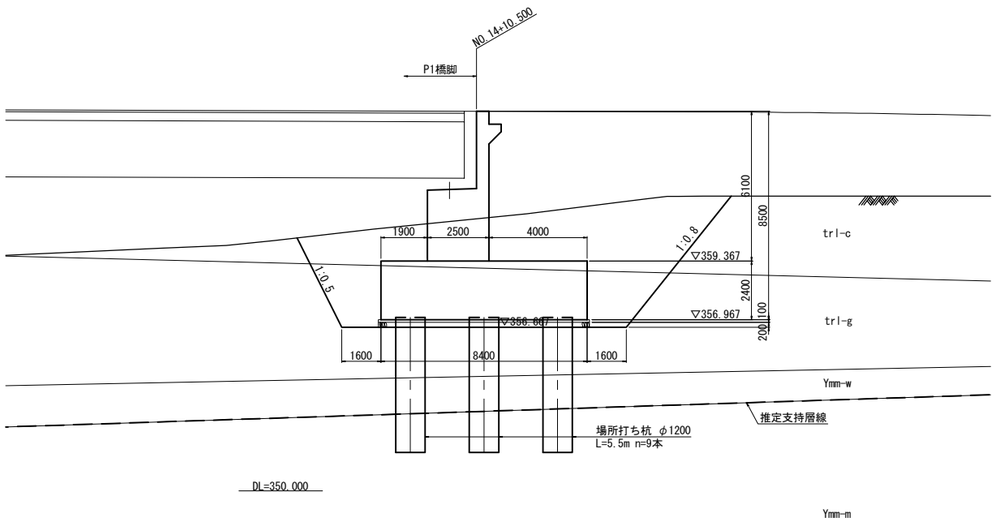
平　面　図



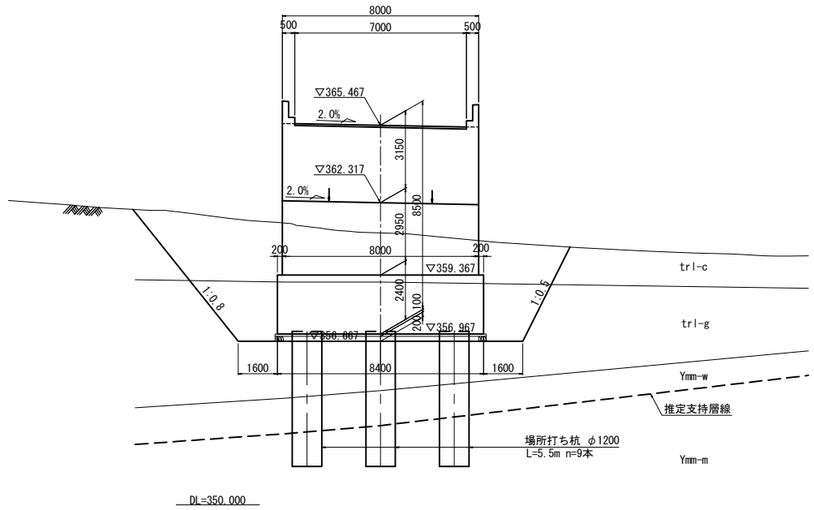
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台構造物掘削図		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台構造物掘削図　S= 1:250

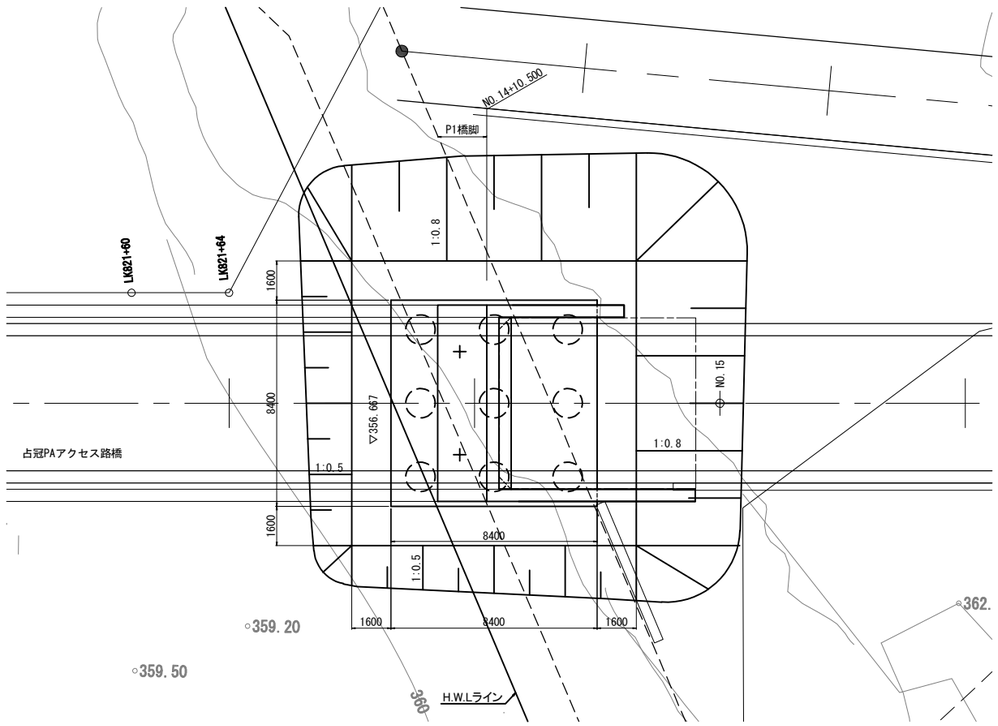
側　面　図



正　面　図



平　面　図

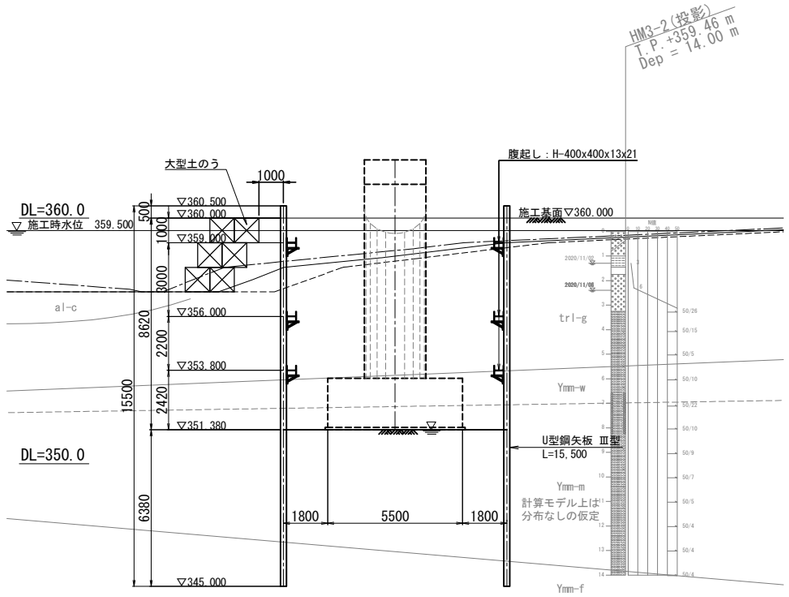


道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台構造物掘削図		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

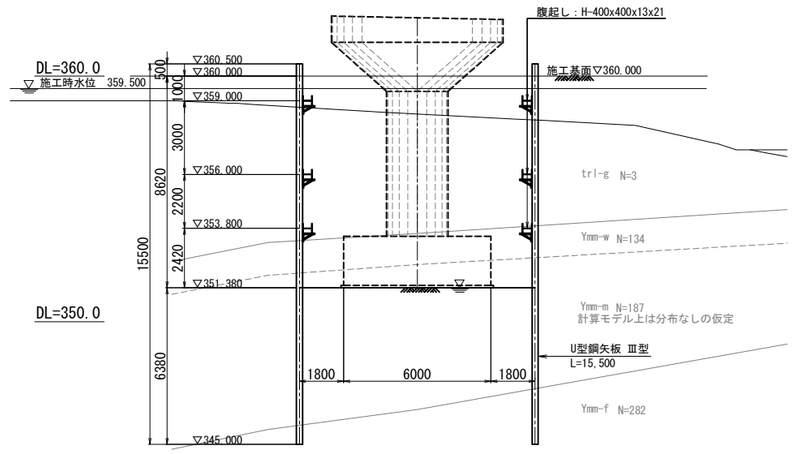
占冠ＰＡアクセス路橋　Ｐ１橋脚土留め工構造図

構造図掘削　特殊部　Ｆ

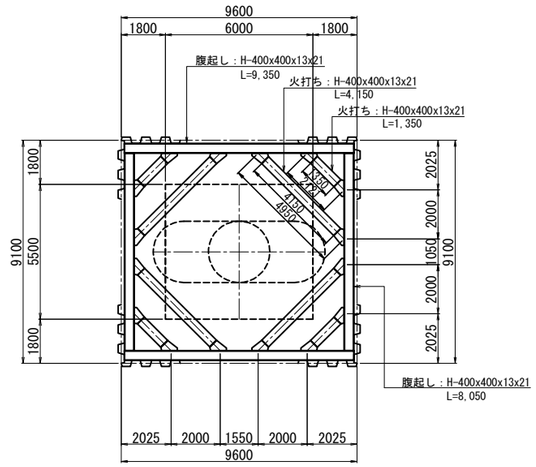
側面図　S=1:250



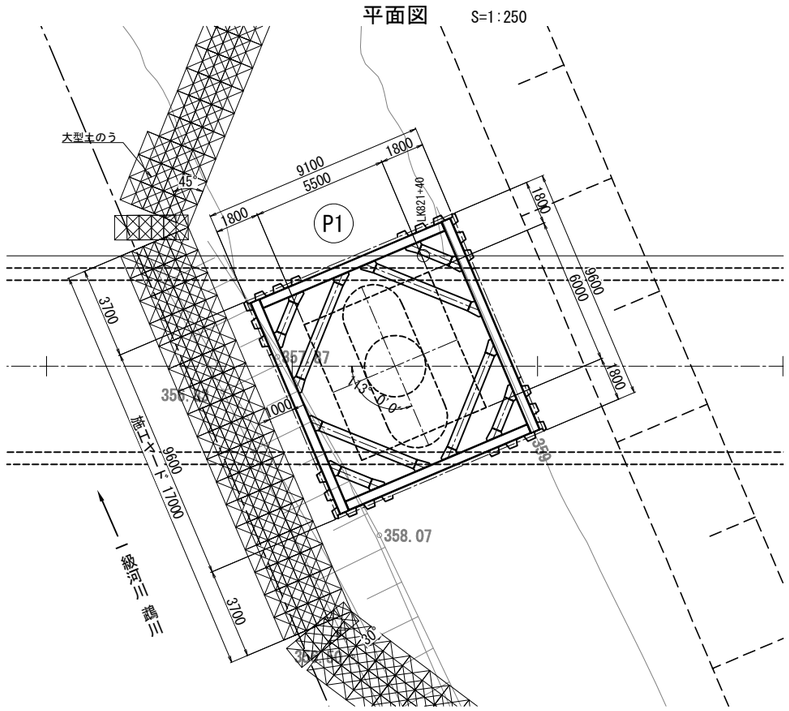
正面図　S=1:250



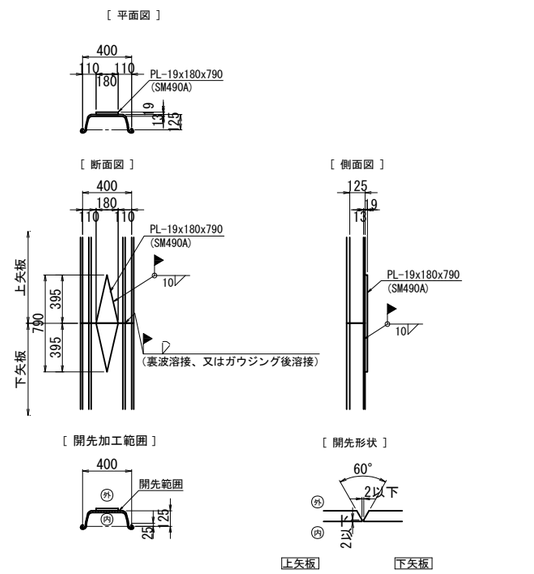
支保工配置図（各段共通）　S=1:250



平面図　S=1:250



鋼矢板継手詳細図(参考図)　S=1:50



材料表

種別	仕様	長さ (m)	数量 (本)	単位質量 (kg/m)	１本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	適用
鋼矢板	U型鋼矢板　SP-Ⅲ型(継手1箇所)	15.500	94	60.0	930.0	87,420	SY295
					鋼矢板質量	87,420	〃
支保工							
腹起し	H-400×400×13×21	9.350	6	200	1,870.0	11,220	SS400リース加工材
	H-400×400×13×21	8.050	6	200	1,610.0	9,660	〃
火打ち	H-400×400×13×21	4.150	12	200	830.0	9,960	SS400リース加工材
	H-400×400×13×21	1.350	12	200	270.0	3,240	〃
					支保工主部材質量	34,060	SS400リース加工材
副部材							
	カバープレート　H-400用		24		40.0	960	SS400リース加工材
	隅部ピース　H-400用		12		90.0	1,080	〃
	火打受ピース　H-400用		48		110.0	5,280	〃
					副部材合計	7,320	
消耗部材							
	主部材質量×0.04					1,322	
	合　計					130,122	

数量表

工種		項目			単位	数量	適用
鋼矢板Ⅲ型	圧入	最大N値	375	L=　15.00 m	枚	94	矢板長15.50 m

注記

1）地層区分は、隣接橋（本流戸川第三橋）の地質調査からの推定である。鋼矢板の圧入に際し、貫入抵抗と地層区分の対応を行い、必要に応じて設計にフィードバックすること。Ⅰ期線の構造物掘削において湧水量が多く、薬液注入で対処した実績を踏まえ、強風化泥岩Ymm-wが深く分布した地層モデル、具体的には下位の中風化泥岩Ymm-mが出現せず、未風化泥岩Ymm-fの上面までYmm-w層が分布した想定での設計としている。

2）設計上は、強風化泥岩Ymm-wを透水性が高い層と想定しており、矢板先端が当該層の範囲に留まる場合はボイリングの所要安全率を確保できない結果である。対策として未風化泥岩Ymm-fに貫入させた対策としているため、圧入時に確認する地層区分との対応により判断すること。

3）鋼矢板の打込みは硬質地盤用の圧入機、引抜きは電動式バイブロハンマによる計画である。

4）鋼矢板の継手は、平置き（良好な姿勢）で行うこととする。補強板は、硬質地盤用の圧入工法のため、矢板の外面側に取り付けるものとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ｐ１橋脚土留め工構造図		
縮　尺	図　示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		